

だれもが つながり ささえあう いのち輝くまちづくり

～ オール養父市で未来へ ～

令和3年度

社協のあゆみ



大屋中学校2年生が「トライやる・ウィーク」でデイサービスを体験
(=令和2年11月17日、デイサービスセンター「ふれあい」)

社会福祉法人 **養父市社会福祉協議会**

目次

■ 令和2年度事業報告	1
■ 令和2年度社協事業の実施状況データ集	3
■ 強化計画〔組織経営基盤計画〕進捗状況	35
■ 令和2年度決算報告	
◇ 令和2年度決算の概要	51
◇ 資金収支計算書（第1号の1様式）	52
◇ 資金収支内訳表（第1号の3様式）	55
◇ 事業活動計算書（第2号の1様式）	56
◇ 事業活動内訳表（第2号の3様式）	59
◇ 貸借対照表（第3号の1様式）	60
◇ 貸借対照表内訳表（第3号の3様式）	61
◇ 財務諸表に対する注記（法人全体用）	62
◇ 基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	65
◇ 寄附金収益明細書	66
◇ 補助金事業等収益明細書	67
◇ 基本金明細書	68
◇ 積立金・積立資産明細書	69
◇ 引当金明細書	70
◇ 財産目録	71
■ 監事監査報告	
◇ 監査報告書	73
◇ 独立監査人の監査報告書	80
■ 令和3年度事業計画	87
■ 令和3年度予算	
◇ 予算の概要	101
◇ 資金収支予算書（第1号の1様式）	102
◇ 資金収支予算内訳表（第1号の3様式）	103

令和2年度 事業報告

社会福祉法人養父市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

第3次地域福祉推進計画（令和元年度～令和5年度）

■福祉目標

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり
～オール養父市で未来へ～

■重点目標

身近な地域での 声かけあい 見守りあい たすけあいの輪を
ひろげよう

令和2年度は、「第3次地域福祉推進計画」の2年目であり、福祉目標に向かい、事業に取り組みました。本会では、日頃から顔の見える関係づくりに努め、暮らしの場である地域での福祉連絡会活動を核とした福祉コミュニティづくりをすすめ、地域福祉力の向上を図ってきました。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症による影響は甚大で、あらゆる分野で大きな制限を受け、私たちの生活は激変しました。感染防止のためやむなく中止や延期にした事業がある一方、訪問型やオンラインなどに方法を変えたり感染予防を強化したりして、できる限り歩みを止めぬよう事業展開を図りました。

以下、重点事業の取り組み、基本活動・活動項目に沿って、令和2年度の事業を次のとおり報告します。

令和2年度 重点事業の取り組み

1 「第69回兵庫県社会福祉大会（養父市開催）」への参画

今年度は養父市を会場に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。2年後の令和4年に養父市で開催されます。

2 出前講座（まちづくりワークショップ）による福祉連絡会の活動支援

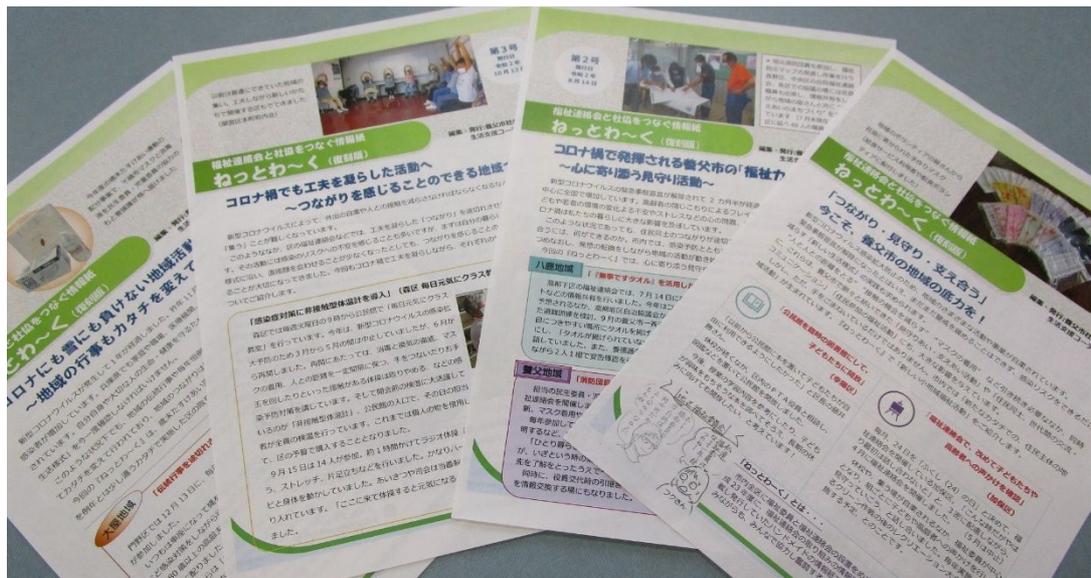
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月から地区福祉委員会の開催を中止しました。職員が各区に出向き福祉連絡会に参加して、福祉委員の役割の説明や福祉防災マップ・地域見える化シートの更新、普段の福祉活動などについて一緒に協議を行いました。一方、緊急事態宣言が発令されるなど、地域で集まることが困難な状況で、地域の福祉活動をすすめられない区もありました。

令和2年6月から「福祉連絡会と社協をつなぐ情報誌 ねっとわ〜く（復刻版）」を発行し、福祉連絡会のみなさんへ地域の取り組みなどの情報を発信しました。

3 「防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業」の実施

昨年につづき、今年度も介護支援専門員や相談支援専門員が「福祉専門職防災対応力向上研修」に参加し、高齢者や障がい者の災害時の避難について学習しました。

今年度は養父市場区をモデル区として個別支援計画の検討を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区民全員が参加しての訓練は行わず、打ち合わせや聞き取り調査、避難経路確認などを、区長をはじめとする区役員や民生委員・児童委員、消防団、介護支援専門員、市社会福祉課、社協が一緒に行いました。



▲福祉連絡会と社協をつなぐ情報誌「ねっとわ〜く（復刻版）」。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の活動は自粛を強いられましたが、小地域福祉活動は形を変えて継続しています。

「災害時における見守り活動」やコロナ禍における「新しい小地域福祉活動」の取り組みを中心に掲載し、情報を発信しました。

令和2年度社協事業の実施状況 データ集

1 福祉目標 だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり ～オール養父市で未来へ～

計画を推進する3つの視点

- ① ひとりひとりが大切にされる“まちづくり”
- ② 皆が参加し つながりあう“地域づくり”
- ③ その人らしい暮らしをささえる“しくみづくり”

2 重点目標 身近な地域での 声かけあい 見守りあい たすけあいの輪をひろげよう

活動項目1 福祉連絡会の活動強化

- 情報提供、広報・啓発、活動助成などを行い、各区で、福祉委員、区長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員などで組織される「福祉連絡会」の活動を支援する

■福祉連絡会の活動支援

支部	行政区数(区)	福祉連絡会 設置区数(区)	福祉委員人数 (人)
八鹿	66	60	378
養父	40	38	173
大屋	23	23	115
関宮	34	34	106
合計	163	155	772

■福祉委員活動費の助成

支部	金額(円)	助成行政区数(区)	助成金額備考
八鹿	738,000	51	設置費 5,000 円 + 世帯割 5,000 円～23,000 円
養父	486,000	31	
大屋	318,000	23	
関宮	322,000	27	
合計	1,864,000	132	

■福祉防災マップづくり

地域		全体(人)	八鹿(人)	養父(人)	大屋(人)	関宮(人)
マップ更新区数 (行政区数)		157区 (163区)	62区 (66区)	38区 (40区)	23区 (23区)	34区 (34区)
要援護者数		1,938	759	461	405	313
内訳	Aランク	236	84	59	56	37
	Bランク	745	260	191	162	132
	Cランク	957	415	211	187	144
新規登録者		179	転出、施設入所、死亡等			
更新・変更		377				

- 小学校区単位での「地区福祉委員会」、旧町単位での「福祉連絡会研修会」を継続し、定期的な協議、研修、情報交換の場づくりを行う

■地区福祉委員会

※第1回、2回、3回地区福祉委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

■各行政区の福祉連絡会に参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校区単位での「地区福祉委員会」と旧町単位での「福祉連絡会研修会」は中止しました。今年度は6月から10月にかけて、各行政区に出向き、福祉委員の役割の説明や福祉・防災マップの更新などを行いました。

3月にも各行政区の福祉連絡会に参加し、「地域見える化シート」の更新や「来年度の活動を計画しよう」の作成について協議し、1年間の振り返りを行いました。

緊急事態宣言発令中などは、行政区内で集まり、話し合いをすることも見合わせる区が多くありました。計画していた喫茶やつどい、見守り活動も取りやめる区がある一方、個別訪問に切り替えるなど方法を変えたり、感染予防を強化したりするなど、工夫して活動を展開した区も多くありました。

また、多くの活動が制限されるなかで、区や自治協議会に状況や課題など「小地域のようす」の聞き取りを行いました。

◇八鹿地域

回	年月日	行政区	開催場所	活動内容
1	令和2年6月24日	九鹿	九鹿公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・地区福祉委員の役割について ・福祉防災マップの更新 ・情報の共有
2	6月24日	岩崎	岩崎公民館	
3	6月27日	川東	川東公民館	
4	6月28日	上小田	上小田多目的集会所	
5	7月1日	浅間	浅間多目的集会所	
6	7月4日	伊佐	伊佐地区公民館	
7	7月9日	虹の街	虹の街公民館	
8	7月11日	大森	大森交流促進センター	
9	7月11日	中村	小佐地区コミュニティセンター	
10	7月14日	青山	青山公民館	
11	7月14日	高柳下	高柳集会所	
12	7月16日	天子	天子公会堂	
13	7月22日	国木	国木公民館	
14	7月31日	上網場	上網場公民館	

◇養父地域

回	年月日	行政区	開催場所	活動内容
1	令和2年6月20日	上野	上野集会所	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・地区福祉委員の役割について ・福祉防災マップの更新 ・情報共有
2	6月25日	藪崎	藪崎公民館	
3	6月28日	野谷	野谷公民館	
4	7月3日	能座	能座コミュニティセンター	
5	7月4日	三谷	三谷多目的集会センター	
6	7月10日	大塚	大塚コミュニティセンター	
7	7月17日	畑	畑区中央公民館	
8	7月18日	口米地	鉄・口米地公民館	
9	7月27日	長野・中央	長野交流館	
10	8月7日	建屋	建屋公民館	
11	9月10日	森	森区高齢者ふれあいセンター	

◇大屋地域

回	年月日	行政区	開催場所	活動内容
1	令和2年6月25日	加保	加保公民館	・委嘱状の交付

2	6月25日	大屋市場	大屋市場公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地区福祉委員の役割について ・福祉防災マップの更新 ・情報共有 	
3	6月25日	大杉	大杉公民館		
4	6月26日	和田	和田会館		
5	6月27日	樽見	樽見会館		
6	6月28日	若杉	若杉会館		
7	7月1日	栗ノ下	栗ノ下会館		
8	7月2日	蔵垣	蔵垣公民館		
9	7月3日	門野	門野公民館		
10	7月4日	おうみ	おうみ集会所		
11	7月4日	糸原	糸原公民館		
12	7月13日	宮本	宮本公民館		
13	7月17日	夏梅	夏梅会館		
14	7月28日	筏	西谷公民館		
15	10月15日	大屋市場	大屋市場公民館		福祉活動について
16	令和3年3月6日	大杉	大杉公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・地域見える化シート の更新 ・来年度の活動計画 ・情報共有
17	3月8日	山笠	山笠公民館		
18	3月8日	栗ノ下	栗ノ下会館		
19	3月11日	樽見	樽見会館		
20	3月11日	筏	西谷公民館		
21	3月14日	中間	中間公民館		
22	3月18日	糸原	糸原公民館		
23	3月18日	大屋市場	大屋市場公民館		
24	3月19日	宮垣	宮垣会館		
25	3月23日	加保	加保公民館		
26	3月24日	須西	須西生活改善センター		
27	3月30日	横行	横行公民館		
28	3月30日	宮本	宮本公民館		

◇関宮地域

回	年月日	行政区	開催場所	活動内容
1	令和2年6月29日	葛畑	葛畑公会堂	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・地区福祉委員の役割について ・福祉防災マップの更新 ・情報共有
2	7月3日	轟	轟公会堂	
3	7月9日	安井	安井公会堂	
4	7月16日	向三宅	向三宅公民館	
5	7月28日	小路頃	小路頃公会堂	
6	令和3年3月11日	安井	安井公会堂	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見える化シート の更新 ・来年度の活動計画 ・情報共有

地区福祉連絡会が開催できないなか、令和2年6月から「福祉連絡会と社協をつなぐ情報誌 ねっとわ〜く（復刻版）」を4回発行し、新しい生活様式に基づき形を変えて行う活動の紹介をするなど、福祉連絡会のみなさんへ情報提供をしました。

◇ねっとわ〜く

No.	発行年月	おもな内容
1	令和2年6月	「つながり・見守り・支え合う」今こそ、養父市の地域の底力を！ コロナに負けない つながりは切らさない 福祉は止まらない 幸陽区、養父市場区、加保区、安井区、宮垣区

2	8月	コロナ禍で発揮される養父市の「福祉力」 ～心に寄り添う見守り活動～ 高柳下区、長野区、中央区、大屋市場区、中瀬区、鉦山区 ひとり暮らし高齢者友愛訪問（大屋地区）
3	10月	コロナ禍でも工夫を凝らした活動へ ～つながりを感じることでできる地域づくり～ 九鹿区、森区、大屋区長会、関宮区上本町
4	令和3年 1月	コロナにも雪にも負けない地域活動 ～地域の行事もカタチを変えて～ 天子区、大塚区、門野区、葛畑区

■福祉連絡会研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◇視察受け入れ

年月日	受入先	内容	場所	参加者数
令和2年 11月13日	穴粟市社会福祉協議会 兵庫県社会福祉協議会	穴粟市社会福祉協議会第 4次地域福祉推進計画に ついて コロナ禍での現状につい て情報交換	福祉の杜	14
令和3年 2月28日	多可町 地域互助活動向上住民 研修会（コークゼミ）	養父市の小地域福祉活動 の取り組み 養父市大久保区で進める 小地域福祉活動	関宮ふれあいの郷 ※オンライン	25

活動項目2 だれもが気軽に集い、語り合える居場所づくりの推進

- ボランティア講師の紹介、レクリエーション用品の貸し出し、広報などを通じ、ふれあいサロン、ふれあい喫茶、運動・体操などの集いの場の開催を支援する

■レクリエーション用品・備品等の貸出

	貸出件数合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
令和2年度	26件	8件	6件	8件	4件
令和元年度	179件	62件	47件	26件	44件

ふれあい喫茶やサロンなどつどいの場を開催するのが難しく、レクリエーション用品の貸し出し件数も大幅に減りました。

- コミュニティ食堂、認知症カフェなど、様々な年代や当事者が集う場づくりを支援する
[新規] 支援状況は基本活動2 活動項目4に、開催状況は基本活動4 活動項目1に掲載
- 小学校区ごとの「集いの場マップ」を作成する [新規]
福祉委員会で見える化シートの更新を行い、各区の集いの場を確認。マップに落とし込みます。

地域住民が主体的に実施するふれあいサロンやふれあい喫茶の企画・調整、チラシの作成やレクリエーション用具の貸し出しなどで開催を支援しています。

活動項目3 声かけ運動の推進

- 近所づきあいの少ない人、ひきこもりや生活困窮の人、外国出身者、障がいを持つ人など、地域のなかで孤立しがちな人に気づき、寄り添う声かけ・あいさつ運動を推進する

新規

- 広報紙やケーブルテレビを活用した啓発、講座などの学習会を開催する 新規

活動項目 4 福祉連絡会の設置が困難な地域への支援

- 小規模集落や集合住宅など、福祉連絡会設置が困難な地域に対し、住民懇談会の実施を行い、地域ニーズや生活課題などの把握を行う
- 必要に応じ、近隣の区や自治協議会と協働した、交流事業、生活支援活動などの実施を検討する 新規

活動項目 5 お互いさまのたすけあいの地域づくりの推進

- 各区で困り事アンケートを実施し、住民のちょっとした困り事の把握をすすめる 新規

「コロナに負けるな！つながり・見守り・支え合い」をテーマに、大屋地域のボランティアがひとり暮らし高齢者を友愛訪問し、手作りのうちわを届け、体調や困りごとなどについて聞き取りによるアンケートを行いました。

調査対象	大屋地域 87歳以上ひとり暮らし高齢者
調査方法	大屋地域 ボランティアが訪問して聞き取り
調査期間	令和2年7月2日
調査対象人数	64人
調査内容	・体調について ・外出の頻度 ・家族や友人との会話の頻度 困りごと

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、秋の年輪の会（養父地域ひとり暮らし高齢者の集い）を中止し、代わりに、民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者宅を友愛訪問し、ボランティア手作りのマフラーや手芸品を届けました。また、体調や困りごとなどについて聞き取りによるアンケートを行いました。

調査対象	養父地域 ひとり暮らし高齢者
調査方法	民生委員・児童委員が訪問して聞き取り
調査期間	令和2年10月下旬～11月上旬
調査対象人数	188人
調査内容	・体調について ・外出の頻度 ・家族や友人との会話の頻度 困りごと

夏の友愛訪問に引き続き、大屋地域のボランティアがひとり暮らし高齢者を友愛訪問し、手作りの炊き込みご飯と、大屋こども園園児の絵入りポケットティッシュ、大屋小学校児童によるメッセージカードなどを届け、体調や困りごとなどについて聞き取りによるアンケートを行いました。

調査対象	大屋地域 75歳以上ひとり暮らし高齢者
調査方法	大屋地域 ボランティアが訪問して聞き取り
調査期間	令和2年12月8日
調査対象人数	147人
調査内容	・体調について ・外出の頻度 ・家族や友人との会話の頻度 困りごと

- アンケートをもとに区でのお互いさまのたすけあい活動をすすめる
- 生活支援コーディネーターによる全市的な情報交換を通じ、自治協議会や企業と連携した広域でのたすけあい活動の開発につなげる

■生活支援コーディネーター連絡会

回	年月日	参加者数	協議内容	開催場所
1	令和2年 4月21日	6	令和2年度の事業計画について	地域交流 センター 「福祉の 杜」
2	6月16日	8	養父市タクシー等利用料助成事業について 新型コロナウイルス対応状況について くらし安心サポーター養成講座について	
3	8月18日	8	大屋地域ひとり暮らし高齢者友愛訪問 困りごと等アンケートについて 新型コロナウイルス対応状況について	
4	10月13日	7	地域ケア推進会議について	
5	12月15日	7	くらし安心サポーターフォローアップ研修に ついて	
6	令和3年 2月16日	7	地域ケア推進会議について くらし安心サポーターフォローアップ研修に ついて	

■地域ねっとわーく連絡会への参加

地域で活動する人や団体の情報交換や交流を通して、地域をよくしていくために、ともにできることを考える「地域ねっとわーく連絡会」(主催: コープこうべ) に2回参加しました。

年月日	場所	内容	参加者数
令和2年 10月14日	コープこうべ 協同購入セン ター但馬 組合員集会室	自己紹介&活動紹介 コロナ禍でのくらしの変化や工夫した活 動内容などの話し合い 意見交換	12
令和3年 3月10日	コープこうべ 協同購入セン ター但馬 組合員集会室	活動紹介 コロナ禍のなかでどんな活動ができる? 本日集まったみんなでできることは? 助成金・会計報告・サークル登録等の説明	9

民生委員・児童委員、民生・児童協力委員の合同研修会や、養父市老人クラブ連合会リー
ダー研修会で、「地域共生社会」について考える研修に参加しました。

■養父市養父民生委員児童委員協議会

「民生委員・児童委員、民生・児童協力委員合同研修会」

開催日	令和2年10月29日
開催場所	養父市立ビバホール
内容	〔研修〕 「地域共生社会の実現に向けて」 養父市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター
参加者	64人

■養父市老人クラブ連合会

「役員・リーダー研修会」

開催日	令和2年12月1日
開催場所	八鹿老人福祉センター
内容	〔実践報告〕 みずほ教育福祉財団助成事業「地域支え合い応援事業」取り組みクラブ 米里老人クラブ会長 米田鈺延 氏

	〔助言及び講演〕 「高齢者による地域共生社会の実現に向けて」 養父市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター
参加者	39人

■みふねふれあいネットワーク会議（年1回）への参加
みふねふれあいネットワーク（構成員：みふね会館周辺の民生委員・児童委員、区長、老人クラブ、地域包括支援センター、社協、みふね会館職員）に参加しました。

年月日	場所	内容	参加者数
令和3年 1月29日	みふね会館	報告：下網場地区の現状と課題、みふね会館の事業について 協議：みふね会館周辺地域の福祉・人権問題について (情報交換)	7

3 基本活動

基本活動1

学び 気づき 行動する福祉学習をすべての世代ですすめよう

活動項目1 無関心に関心へ。福祉・人権意識を高め合う福祉学習の推進（全世代への福祉学習）

- 地区福祉委員会や福祉連絡会研修会など住民が地域課題を話し合い、学び合う場をコーディネートする
- 社協広報紙「かけはし」や福祉映画上映会、講演会、SNS、ケーブルテレビなど、さまざまな媒体を通じて、障がいや認知症などの正しい理解を促進する

広報紙「かけはし」に市内認知症カフェの案内をしたり、「みんなの手話教室」のコーナーを定期的に設けて身近な手話を紹介したりしました。

養父市認知症カフェ連絡会が養父市内小学校9校に、児童が認知症を正しく理解し、関心や理解を深める機会にするために、認知症啓発絵本を3冊ずつ贈呈しました。

基本活動4活動項目1に掲載

活動項目2 地域への愛着と、自分も周りも大切に作る心を育む福祉学習の推進（子どもたちへの福祉学習）

- 小・中・高等学校における福祉学習で当事者や地域住民、福祉施設と連携し、多様なプログラムで相互理解を深め、子どもたちとともに学び合う教育をすすめる

	回	年月日	学習校	内容	参加者数
八鹿	1	令和2年6月18日	八鹿小学校	4年生福祉学習 福祉についてオリエンテーション	51
	2	6月26日	高柳小学校	4年生福祉学習 福祉についてオリエンテーション	15
	3	7月3日	宿南小学校	4年生福祉学習 福祉についてオリエンテーション	6
	4	7月6日	八鹿小学校	4年生福祉学習 車いす体験	24
	5	7月7日	八鹿小学校	4年生福祉学習 車いす体験	27
	6	7月31日	宿南小学校	4年生福祉学習 車いす体験	6
	7	9月1日	高柳小学校	4年生福祉学習 手話体験	15
	8	9月24日	高柳小学校	4年生福祉学習 車いす体験	15

養父	9	10月20日	宿南小学校	4年生福祉学習 手話体験	6
	10	11月24日	八鹿小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験(4-1組)	27
	11	11月27日	八鹿小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験(4-2組)	23
	12	12月7日	八鹿小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流(4-1組)	27
	13	12月7日	八鹿小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流(4-2組)	24
	14	12月9日	伊佐小学校	4年生福祉学習 車いす体験	8
	15	12月10日	伊佐小学校	4年生福祉学習 点字体験	8
	16	令和3年1月22日	宿南小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流会	5
	17	1月26日	宿南小学校	4年生福祉学習 認知症を学ぶ	5
	1	令和2年6月15日	広谷小学校	4年生福祉学習 福祉についてオリエンテーション	41
	2	6月23日	広谷小学校	4年生福祉学習 車いす体験(4-2組)	21
	3	6月24日	広谷小学校	4年生福祉学習 車いす体験(4-1組)	20
	4	9月25日	建屋小学校	3・4年生福祉学習 福祉についてオリエンテーション	11
	5	10月7日	広谷小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験(4-1組)	20
	6	10月8日	広谷小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験(4-2組)	21
	7	10月19日	広谷小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流(4-1組)	20
	8	10月19日	広谷小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流(4-2組)	21
9	10月30日	建屋小学校	3・4年生福祉学習 赤い羽根共同募金について	11	
10	11月26日	広谷小学校	4年生福祉学習 点字体験(4-1組)	20	
11	11月26日	広谷小学校	4年生福祉学習 点字体験(4-2組)	21	
12	12月17日	養父小学校	4年生福祉学習 オリエンテーション	13	
13	12月23日	建屋小学校	3・4年生福祉学習 車いす体験	11	
14	令和3年1月22日	養父小学校	4年生福祉学習 車いす体験	13	
15	1月29日	養父小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験	13	
16	2月5日	養父小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流会	13	
17	3月5日	養父小学校	4年生福祉学習 まとめの学習	13	
大屋	1	令和2年7月30日	大屋小学校	4年生福祉学習 車いす体験 福祉についてオリエンテーション、車いす体験を通して、相手を思いやる心を育む	23
	2	11月20日	大屋小学校	4年生福祉学習 点字学習 目の不自由な人について点字を学習し体験	23
	3	11月26日	大屋小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流会	23
関宮	1	令和2年10月29日	関宮学園	4年生福祉学習 視覚障がいについて	26
	2	11月5日	関宮学園	4年生福祉学習 点字学習	26
	3	令和3年2月12日	関宮学園	4年生福祉学習 手話学習	26

- 福祉学習担当者連絡会を継続して開催し、話し合いや情報交換を通じて福祉学習の共通理解を深める

市内の小・中・高等学校、福祉関係者、社協職員が福祉教育の目的や進め方等について意見・情報交換を行い、連携を深めるとともに共通認識を持つ「福祉学習(教育)担当者連絡会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

新しい生活様式をふまえて「令和2年度コロナ禍における福祉学習の留意点～学校・社協がともに取り組むこと～」のチラシを作成・配付し、感染拡大防止に留意しながら学習をすすめるよう取り組みました。

マスクやフェイスシールドの着用、手指や使用する用具の消毒、感染予防をふまえた事前計画を立てるなど、感染拡大防止を行い、学習を行いました。

また、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てること

を目的に、市内の小・中・高等学校 16 校を福祉教育指定校として、1 校あたり 10,000 円の活動助成金を交付しています。

- 福祉学習ボランティアの育成をすすめる **新規**
 - 福祉学習ボランティア養成講座 新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- エシカル（身近な環境保全や社会貢献）の視点を取り入れた学習活動を通じて、郷土愛と、自分や周囲の人々を思いやる心を育む取り組みをすすめる **新規**

やさしい心、思いやる心を育む内容のプログラムにより福祉学習をすすめました。

活動項目 3 未来を担う福祉人材育成の支援

- 福祉施設や専門職団体と連携し、福祉職の魅力を発信し、未来を担う福祉人材の発掘と、その養成を支援する取り組みを検討する **新規**
- トライやるウィークや社会福祉士・介護福祉士養成など、実習生の受け入れを積極的に行う

◇トライやるウィーク

令和 2 年 11 月 17 日から 19 日（3 日間）に延期して実施
 デイサービス「ふれあい」 大屋中学校 2 年生 3 人
 関宮通所介護事業所 八鹿青溪中学校 2 年生 3 人

◇訪問介護実習

令和 2 年 7 月 28 日 訪問介護事業所 日高高校 3 年生 3 人

◇デイサービス介護実習

令和 2 年 9 月 24 日から 29 日（4 日間）、10 月 19 日から 28 日（5 日間）
 デイサービスセンター「ふれあい」 日高高校 1 年生 2 人

◇社会福祉士相談援助実習

令和 2 年 8 月 17 日から 9 月 18 日 神戸医療福祉大学 3 年生 1 人

基本活動 2

権利擁護・総合相談支援の体制を整えよう

活動項目 1 関係機関、多職種が連携した総合相談体制（包括的支援体制）の構築

- 地域の生活課題を、行政や専門機関と一緒に課題整理し、連携して対応するネットワーク会議を開催する **新規**

◇福祉総合相談(心配ごと相談) ※結婚相談と同時開設

開設日 場 所	毎月第 1 金曜日	八鹿支部	開設時間	13 時 30 分～16 時	相談日外受付 3 件
	毎月第 2 金曜日	養父支部	相談員数	8 人	
	毎月第 3 金曜日	大屋支部	開設日数	46 日	
	毎月第 4 金曜日	関宮支部	相談件数	3 件	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4 月から 6 月まで電話相談
 任期満了に伴い新しく選任された相談員の全体会を実施しました。

◇福祉総合相談員全体会

年月日	場所	出席者数
令和2年6月25日	地域交流センター「福祉の杜」	7

定期的に連絡会を開催し、相談事業に取り組みました。

◇福祉総合相談員連絡会

年月日	場所	出席者数
令和2年10月22日	地域交流センター「福祉の杜」	6
令和3年2月25日	地域交流センター「福祉の杜」	6

◇法律相談

兵庫県弁護士会との委託契約により、弁護士による無料法律相談を開設しました。

年月日	場所	相談件数(件)	弁護士名
令和2年5月20日	地域交流センター「福祉の杜」	3	菅村朋子 氏
7月15日	養父支部	5	寺西惇展 氏
9月18日	大屋保健センター	6	谷垣竹夫 氏
11月18日	関宮ふれあいの郷	6	寺西惇展 氏
令和3年1月20日	地域交流センター「福祉の杜」	5	谷垣竹夫 氏
3月17日	養父支部	4	菅村朋子 氏

新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月は電話相談

◇相談の内訳

相談分類	相談内容	件数
家事	離婚 親権・扶養・認知 遺言相談・遺産分割 その他	13
不動産	土地・建物登記請求 土地・建物所有権確認請求 境界・相隣関係紛争 その他	9
損害賠償	傷害 医療過誤 公害 その他	2
債権・債務	金銭貸借 売却金 売買代金請求 手形・小切手 執行 その他	—
倒産	破産 民事再生 任意整理 その他	—
労働	解雇無効・地位保全 給料・賃金・退職金請求 労災 その他	—
知的財産権等	特許権 著作権 商標権 意匠権 実用新案権 その他	—
涉外	身分関係 財産関係 商事 その他	1
交通事故	被害者 加害者 第三者	—
サラ金・クレジット	自己破産 任意整理 管財事件 債務不存在 個人再生 その他	—
消費者	証券・保険・銀行 製造物責任 霊視・靈感商法 先物取引 その他	—
刑事	刑事裁判の対象となる事件	—
その他	行政 税務 その他いずれにも分類できないもの	4
合計(1件あたり複数の相談内容となる場合があるため相談件数とは異なる)		29

◇くらしの法律相談

弁護士と直接相談をする法律相談とは別に、社協事務局をとおして相談担当弁護士に相談するくらしの法律相談を行い、4件の相談を受け問題解決のお手伝いをしました。

相談分類	相談内容	件数
家事	離婚 親権・扶養・認知 遺言相談・遺産分割 その他	1
不動産	土地・建物登記請求 土地・建物所有権確認請求 境界・相隣関係紛争 その他	1
損害賠償	傷害 医療過誤 公害 その他	1
債権・債務	金銭貸借 売却金 売買代金請求 手形・小切手 執行 その他	—
倒産	破産 民事再生 任意整理 その他	—
労働	解雇無効・地位保全 給料・賃金・退職金請求 労災 その他	—

知的財産権等	特許権 著作権 商標権 意匠権 実用新案権 その他	-
渉外	身分関係 財産関係 商事 その他	-
交通事故	被害者 加害者 第三者	-
サラ金・クレジット	自己破産 任意整理 管財事件 債務不存在 個人再生 その他	-
消費者	証券・保険・銀行 製造物責任 霊視・靈感商法 先物取引 その他	-
刑事	刑事裁判の対象となる事件	-
その他	行政 税務 その他いずれにも分類できないもの	1
合 計		4

■権利擁護セミナー

「終活セミナー」として開催し、最後まで自分らしい人生を送るために、今できることを考える「終活」について学びました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで結び、各支部に分散して実施しました。

年月日	内容	会場	参加者数
令和3年 2月26日	テーマ 自分らしい人生を送るために 講 義 「終活」について ～今のうちにしておくべきこと～ 講 師 SIN 法律労務事務所 弁護士 福島健太氏	福祉の杜 養父支部 大屋保健センター 関宮ふれあいの郷 養父市役所 ※オンライン	34

- 社協内で地域福祉課職員、ホームヘルパー、介護支援専門員、相談支援専門員、ふれあい訪問員など、多職種が連携し、組織全体で社会的孤立の課題に対応していく体制を構築する

介護支援専門員・ふれあい訪問員連絡会を月1回開催し連携して課題を共有しています。また、介護保険6事業所・障害者相談1事業所は介護福祉課連絡会を月1回行い、情報共有を図っています。

活動項目2 アウトリーチ（出張訪問相談）による相談支援の強化

- 民生委員・児童委員などと連携のもと、ふれあい訪問員による訪問活動（アウトリーチ）を実施し、生活困窮者をはじめ、ひとり暮らし・高齢者夫婦、ひきこもり世帯などの見守りと安否確認、福祉・生活課題の把握を強化する

■ふれあい訪問員によるニーズの把握

区分	合計	八鹿地域	養父地域	大屋地域	関宮地域
実人数（人）	987	300	214	211	262
訪問世帯 延べ人数（人）	2,597	1,100	469	438	590
【内訳】ひとり暮らし高齢者	1,265	437	287	265	276
【内訳】高齢者世帯	498	197	94	102	105
【内訳】その他	645	381	34	46	184
【内訳】地域支援者	189	85	54	25	25
連携機関 延べ数	394	72	114	80	128

- 福祉事務所、地域包括支援センターとふれあい訪問員による情報共有と協議の場を継続して開催する

■福祉事務所・地域包括支援センター・ふれあい訪問員連絡会

回	年月日	参加者数	開催場所
1	令和2年5月25日	10	地域交流センター

2	7月27日	8	「福祉の杜」
3	9月28日	7	
4	11月30日	8	
5	令和3年1月25日	9	
6	3月8日	16	

※3月8日：令和2年度養父市生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業運営会議

活動項目3 権利擁護デスクの設置と法人後見事業の検討

- 成年後見制度の利用支援や法人後見事業の検討も含めた「権利擁護デスク」の設置を検討する **新規**

■ 成年後見制度利用促進（中核機関設置）にかかる但馬圏域連絡会議（南但馬地域）に参加し、成年後見制度利用促進の状況、各市・市社協の状況について意見交換を行いました。（構成員・養父市、朝来市、社協職員、公社 成年後見センター・リーガルサポート兵庫支部、神戸家庭裁判所、兵庫県社協、兵庫県）

年月日	場所	内容	参加者数
令和2年 11月17日	但馬長寿の郷	・ 成年後見制度利用促進の状況について ・ 各市、市社協の状況について ・ 意見交換	15

- 行政、司法、法人、関係団体などで構成される法人後見ネットワークを構築する **新規**
- 市民後見人の養成を行う **新規**

活動項目4 生活困窮者支援の取り組みの実施

- 「生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」を推進する

■ ふれあい訪問員によるニーズの把握 基本活動2 活動項目2に掲載

■ 福祉事務所、地域包括支援センターとふれあい訪問員による情報共有と協議の場を継続して開催する 基本活動2 活動項目2に掲載

- 生活協同組合と連携して、注文間違いなどでやむなく返品となった商品の一部を生活困窮者に提供する「フードバンク」活動について検討する **新規**

生活協同組合コープこうべと食料等の無償提供に関する合意を交わし、フードバンク事業を令和元年7月1日から開始しました。

■ フードバンク事業実績

◇ 受け取り状況

回	受取日	品目	数量
1	令和2年4月 8日	46	103
2	5月26日	45	106
3	6月23日	29	53
4	8月11日	37	94
5	9月16日	2	120
6	9月30日	50	236
7	11月20日	57	139
8	令和3年2月12日	33	83
9	3月23日	37	322

◇払出し状況

月	払出先	件数(件)	払出数量	払出品目
4	こども食堂 いきいきサロンほか	8	162	野菜ジュース、お茶、インスタントみそ汁、衣類ほか
5	生活困窮者世帯 いきいきサロンほか	6	39	切り餅、野菜ジュースほか
6	生活困窮者世帯 こども食堂ほか	7	149	パックごはん、赤飯、野菜ジュース、緑茶ほか
7	生活困窮者世帯 いきいきサロンほか	6	124	インスタントラーメン、野菜ジュース、衣類ほか
8	生活困窮者世帯 いきいきサロンほか	3	53	インスタントラーメン、乳幼児用品ほか
9	こども食堂 いきいきサロンほか	6	444	インスタントラーメン、緑茶ほか
10	生活困窮者世帯 こども食堂ほか	6	145	インスタントラーメン、白米ほか
11	生活困窮者世帯 いきいきサロンほか	7	182	インスタントラーメン、緑茶、白米ほか
12	いきいきサロン	3	37	缶詰、緑茶ほか
1	生活困窮者世帯	2	40	パックごはん、インスタントラーメン、衣類ほか
2	生活困窮者世帯 こども食堂	6	33	インスタントカレー、衣類ほか
3	生活困窮者世帯 いきいきサロン	6	265	インスタントラーメン、野菜ジュース、インスタント味噌汁ほか

■善意銀行に寄付された白米を、養父市に在住する、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困る世帯（希望する世帯）へ、1世帯につき2kgを渡しました

配布世帯	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
28件	13件	5件	1件	9件

活動項目5 日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業の実施体制強化

- 日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業の担当者研修をすすめ、一体的に実施する体制を構築する

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少や失業等により生活に困窮し、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に緊急小口資金、総合支援資金を貸し付ける「特例貸付」制度を令和2年3月から開始しました。

■日常生活自立支援事業利用状況

相談件数（契約前）	1件	新規契約件数	0件	利用延人数	17人
相談件数（契約後）	2,380件	解約件数	1件	年度末利用実人数	16人

■日常生活自立支援事業生活支援員研修会

年月日	場所	内容	参加者数
令和3年 3月11日	福祉の杜	講義 高齢者、障がい者に多い消費者トラブルについて 講師 但馬消費生活センター 消費生活相談員 義本 みどり 氏	13

		情報交換 利用者に起きた消費トラブルや、直面している課題についての共有	
--	--	--	--

■生活福祉資金貸付事業

資金名	相談件数 (件)	新規貸付件数 (件)	新規貸付金額 (円)
総合支援資金	17	0	0
緊急小口資金	6	1	100,000
福祉資金	13	0	0
教育支援資金	12	0	0
不動産担保型生活資金	0	0	0
緊急小口資金 新型コロナウイルス特例貸付	66	33	5,060,000
総合支援資金 新型コロナウイルス特例貸付	18	7	4,600,000
合計	132	41	9,760,000

◇貸付状況

資金名	種類	件数 (件)	貸付元金 (円)	償還残額 (円)
総合支援資金	生活支援資金 16 件 一時生活再建費 2 件	18	13,540,000	10,386,600
緊急小口資金	緊急小口資金	1	100,000	10,000
福祉資金	福祉費	1	375,000	375,000
教育支援資金	教育支援費 16 件 修学支度費 17 件	33	33,633,200	23,073,230
合計		53	47,648,200	33,844,830

◇償還状況

区分	件数 (件)	償還残額 (円)
償還中	49	33,268,830
据置期間	41	10,236,000
償還免除	0	0
完了	3	0

活動項目6 結婚相談事業の推進と婚活実施団体のネットワークの強化

- 市内で婚活事業を行う団体が参加する婚活応援者ネットワーク会議開催への働きかけを行う

今年度は、養父市やぶぐらし課と婚活に関する情報・意見交換を行い、婚活イベントも合同で開催しました。

■結婚相談事業 ※福祉総合相談と同時開設

開設日 場所	毎月第1金曜日	八鹿支部	開設時間	13時30分～16時
	毎月第2金曜日	養父支部	相談員数	8人
	毎月第3金曜日	大屋支部	開設日数	46日
	毎月第4金曜日	関宮支部	相談件数	8件

任期満了に伴い新しく選任された相談員の全体会を実施

◇結婚相談員全体会

年月日	場所	出席者数
令和2年6月25日	地域交流センター「福祉の杜」	6

出会いの機会をサポートする場WEL♡縁♡友♡婚を、ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」で、第2・第4日曜日に相談を受け付けました。

開設日	毎月第2・第4日曜日	開設時間	13時30分～16時
		相談員数	8人
場 所	ウエルシア養父上箇店	開設日数	19日
		相談件数	28件

■養父市結婚相談所連絡会（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

年月日	内 容	参加者数
令和2年7月15日	WEL♡縁♡友♡婚の日程調整について 香美町社会福祉協議会との情報交換について	10（7）
11月26日	やぶぐらし課との情報交換 全但結婚相談連絡協議会10月例会報告について 全但結婚相談連絡協議会第2回交流研修会について	9（7）
令和3年3月25日	全但結婚相談連絡協議会3月例会及び役員会について 令和3年度 福祉総合相談・結婚相談所開設日の確認 令和3年度 ウエルシア結婚相談所開設日について 情報交換	7（6）

（ ）は養父市相談員数

■養父市結婚相談所情報交換会（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

4・5・8・9・10・12・1・2月に情報交換会を開催しました。

■全但結婚相談連絡協議会

積極的に婚活事業に取り組みました。

年月日	内 容	参加者数
令和2年5月18日	全但結婚相談連絡協議会総会	書面議決
7月6日	全但結婚相談連絡協議会7月例会	12（2）
10月12日	全但結婚相談連絡協議会10月例会	12（2）
令和3年3月8日	全但結婚相談連絡協議会3月例会	13（2）

（ ）は養父市相談員数

8月24日、12月2日に計画していた全但結婚相談連絡協議会第1回、第2回交流研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

■結婚相談員の活動状況

新規受付	22件	見合い	250件
紹介・相談	556件	成 婚	3組

基本活動3

ボランティア・市民活動を活性化しよう

活動項目1 ボランティア・市民活動センターの運営機能の強化

- ボランティア・市民活動センターのコーディネート機能を強化するとともに、住民が気軽に立ち寄れる身近な相談窓口や、活動拠点などセンター機能の充実を図る

■ボランティアステーション活動状況

コーディネート件数

対象	八鹿支部		養父支部		大屋支部		関宮支部		
	コーディネート 件数	ボランティア 活動者数	コーディネート 件数	ボランティア 活動者数	コーディネート 件数	ボランティア 活動者数	コーディネート 件数	ボランティア 活動者数	
在宅	高齢者	420件	1,374人	457件	989人	580件	1,452人	271件	1,758人
	障害者	0件	0人	7件	26人	6件	12人	0件	0人
	その他	6件	13人	2件	2人	8件	13人	0件	0人
施設・病院	5件	40人	0件	0人	37件	96人	2件	9人	
行政機関	0件	0人	4件	10人	18件	50人	1件	1人	
市民活動団体	3件	5人	1件	1人	7件	49人	14件	29人	
学校	0件	0人	13件	30人	4件	6人	2件	3人	
その他	23件	58人	28件	136人	45件	92人	29件	114人	
合計	457件	1,490人	512件	1,194人	705件	1,770人	319件	1,914人	

■ボランティア災害共済加入状況

加入者	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
ボランティア(人)	498	180	120	102	96
行政関係(人)	240	81	77	43	39
その他(人)	54	8	0	46	0
合計	792	269	197	191	135

■天災ボランティア保険・災害特例型加入状況

加入者	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
天災ボランティア保険(人)	6	6	0	0	0
災害特例型(人)	0	0	0	0	0
合計	6	6	0	0	0

■ボランティア活動への助成

養父市ボランティア・市民活動センターに登録したボランティアグループは 91 グループでした。そのうち、会員 5 人以上で年 6 回以上ボランティア活動を行っているグループで、活動助成金の申請のあった 43 グループに 830,000 円を助成しましたが、コロナ禍による活動の制限があり、一部返金するグループがありました。

ボランティアグループ活動助成金の助成

支部	金額 (円)	助成グループ数	助成金額備考
八鹿	250,000	13	助成金額選択 10,000 円または 20,000 円 ※一部返金あり
養父	170,000	9	
大屋	220,000	11	
関宮	129,483	8	
合計	769,483	41	

- 住民参加によるボランティア・市民活動センター運営委員会に、企業や学校関係者の参画を促す

■養父市ボランティア・市民活動センター運営委員会 (開催場所：地域交流センター「福祉の杜」)

年月日	協議内容	参加者数
令和 2 年 7 月 29 日	・養父市ボランティア・市民活動センター運営委員会委員長・副委員長の選任について	9

	<ul style="list-style-type: none"> ・養父市共同募金委員会募金推進委員の選任について ・令和2年度事業計画について ・令和2年度ボランティアグループ活動助成金について 	
--	---	--

■ボランティアステーション連絡会(代表者会議等)

◇八鹿支部

年月日	協議内容	参加者数
令和3年 3月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度ボランティアステーション報告について ・令和2年度ボランティアグループ活動助成金について ・令和3年度ボランティア活動について ・令和3年度ボランティア登録について ・令和3年度ボランティア・市民活動災害共済について 	21

◇養父支部

年月日	協議内容	参加者数
令和3年 3月19日	給食サービスボランティア運営会議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の活動状況について ・令和3年度の取り組みについて ・令和3年度活動計画の作成 	7

◇大屋支部

※前期のボランティア代表者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

年月日	協議内容	参加者数
令和2年 10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・養父市ボランティア・市民活動センター運営委員について ・令和2年度前期各グループの活動報告について ・令和2年度前期大屋支部ボランティアステーション活動報告について ・令和2年度後期活動について ・大屋ひとり暮らし高齢者のつどい中止による、代替事業について 	12
令和3年 3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度後期各グループの活動について ・令和2年度大屋支部ボランティアステーション活動報告について ・ひとり暮らし高齢者友愛訪問(冬)活動報告について ・令和3年度事業及び活動について ・令和3年度ボランティア登録について 	11

◇関宮支部 なし

■ボランティアのつどい

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各支部とも中止

- 子どもから高齢者、当事者まで、あらゆる人の社会参加を支援するため、だれもがボランティア活動できる環境整備を推進する

■ふれあい郵便実施状況

80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、郵便による激励訪問と郵便局の日常的な集配業務を通じ、安否確認を行います。

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
発送枚数(枚)	5,078	1,925	1,279	968	906
利用実人数(人)	487	155	123	127	82

活動項目2 多様なボランティア養成講座の開催等、新たな担い手の育成

- 多様化する地域課題を把握し、解決に向けて地域のニーズにあわせた学習会や養成講座を実施し、次世代育成を含めた人材の養成をすすめる
 - 精神保健・こころのサポーター研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 講座修了後、地域で活躍できるよう、活動の受け皿づくりを促進する

活動項目3 ボランティア情報の発信

- 地域住民、学校、企業等がボランティア・市民活動への理解や関心を高めるため、広報紙、SNS、ホームページ、ケーブルテレビなどさまざまな手段で効果的な情報発信に努める

広報紙かけはしに、ボランティアグループや市民活動団体等を紹介するコーナー「まちのボランティア Sun's」を4ヶ月に1回設けるとともに、ホームページやフェイスブックで活動の紹介に努めました。

活動項目4 ボランティア講師の登録推進

- 知識や経験、技術などを活かして、地域のふれあい喫茶や、サロン、福祉学習等で活躍する「ボランティア講師」の登録を推進する

活動項目5 暮らしを支えるボランティアの養成

- 生活のちょっとした困りごとをお手伝いする「くらし安心サポーター」を養成し、身近な地域でのささえあい、たすけあいの意識の底上げを図る。地域づくりに携わる幅広い世代の担い手を発掘し、地域のなかで福祉活動をすすめる理解者を広げる
 - くらし安心サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

■くらし安心サポーターフォローアップ研修

回	年月日	内容	参加者数
1	令和3年 3月23日	お互いさまの助け合いの輪を広げよう！ 講義「生活を支える人とのつながり」 講師：但馬長寿の郷地域ケア課 理学療法士 小森昌彦 氏 情報交換	26

■くらし安心サポーター活動状況アンケートの実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域の活動や事業が制限されるなか、市民活動も継続や再開の判断に迷い模索している団体（個人）や、発想の転換をしながら新たなカタチで実践しているところなど、様々な状況にあります。

このようなことから、今後の助け合いの取り組みにつなげていくことを目的に、くらし安心サポーターへ、コロナ禍における活動状況についてアンケート調査を行いました。

実施期間	内容
令和3年 3月5日～ 3月23日	対象者：くらし安心サポーター1期生2期生 全59人 回答者数：54人 回答方法：アンケート用紙への記入

- 地域のささえあう関係や、つながりの再構築を基盤に、地域住民やボランティア、行政、関係団体、学校、企業、NPO等、多様な主体が協働して地域の生活福祉課題を解決していく取り組みをすすめる **新規**

基本活動 4

当事者が自分らしく活躍する社会をつくろう

活動項目 1 認知症カフェの支援

- 認知症カフェ「ここあん」、「出会いカフェ」などを引き続き支援するとともに、その他の地域への立ち上げの支援を行う

開催会場の提供や職員の派遣など「認知症カフェここあん」（毎月第 2 木曜日開設）、「出会いカフェ」（毎月第 4 水曜日開設）の活動の支援を行いました。

◇出会いカフェ 毎月第 4 水曜日

年月日	参加者数（人）					合計（人）
	介護者	当事者	一般	ボランティア	職員等	
令和 2 年 6 月 24 日	9	0	0	2	1	12
7 月 22 日	4	0	0	1	1	6
8 月 26 日	4	1	0	2	1	8
9 月 23 日	8	1	0	3	0	12
10 月 28 日	8	1	1	2	3	15
11 月 25 日	6	0	0	3	2	11
12 月 23 日	6	0	0	4	1	11
令和 3 年 3 月 24 日	7	1	1	2	0	11
合計	52	4	2	19	9	86

※ 4 月、5 月、令和 3 年 1 月、2 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止

◇認知症カフェここあん 毎月第 2 木曜日

年月日	参加者数（人）					合計（人）
	介護者	当事者	一般	ボランティア	職員等	
令和 2 年 6 月 11 日	10	3	13	2	7	35
7 月 9 日	15	3	3	4	4	29
8 月 6 日	5	2	3	1	6	17
9 月 10 日	9	2	7	1	3	22
10 月 8 日	9	2	7	3	3	24
11 月 12 日	8	3	5	2	2	20
12 月 10 日	10	1	7	2	2	22
令和 3 年 1 月 14 日	5	0	4	1	1	11
2 月 4 日	3	1	4	2	1	11
3 月 11 日	6	1	11	2	2	22
合計	80	18	64	20	31	213

※ 4 月、5 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止。6 月からは 3 密を避けるため、会場を地域ふれあいの家たまり場から個人宅へ変更して行いました。

- 認知症の人や介護者が主体となり認知症を啓発できる環境づくりを行う **新規**

養父市認知症カフェ連絡会が養父市内小学校 9 校に、児童が認知症を正しく理解し、関心や理解を深める機会にするために、認知症啓発絵本を 3 冊ずつ贈呈しました。

年月日	場所	贈呈した書籍
令和 2 年 10 月 9 日	養父市内小学校（9 校）	①『とんでいったふうせんは』 絵本塾出版 ジェシー・オリベロス 文、ダナ・ウルエコッテ 絵、落合恵子 訳 ②『赤ちゃん キューちゃん』 クリエイトかもがわ

		藤川幸之助 さく、宮本シジ エ ③『おじいちゃんの手帳』 クリエイトかもがわ 藤川幸之助 さく、よしだよしえい え
--	--	---

また、Yタウンでアルツハイマーデーにあわせて9月19日に会員が中心となって啓発活動を行い、社協職員も参加しました。

活動項目2 当事者同士のつながりと活動の支援

- 在宅介護者のつどいの事業内容を見直し、介護者のニーズに合った、交流・学習の機会づくりを行う

市と連携し要介護認定を受けた方の介護者に案内チラシを送付するとともに、広報紙での情報提供に努めました。

■在宅介護者のつどい

◇第14回養父市介護者のつどい

年月日	場所	内容	参加者数
令和2年 11月18日	養父市全天候運動場	介護者の会会員や支援ボランティアがグラウンドゴルフで交流	12

◇八鹿支部 介護者の会「なごみ(和み)」(介護者のつどい)

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 8月6日	地域交流センター 「福祉の杜」	しまんと新聞バッグづくり 講師：神戸新聞広谷大屋専売所 長島敏行氏	3
2	9月16日	地域交流センター 「福祉の杜」	勉強会 知って防ごう！感染症 講師：養父市健康福祉部健康課 保健師 珍坂美紀氏	6
3	令和3年 3月26日	地域交流センター 「福祉の杜」	令和3年度の計画を立てよう ～お菓子とお茶を飲みながら～	3
合計				12

※5月、1月はコロナウイルス感染拡大防止のため休会

◇養父支部 ひまわりの会(介護者のつどい)

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 8月7日	養父市社協養父支部会議室	花の寄せ植え講習会 講師：高木園芸 高木規之氏 ティータイム	4
2	9月16日	道の駅ようか「但馬蔵」、但馬長寿の郷	道の駅ようか「但馬蔵」でランチ 但馬長寿の郷 すこやかセンター前ホワイエ 「福祉用具特別展示」を見学	3
3	令和3年 3月30日	養父市社協養父支部会議室	ティータイム 来年度の計画づくり	4
合計				11

※5月はコロナウイルス感染拡大防止のため休会

※1月はコロナウイルス感染拡大防止のため休会し自宅で取り組める体操のチラシを配布

◇大屋支部 野ぎくの会（当事者組織）年会費 800 円及び実費

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 7月16日	大屋保健センター	花の寄せ植え講習会① 講師：高木園芸 高木規之 氏	7
2	9月17日	但馬長寿の郷	福祉用具・介護ロボット見学 講師：但馬長寿の郷 理学療法士 永田 智 氏	8
3	10月22日	大屋保健センター	手芸品づくり 和紙のハーバリウム作製	8
4	12月24日	大屋保健センター	花の寄せ植え講習会② 講師：高木園芸 高木規之 氏	6
5	令和3年 3月25日	大屋保健センター	食事会、今年度の反省と次年度の活動計画 養父市出前講座「知って防ごう！感染症」 講師：養父市健康課 濱 和子 氏	6
合計				35

※4月から6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

◇関宮支部 たんぼぼの会（当事者組織）会費 1 回 200 円及び実費

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 7月16日	関宮 ふれあいの郷	介護なんでも相談 講師：養父市社協 介護支援専門員	11
2	8月20日	新温泉町	食事会、買い物	9
3	9月17日	関宮 ふれあいの郷	知って得する健康のお話 講師：せきのみや薬局 薬剤師 藤原重寿氏	9
4	10月22日	Yタウン ほか	食事会、買い物	10
5	12月17日	関宮 ふれあいの郷	養父市出前講座「知って防ごう！感染症」 講師：養父市健康課 濱 和子 氏	7
6	令和3年 3月30日	関宮地域	たんぼぼの会支援ボランティア友愛訪問 ※介護者へマスクなどを贈呈	5
合計				51

※4月から6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

- ダウン症家族会「テクテク」や、視覚障がい者のつどい「ありんこの会」、精神障がい者家族会「ゆうきの会」など当事者グループとのつながりを深め、その活動を支援する
- 「養父市手をつなぐ育成会」「養父市身体障害者福祉会」など当事者団体や、「がっせえアート」などのNPO 法人との連携を深める

NPO 法人「がっせえアート」の第11回がっせえアート展への後援を行いました。

- 当事者団体やグループの活動を、社協広報「かけはし」やホームページで紹介する

社協広報「今月のかけはしさん」のコーナーで「鉱石の道」実行委員会、養父市老人クラブ連合会、自治協議会などに所属するみなさんの活動を紹介しました。

- 民生委員・児童委員やボランティアの協力を得て、ひとり暮らし高齢者のつどいを継続実施する。つどいを通じてひとり暮らし高齢者同士および、ボランティア等との交流の機会をもち、仲間づくりの一助とする

■ひとり暮らし高齢者のつどい

◇八鹿支部

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

◇養父支部

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 10月下旬～ 11月上旬	養父地域内	ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・ボランティア手作り手芸品や体操チラシ、悪徳商法啓発チラシ等を届ける ・高齢者の体調や心配ごと、困りごとについて聞き取りアンケートの実施	188

※夏の年輪の会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

◇大屋支部

回	年月日	実施場所	内容	参加者数
1	令和2年 7月2日	大屋地域内	ひとり暮らし高齢者友愛訪問（夏） ・手作りうちわと体操チラシ、悪徳商法啓発チラシ等を届ける ・高齢者の体調や心配ごと、困りごとについて聞き取りアンケートの実施	64
2	9月28日	西谷地区	西谷地区ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦友愛訪問 ・手作り弁当を届けて友愛訪問	41
3	10月12日	南谷地区	南谷地区ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・手作り弁当やお菓子を届けて友愛訪問	34
4	11月19日	大屋ふれあいの家	大屋地区ひとり暮らし高齢者のつどい ・レクリエーションや茶話会をして楽しむ ※コロナウイルス感染予防のため、弁当は持ち帰る	15
5	12月8日	大屋地域内	ひとり暮らし高齢者友愛訪問（冬） ・手作りの炊き込みご飯と大屋こども園園児の絵入りポケットティッシュ、大屋小学校児童によるメッセージカード、体操チラシ、悪徳商法啓発チラシ等を届ける ・高齢者の体調や心配ごと、困りごとについて聞き取りアンケートの実施	147
6	12月25日	口大屋地区	口大屋地区ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・クリスマスプレゼントを届けて友愛訪問	36
7	令和3年 3月2日	西谷地区	西谷地区ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦友愛訪問 ・手作り弁当を届けて友愛訪問	37

◇関宮支部

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

ボランティアの協力を得て12月3日にひとり暮らし高齢者友愛訪問を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

活動項目3 ひきこもりや外国出身者などへの支援

- ひきこもりの人や外国出身者、障がいを持つ人の社会参加や、農福連携による就労の機会づくりを、関係機関とともにすすめる **新規**

ひきこもり対策ネットワーク会議（構成員は市健康課、市社会福祉課、市地域包括支援センター、市教育委員会学校教育課、スクールソーシャルワーカー、朝来健康福祉事務所

地域保健課、養父市社会福祉協議会、兵庫県ひきこもり相談支援センター但馬地域ランチ ドーナツの会 かるべの郷福祉相談センターPolaris)に参加し、情報の提供と共有を図りながら関係機関と連携し今後の支援の検討を行いました。

■ひきこもり対策ネットワーク会議への参加

年月日	開催場所	内容
令和2年 8月3日	八鹿公民館	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 各関係機関の取り組みについて 実務者間での情報共有及び今後の支援方針の相談の場について

■ひきこもりに関わる個別支援会議への参加

年月日	開催場所	内容
令和2年 11月6日	かるべの郷	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の情報共有 今後起こりうるリスク及びその際の対応について

- 養父市国際交流協会と連携し、学校での国際理解をすすめる事業の開催など、外国出身者と地域住民の交流の場づくりをすすめる **新規**

基本活動5

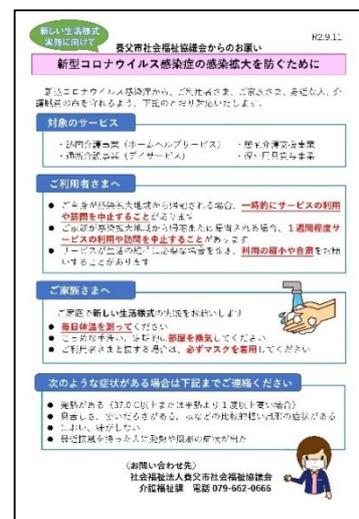
安心して暮らし続けられるサービスを推進しよう

今般の新型コロナウイルス感染拡大により、国では4月7日「緊急事態宣言」が発令され、また養父市においても4月8日「養父市非常事態宣言」が発表されました。

介護保険事業所では、この宣言を受け、感染拡大防止の取り組みとして、利用者に啓発チラシを作成し、配付することにより、利用者の安全・安心の確保と職員の感染リスクの軽減に努めました。

◆チラシの配付

時期	内容
4月 緊急事態宣言を受けて	職員の感染対策の取り組み、利用の縮小や自粛のお願い、新しい生活様式の実践など
5月 第2波に備えて	
7月 お盆の帰省に向けて	
9月 新しい生活様式に向けて	



活動項目1 地域に密着した介護保険事業の実施

- 高齢者相談センターや生活支援コーディネーターとの情報交換や連携を強化する

■高齢者相談センター相談件数

センター名	相談件数 (件)	合計 (件)	令和元年度 (件)
高齢者相談センターおおや	新規 73	1,286	1,289
	継続 1,213		
高齢者相談センターせきのみや	新規 88	1,306	721
	継続 1,218		

- 一人ひとりの望む暮らしに合わせた専門性の高いサービスを提供し自立を支援する

■介護保険事業所の実績

区分	項目	令和2年度	令和元年度	増減
居宅介護支援事業	利用件数	3,897件	3,872件	25件
訪問介護事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）	訪問回数	22,909回	24,519回	△1,610回
通所介護事業（大屋）	延べ利用人数	8,401人	7,856人	545人
通所介護事業（関宮）	延べ利用人数	5,008人	5,416人	△408人
訪問入浴サービス事業	訪問回数	89回	125回	△36回
福祉用具貸与事業	延べ利用件数	9,738件	9,895件	△157件

- 地区福祉委員会などに参加し、地域住民や関係機関とともに課題解決をすすめる

活動項目2 自立を支える介護予防・生活機能向上サービスの実施

- 地域包括支援センターや高齢者相談センター、生活支援コーディネーターと連携を図り、くらし安心サポーターや地域住民と一緒に地域のささえあうしくみづくりをすすめる

- 生活支援コーディネーター連絡会（第1・2層）を4・6・8・10・12・2月に開催

- 介護予防・日常生活支援総合事業を通して、個別ニーズに対応した自立支援を図る

■介護予防・日常生活支援総合事業

◇通所型生活機能向上サービス

名称	地域ふれあいの家 いきいきサロンようか	ふれあいいいき サロンそよ風	地域ふれあいの家 いきいきサロン	いきいきサロン 関宮
開設日数	47日	45日	47日	45日
開催日	毎週火曜日	毎週木曜日	毎週水曜日	毎週金曜日
開催場所	4月～6月：地域 ふれあいの家た まり場（八鹿） 7月以降：ふれあ いきいきサロ ンそよ風（養父）	ふれあいいいき サロンそよ風	大屋 ふれあいの家	関宮 ふれあいの郷
利用延べ人数	640人	159人	540人	901人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため休んだ延べ人数は、八鹿：143人、養父：65人、大屋：40人、関宮：77人でした

その他、介護用品のあっせんや福祉用具貸出事業を行い、生活の利便性を図りました。

■介護用品あっせん事業

区分	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部	合計	令和元年度
あっせん件数（件）	107	161	340	294	902	931
利用実人数（人）	17	10	38	36	101	126
利用延人数（人）	68	108	253	224	653	633

■燃やすごみ用ゴミ袋あっせん事業

養父市・朝来市共通ごみ袋（燃やすごみ用のゴミ袋）をあっせんしています。
令和2年7月から、各支部でも取り扱いを始めました。

■福祉用具貸出事業

区分	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部	合計	令和元年度
ベッド（件）	16	13	16	9	54	62

車いす (件)	21	5	9	1	36	55
松葉杖 (件)	1	6	2	3	12	13
ポータブルトイレ (件)	8	0	2	4	14	26
その他 (件)	3	0	2	1	6	6

活動項目3 共生社会を広げる、障害者相談支援事業の推進

- 自立支援協議会に参加し関係機関と連携をとり、障がい者の望む地域生活を支援する

障害福祉に関する関係者による連携及び、支援の体制に関する協議を行う養父市自立支援協議会設立に向け、令和2年9月の運営会議に参加し協議を行いました。

12月からは3つ(こども、しごと、まちづくり)の部会が毎月開催され、各部会に社協職員が委員として参加しました。

- 制度の狭間で困りごとを抱えている人への相談支援、また地域住民や関係機関と情報を共有し、連携し地域での生活をささえる
- 65歳以上の障がい者がその人らしい暮らしができるよう事業所間連携を図り、総合的に支援する
- 障がいの特性に応じた障害福祉サービスが利用できるように働きかける

■ 障害福祉サービス

区分		項目	令和2年度	令和元年度	増減
相談支援事業	相談支援件数	延べ件数	677件	455件	222件
	計画相談支援	延べ件数	6,127件	5,151件	976件
居宅介護(訪問介護、同行援護、移動支援)		訪問回数	2,433回	2,118回	315件

活動項目4 ニーズに合わせた給食サービス、移送サービス事業の運営

- 見守り・安否確認を重視した給食サービスを継続するとともに、市全体の利用ニーズ、民間事業所の事業展開を勘案し、効果的な運営を検討する

■ 配食サービス

市内のひとり暮らし高齢者及び高齢夫婦等へ、業者が調理した弁当を1食400円で配食ボランティアが届け、友愛訪問と安否確認を兼ねたサービスとして実施しました。

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部	
利用者数(人)	98	28	16	25	29	
食数(食)	5,041	1,551	784	1,179	1,527	
内訳(食)	水(52回)	2,659	807	426	598	828
	金(49回)	2,432	744	358	581	749
配食ボランティア延べ人数(人)	1,483	412	307	286	478	
配食ボランティア実人数(人)	68	15	24	20	9	

- 利用ニーズとNPO法人、民間事業者の動向を踏まえ、ニーズに合った利用しやすい移送サービス事業への見直しを検討する

■ 移送サービス

障がい者・要介護高齢者等の移動が困難な方を対象に道路運送法に基づき移送サービス事業を実施しました。

地 域	登録人数	実施回数	利用延人数	走行距離
八 鹿	38 人	441 回	325 人	2,328 km
養 父	11 人	292 回	183 人	2,190 km
大 屋	17 人	282 回	166 人	2,814 km
関 宮	25 人	195 回	128 人	2,745 km
合 計	91 人	1,210 回	802 人	10,077 km

活動項目5 自治協議会、企業、行政、関係機関等との連携による生活支援サービスの開発

- 自治協議会、企業、行政、社会福祉施設などと協働し、見守り、配食、買い物等、日常のちょっとした困り事を支援するサービスの開発を検討する

■夕食サービスの実施

安心地区推進協議会で調理が困難な高齢者への支援について協議を行い、関宮通所介護事業所、いきいきサロン関宮の利用者への夕食サービスを調理ボランティアの協力により実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止しています。

回数	1 回	食数	10 食	延べ利用者数	10 人	実利用者数	10 人
----	-----	----	------	--------	------	-------	------

- 地域の実情にそって、より良い地域包括ケア実現のために課題を把握し、解決していく手段を検討する

基本活動6

養父市の「宝」子どもたちの育ちを地域でささえよう

活動項目1 子育てサロン、子育て支援グループへの支援

- 身近な場所で子育て中の親同士が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができるよう、自治協議会やボランティアグループなどが主体となって開催する「子育てサロン」の運営支援や立ち上げ支援を行う

■子育てサロンそよ風

子育てサロンそよ風サポーターが自主運営する子育てサロンを支援しました。

運 営 主 体	ボランティアグループ「そよ風サポーター」・社協
開 設 日	毎週月曜日 10:00~11:30 (祝日を除く)
登 録 人 数	11 組 ※平均利用数 2.4 組
ボランティア数	6 人
ボランティア活動回数	サロンでの見守りや季節行事の開催 37 回 再開前にスタッフによる除菌作業等 1 回 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため4~5月は中止)

■子育てサロンの支援

子育てボランティアグループや地域自治協議会が主体となって開催するサロンへ、取材等で参加し、自主運営の支援を行いました。

◇市内の子育てサロン実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための休止あり

サロン名	運営主体	開催日・時間	活動回数
子育てサロン伊佐 ※2~3月休止	伊佐校区自治協議会	毎月第1月曜日 10:30~11:30	10 回

子育てサロン高柳 ※4～5月、令和3年 1～2月休止	高柳地区自治協議会	毎月第4水曜日 10:30～11:30	8回
子育てサロンすくすく ※4～5月休止	関宮子育て支援 ボランティアグループ	毎月第2火曜日 10:30～11:30	9回
子育てサロン関宮 ※4～5月休止	養父市社協関宮支部 (場所開放)	毎月第4月曜日 10:30～11:30	8回
手作り広場ほわほわ ※4～8月、令和3年 1～2月休止	自主サークル	毎月1～2回 10:00～13:00	5回

- 新たな子育て支援ボランティアを養成するための講座を開催する
- 双子や三つ子などをもつ親が集い、多胎児ならではの悩み事などの情報交換や、仲間づくりを行う場として、市健康課とも連携し、多胎児サークル「ピーナッツ」の活動を引き続き支援する

■多胎児サークルピーナッツ

双子や三つ子など多胎児を育児する親や、多胎児出産を控えた妊婦、多胎児育児の経験者が集い、多胎児ならではの喜びや悩みを共有したり情報交換したりする場として、ボランティアの協力を得て多胎児サークル「ピーナッツ」を開催しました。

運営主体	養父市社会福祉協議会 養父支部
開設日	毎月第2金曜日 10:00～11:30
対象親子数	6組 ※平均利用数2組 ※養父市健康課による紹介のほか、市外からの参加も受け入れる
活動回数	10回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4～5月休止
ボランティア数	2名 ※1回あたり1人が活動

活動項目2 子育て支援ネットワークの運営機能強化

- 市教育委員会と連携し、市内の子育て支援に関わるボランティアや各種団体が連携・協働する場として、「子育て支援ネットワーク会議」を定期的で開催し、情報交換や研修などを行う

■子育て支援ネットワーク会議

回	年月日	内容	参加者数
1	令和2年 8月26日	子育て支援ネットワーク会議について(説明) 会長・副会長の選任、全体での情報交換 (※コロナ禍に配慮した新スタイルを実施)	24
2	12月21日	研修会「あそびよろず屋店長えのちゃんのあそび大百科」 講師 榎本英樹氏(NPO 法人生涯学習サポート兵庫) (※コロナ対策に配慮した座席配置をとりつつ、2～3人で組 になって、簡単な工作や手遊びをしながら、コミュニケーションのコツを学んだ)	25

■子育て支援ネットワーク会議を通じた活動

回	年月	内容
1	令和2年8月	養父市子育てネット Facebook ページ開設
2	9月	各園・団体への一斉メールでの情報提供開始
3	9月～	養父市ケーブルテレビオンエア用 子育て応援動画制作 およびオンエア

(※会議の中で出された提案に基づき、ケーブルテレビのCM枠でオンエアするための子育て応援動画を撮影・制作)

- 子育てサロンにおける子どもたちとの関わりのなかで、相談を受けた発達についての悩みなどを、必要に応じて行政や障害者相談支援事業所など関係機関につなげる体制づくりをすすめる

子育てサロンにおける親子とのかかわりのなかで、気になる親子があれば保健師に伝えたり、市が実施する制度や事業を紹介したりできるよう、子育て支援ネットワーク会議にて情報の共有に努めました。

活動項目3 子育てに関する学習の場づくり

- 市教育委員会と連携し、子育て中の親などを対象に、子育てに関する知識や環境づくりについて学ぶ講座を開催する

■ どのらない子育て練習講座の実施

おこったり、どなったりせず、ほめて伸ばす子育ての方法を学ぶ講座を市教育委員会と連携して行いました。実施にあたって不可欠な、託児ボランティアのコーディネートを担当しました。

講座名	回数	延べ参加者(人)	託児ボランティア
どのらない子育て練習講座 ダイジェスト編	1回	4	2
どのらない子育て練習講座 実践編	3回	9	9
ぽかぽか相談ルーム	2回	4	—

※ぽかぽか相談ルームは7月開始で毎月実施、(9月から12月は予約なし)

活動項目4 子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)の推進

- 兵庫県の「子どもの冒険ひろば」、市教育委員会の「放課後子ども教室」と連携して、プレーリーダーや地域の大人が見守るなか、工作や外遊びなど自由な活動を通して子どもたちの生きる力を育む「子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)」を引き続きすすめる

放課後プレーパークを大屋・関宮地域で実施しました。大屋地域は、養父市から委託を受け、養父市放課後子ども教室「おおよっこ教室」として開催。関宮地域は、兵庫県と養父市から「子どもの冒険ひろば事業」の補助を受け実施しました。

- 子育て支援に関わるボランティアや各種団体のほか、学生など一般ボランティアにも協力を呼びかけ、夏休みプレーパーク、春休みプレーパーク、出前プレーパークを開催する

夏休みプレーパークおよび、出前プレーパークは新型コロナウイルスの影響により中止しましたが、代替えの活動として、但馬農業高等学校ボランティア部や第一学院高等学校養父校から、放課後プレーパークに参加があり、交流を深めました。

◇放課後プレーパーク(子どもの冒険ひろば)実施状況

開催場所	区分	回数	参加者数
4月～11月 関宮健康増進施設軒下	放課後プレーパーク	20回	579人
12月～3月 関宮コミュニティスポーツセンター			
大屋小学校	おおよっこ教室	19回	505人
はさまじ里山の森公園	春休みプレーパーク	1回	159人
	合計	40回	1,243人

※夏休みプレーパーク、出前プレーパークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

活動項目5 子育て支援についての情報発信

- 市内の子育てひろばの開設状況や、サークル活動・ボランティア活動など、子育てに関する情報を集めた「養父市の子育て支援情報誌まるわかりガイド」を発行し、情報発信を行う

今年度も、「子育て支援情報誌まるわかりガイド」を更新し発行しました。

◇配付状況

発行月	発行部数	配付先
令和2年6月	900部	市の乳幼児健診で配付するほか、子育てひろば、こども園、保育所、公民館、地域自治協議会、地域局等へ配付

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一斉休校となった小学校児童等を対象に、家での時間を少しでも楽しむための遊びのヒントを集めた「プレーパークだより コロナにまけるな特別号」を発行しました。

◇配付状況

発行月	発行部数	配付先
令和2年5月	1,500部	市内小学校の全児童、こども園・保育所（5歳児）へ配付

- 社協ホームページにて、子育て関連ブログ「～手つなぎ mama～」を随時更新し、情報発信を行う

子育て関連支援ブログ「～手つなぎ mama～」を随時更新し、情報発信を行いました。同ブログ内の、「子育て支援情報誌 まるわかりガイド」のweb版を冊子版に合わせて更新し、そのPRについても随時行っています。

こども育成課と共同運営のFacebookページ「養父市子育てネット」を開設し、活用促進に向けて関係機関や各団体と連携を図っています

基本活動7

災害への備えをしっかりとすすめよう

活動項目1 福祉防災マップの推進

- 福祉連絡会や消防団などと連携し、すべての行政区で福祉防災マップづくりをすすめる。また、マップづくりを通して、普段から見守りあう、顔の見える関係を築き、災害に強いまちづくりをすすめる

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区福祉委員会が開催できませんでした。各区で行った福祉連絡会で話し合いをすすめ、福祉防災マップやささえあい要援護者登録申請書兼カードを整備・更新をしました。一部の区では消防団と協力し、防災情報や支援の必要な人などを把握しました。

また、各区ではその福祉防災マップの情報を養父市一斉避難訓練に活用しました。

- 住民へ福祉防災マップの周知をすすめる
- ささえあい・要援護者登録申請書兼カードの見直しを行い、身体状況や避難場所、区内協力者などを明確にし、災害時に関係者との連携・支援体制を強化する

活動項目2 災害時支援体制の強化

■ 防災と福祉の連携促進モデル事業（兵庫県モデル事業）

高齢者や障がい者などの要援護者が、災害時にどのように避難するかを、介護支援専門員（ケアマネジャー）や相談支援専門員が計画（災害時ケアプラン）し、地域住民や関係機関との話し合いを通じて、誰一人取り残さない地域をつくることを目的とした兵庫県のモデル事業に取り組みました。

■ 防災と福祉の連携促進による個別支援計画作成促進事業

会議名	年月日	場所	内容	参加者数
福祉専門職 防災対応力 向上研修	令和2年 9月16日	但馬長寿 の郷	◆講義（DVD視聴） ・別府市での実践事例 ◆個別支援計画作成の演習 ・当事者アセスメント ・地域住民との調整会議の模擬体験 （参加者：介護支援専門員、相談支援専門員）	6
養父市場区 調整会議	令和3年 3月8日	コミセン やぶ	◆災害時要援護者個別支援計画の検討 ◆避難経路確認 （参加者：区長、副区長、民生委員・児童委員、組長、消防団部長、かるべの郷、市役所、社協）	9

- 住民・関係機関などと、防災および災害時の支援について協議をすすめ、災害ボランティアセンター運営マニュアルを見直す
- 災害ボランティア養成講座を行い、防災意識の向上と支援者の育成をすすめる

新型コロナウイルスの感染拡大により、災害救援活動も大きな影響を受けました。

コロナ禍での災害ボランティア活動の現状や感染対策、災害ボランティアセンターの運営方法などを学び、感染防止と災害ボランティアの活動を両立させる人材の育成を行なうことを目的に開催しました。

■ 災害ボランティアフォローアップ研修

年月日	開催場所	内容	参加者数
令和3年 3月25日	福祉の杜 大屋保健センター 関宮ふれあいの郷 ※オンライン	講義「コロナ禍における被災者支援について」 講師 神戸まちづくり研究所 事務局長 浅見 雅之 氏	10

- 雪害に備えた除雪ボランティアの養成を行う 新規
- 災害に備え、「地域住民を災害等から守る連絡会」での協議・連携強化を図る。また、養父市一斉避難訓練などを通して災害に強いまちづくりをすすめる

■ 地域住民を災害等から守る連絡会への参加

地域	年月日	開催場所	参加者数
八鹿	令和2年6月29日	八鹿公民館	2
養父	7月14日	養父公民館	2
大屋	8月7日	大屋地域局	1
関宮	7月7日	エイドホール	2

■大屋市場地区密集地火災防御訓練への参加

年月日	開催場所	内 容	参加者数	出席者
令和2年 9月16日	大屋市民 センター	大屋市場地区密集地火災防御訓練 第1回全体会議 ・訓練内容の検討について	11	大屋市場区長・副区 長・消防団大屋方面 隊・養父警察署・南 但消防本部・養父市 大屋地域局・社協
10月30日	大屋市民 センター	大屋市場地区密集地火災防御訓練 第2回全体会議 ・訓練内容の検討について	12	大屋市場区長・副区 長・消防団大屋方面 隊・南但消防本部・ 養父市・社協
11月15日	大屋市場 区内 大屋地域 局前駐車 場周辺	大屋市場地区密集地火災防御訓練 ・火災防御訓練 ・避難訓練 ・要援護者搬送訓練 ・消防教室	354	大屋市場区民・消防 団大屋方面隊・養父 警察署・南但消防本 部・オーシスマッ プ・養父市・社協
12月1日	大屋市民 センター	大屋市場地区密集地火災防御訓練 第3回全体会議 ・訓練結果報告、反省点について ・意見交換	12	大屋市場区長・副区 長・消防団大屋方面 隊・養父警察署・南 但消防本部・養父 市・社協

活動項目3 避難所運営支援の検討

- 住民や行政、関係機関と協議し、災害時の避難所運営を検討する **新規**

7月15日、市が行う災害時指定避難所開設研修（デモ訓練）に職員6人が参加しました。新型コロナウイルス感染症に対応した避難所を、少人数で短時間に開設する必要があり、受付や避難スペースの確保、レイアウトや動線の検討など避難所開設に必要なことを確認しながら実施しました。

- 福祉避難所の運営支援について、行政や、養父市ほっとかへんネット（社会福祉法人連絡協議会）で協議・検討する **新規**

基本活動8

さまざまな人や団体がスクラムを組んで地域づくりをすすめよう

活動項目1 しあわせフェスタ・地域づくりフォーラムの開催

- 地域住民、福祉関係者、企業・団体などの参画により、しあわせフェスタ、地域づくりフォーラムを開催し、地域づくりの学びの場を増やす
今年度は、兵庫県社会福祉大会が養父市で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度に延期になりました。

活動項目2 自治協議会との連携強化

- 生活支援に関する訪問調査を継続し新たな課題を抽出する
- 自治協議会と連携した地域支援を検討する
- 自治協議会と連携した事業を継続して実施する

- 自治協議会の情報交流を推進する

活動項目3 赤い羽根共同募金運動の充実

- 募金百貨店の趣旨を周知し賛同してもらえる企業や事業所を募る **新規**

兵庫県内の実施状況の把握と養父市における実施方法について検討しました。

- 共同募金・歳末たすけあい運動の配分事業見直しと新規事業の検討を行なう

共同募金委員会募金推進委員会や歳末たすけあい運動配分委員会で、家事援助サービスなどについて協議・検討を行いました。

令和2年度の歳末たすけあい運動は、コロナ禍を踏まえ、家事援助サービス事業と灯油配達サービス事業を、新規のマスク・消毒液贈呈事業に切り替えて行いました。集いの場が減るなか、民生委員・児童委員が声をかけながら訪問して届け、新型コロナウイルス感染症拡大防止も図りました。

- テーマ型募金を推進しニーズに合った募金活動を行う

より身近で共感を得られる募金活動として、「3密を避けて、屋外での集い場応援プロジェクト」を実施しました。屋外用ベンチを購入・設置するための募金活動を行いました。

活動項目4 養父市ほっとかへんネット（社会福祉法人連絡協議会）設立の働きかけ

- 養父市ほっとかへんネットの設立を働きかける **新規**

- 福祉避難所運営の協議や、生活困窮者支援など、法人同士が連携した地域支援を探る **新規**

活動項目5 安心見守りネットワーク事業の協力団体の連携

- 協力団体による安心見守りネットワーク会議の定期開催を働きかけ、情報共有や課題解決を行う **新規**

高齢者、障害者、子どもなどが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、市、市民、市民団体、企業・事業者が相互に連携を図り、地域全体での見守りを行い、高齢者等の異変、心身状況の変化を察知したとき、早期に的確な対応をはかるための見守りネットワークを構築する、養父市安心見守りネットワーク事業を市と連携しすすめています。

福祉委員、ネットワーク加入団体などから21件の連絡を受け付け、訪問して見守りを行い、関係機関につながりました。

- 養父市安心見守りネットワーク事業報告会
令和2年度は開催されませんでした。

- 安心見守りネットワークへ企業や団体、NPOなど多様な関係者の参画を呼びかける **新規**

- ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦等防火訪問（例年11月と3月に実施）

南但消防本部と関西電力、民生委員・児童委員、社協が連携して火の元や火災警報器などの点検などを行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度3月実施分から中止

強化計画【組織経営基盤計画】進捗状況（令和2年度）

強化活動1 組織・人材

○経営目標 「我が事・丸ごと」の地域づくりに向けて

オール養父市ですすめる組織経営

[組織（経営機能の強化）]

◇組織経営ガバナンスの強化

■理事会の開催状況

回 (通算)	年月日	内容	理事 (人)	監事 (人)
1 (165)	令和2年 5月29日 ※書面表決	議案① R01 事業報告、計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録について 議案② 支部運営委員会委員の選任について 議案③ 評議員候補者の推薦について 報告① 社会福祉充実財産の算定(R01 決算)について 報告② 福祉総合相談所相談員の選任について 報告③ 結婚相談所相談員の選任について 報告④ ボランティア・市民活動センター運営委員会委員の選任について 報告⑤ 生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」(緊急小口資金・総合支援資金)について	10人 ※同意	2人 ※確認
2 (166)	6月29日	議案④ R02 共同募金「地域目標額」「期間拡大目標額」「地域歳末目標額」設定に係る事業充当計画について 報告① R02 第1回監査会監査報告について 報告② R02 一般会費について(中間報告) 報告③ 第69回兵庫県社会福祉大会について 報告④ 新型コロナウイルス感染症の影響による本会の対応について	9/10	2/2
3 (167)	7月28日	議案⑤ 資金収支補正予算(案)[第1次補正]について 協議① R03 新規(新卒)職員の採用について 報告① 社会福祉士相談援助実習の受入れについて 報告② R02 一般会費について(中間報告) 報告③ 各区福祉連絡会について 報告④ R02.7月豪雨災害について 報告⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響による本会の対応について 報告⑥ 全但社会福祉協議会連絡会役職員研修会について 報告⑦ 公立八鹿病院組合立南但訪問介護センター関宮サテライトの事務所移転について	10/10	2/2
4 (168)	9月24日	報告① R02 養父市共同募金委員会募金推進委員会について 報告② R03 新規(新卒)職員の募集について 報告③ 職員人事について	8/10	2/2
5 (169)	10月28日	協議① R02 歳末たすけあい運動について 協議② 人材確保のための「正規職員・嘱託職員」内部登用試験(キャリアパス)の実施について	8/10	2/2

回 (通算)	年月日	内容	理事 (人)	監事 (人)
5 つづき		報告① ひょうご県民ボランティア活動賞について 報告② 赤い羽根共同募金運動中間報告について 報告③ R03 新規(新卒)職員の募集について 報告④ R02 役職員研修について 報告⑤ R02 第1四半期(4~6月)決算の概要について		
6 (170)	12月18日	協議① 指定管理施設の今後の方向性について(企画経営部会) 協議② 期間拡大「テーマ型募金」の実施について 報告① R02 上半期事業報告について 報告② 第2回監査会(上半期)監査報告について 報告③ 新規職員採用試験の結果について 報告④ 歳末たすけあい運動について 報告⑤ 赤い羽根共同募金運動中間報告について 報告⑥ 兵庫県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について	9/10	1/2
7 (171)	令和3年 2月25日	議案⑥ 評議員・理事・監事選任規程の一部を改正する規程の制定について 協議① 非常勤職員の賃金(日給・時間給)単価について 報告① 指定管理施設の今後の方向性について(企画経営部会) 報告② 指定介護保険サービス事業者等に対する実地指導等の結果について 報告③ 指定障害福祉サービス事業所等に対する実地指導等の結果について 報告④ 赤い羽根共同募金運動実績報告について 報告⑤ 兵庫県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金について	9/10	2/2
8 (172)	3月22日	議案⑦ 非常勤職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 議案⑧ R02 資金収支補正予算(案)[第2次補正]について 議案⑨ R03 兵庫県共同募金会受配金に係る事業及び配分額(案)について 議案⑩ R03 事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 議案⑪ 訪問介護事業所指定居宅介護事業・指定重度訪問介護事業運営規程の一部を改正する規程の制定について 協議① 評議員・理事・監事の改選にともなう選任手続きについて 協議② 支部運営委員の改選にともなう選任手続きについて 報告① R02 第3回監査会(第3四半期)監査報告について	7/10	1/2

■評議員会の開催状況

回	年月日	内容	評議員 (人)	役員 (人)
44 定時	令和2年 6月19日 ※書面表決	議案① R01 事業報告、計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録について 報告① 社会福祉充実財産の算定(R01 決算)について 報告② 評議員の選任について 報告③ 支部運営委員会委員の選任について 報告④ 福祉総合相談所相談員の選任について 報告⑤ 結婚相談所相談員の選任について 報告⑥ ボランティア・市民活動センター運営委員会委員の選任について	20人 ※同意	—
45	令和3年 3月30日	議案② R02 資金収支補正予算(案)について 議案③ R03 兵庫県共同募金会受配金に係る事業及び配分額(案)について 議案④ R03 事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 協議① 評議員・役員(理事・監事)及び支部運営委員会委員の改選に伴う選任手続きについて	15/20	理事 5/10 監事 1/2

■監査会の開催状況

回	年月日	内容	出席監事(人)
1	令和2年 5月21日	1 R01 事業について 2 R01 決算について 3 監査結果の講評	2/2
2	12月9日	1 R2.4月～9月(上半期)事業報告について 2 R2.4月～9月(上半期)会計状況について 3 監査結果の講評	2/2
3	令和3年 3月4日	1 R2.10月～12月(第3四半期)事業報告について 2 R2.10月～12月(第3四半期)会計状況について 3 監査結果の講評	2/2

■評議員選任・解任委員会の開催状況

回	年月日	内容	出席委員(人)
6	令和2年 6月5日 ※書面表決	議案⑩ 評議員の選任について	5人 ※同意

■企画経営部会の開催状況

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 11月27日	協議① 指定管理施設の今後の方向性について	4/5
2	令和3年 1月27日	協議① 指定管理施設の今後の方向性について	4/5
3	2月19日	協議① 第2回企画経営部会の振り返り 協議② 指定管理施設の今後の方向性について	4/5

■ふくしのまちづくり部会の開催状況

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 11月27日	歳末たすけあい運動配分委員会 ○歳末たすけあい運動の配分について	5/5
2	令和3年 3月8日	協議① 生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり 事業について 報告① R02 事業活動集計結果報告 報告② ふれあい訪問員活動報告	5/5

■支部運営委員会の開催状況

【八鹿支部運営委員会】

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 9月10日	協議① R02 赤い羽根共同募金運動について 協議② R02 ひとり暮らし高齢者のつどいについて	7/10
2	令和3年 3月9日	協議① コロナ禍における小地域福祉活動について 協議② 評議員、理事及び支部運営委員の選任について	8/10

【養父支部運営委員会】

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 9月8日	協議① 赤い羽根共同募金について 協議② 年輪の会(ひとり暮らし高齢者のつどい)について	8/10 ※実習生同席
2	令和3年 2月22日	協議① 社協賛助会費・特別会費の募集について 協議② コロナ禍での小地域福祉活動について	8/10

【大屋支部運営委員会】

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 9月17日	○支部運営委員・評議員合同会議 協議① 赤い羽根共同募金運動の実施について ○支部運営委員会 協議① 大屋ひとり暮らし高齢者のつどいについて	6/7
2	12月4日	協議① ひとり暮らし高齢者友愛訪問(冬)について 協議② 小地域福祉活動について	7/7
3	令和3年 3月25日	協議① コロナ禍における小地域福祉活動について 協議② 評議員、理事及び支部運営委員の選任について	6/7

【関宮支部運営委員会】

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和2年 9月14日	協議① R02 赤い羽根共同募金運動について	9/9
2	令和3年 1月13日	協議① コロナ禍における小地域福祉活動について 協議② 指定管理施設の今後の方向性について	7/9
3	3月2日	協議① 役員等の選任について	7/9

【安心地区推進協議会（関宮地域）】

回	年月日	内容	出席委員(人)
1	令和3年 3月24日	グループワーク① 地域の現状・課題、今後の取り組みについて	9/14

◇広報活動の強化（広報紙かけはしの発行）

No.	発行月	主な内容
190	4月	・R2年度 事業計画と予算 ・R1年度 地域歳末たすけあい運動募金報告 ・フードバンク事業の報告
191	5月	・新型コロナウイルス禍 形をかえて見守りをつづける サービス事業所での取り組み ・赤い羽根ニュース R1年度期間拡大募金報告
192	6月	・住民の善意があつまりつながる「善意銀行」 ・職員体制のお知らせ
193	7月	・R1年度 決算・事業報告 ・新役員・委員の紹介
194	8月	・防災 コロナ禍で求められる防災と小地域福祉活動 ・小地域福祉活動 感染予防と、ささえあい、ふれあい活動の両立
195	9月	・はじめてみませんか 自宅でできるボランティア活動 ・ボランティアグループの紹介 ※つながりをたやさない社会づくり「赤い羽根共同募金だより」
196	10月	・小地域福祉レポートNo.21 建屋校区自治協議会・三谷校区自治協議会 ・こんにちは！養父市社会福祉協議会「福祉用具貸与事業所」です
197	11月	・養父市共同募金委員会 スローガン「つながり ささえあう みんなの地域づくり」 歳末たすけあい運動にご協力ください ・社協は市民のみなさまによって支えられています R2年度 社協一般会費報告とお礼
198	12月	・特集 市内各地で子育てを支援 ・区民、関係機関など354人が参加 大屋市場地区密集地火災防御訓練
199	1月	・R3年 新年のごあいさつ ・R3年 新春特別企画 みんなの新年の抱負 ・未使用・書き損じ・年賀状 ハガキを募集します！
200	2月	・皆さまと共にあゆみ創刊 200号 ・日常生活自立支援事業 暮らしの安心を応援します ・赤い羽根ニュース R2年度 赤い羽根共同募金報告
201	3月	・福祉連絡会と社協をつなぐ情報紙「ねっとわ〜く(復刻版)」発行 情報共有が新たな活動に ・「つながり ささえあう みんなの地域づくり」 R2年度 歳末たすけあい運動報告

※挟み込みチラシ

◇地域拠点の整備

関宮高齢者総合保健福祉センター（関宮ふれあいの郷）指定管理業務

区分	R02	R01
年間利用延べ人数	3,330人	3,374人
年間利用延べ回数	227回	298回
開設日数	135日	125日
1日平均利用延べ人数	25人	27人

[人材（人事労務管理）]

◇福祉人材確保・人材育成・人材定着の取り組み

- * 再雇用による人材の確保…定年退職職員 2名を令和2年4月に再雇用
- * 正規職員・嘱託職員を対象に、半期ごとの自己目標管理を実施。管理職員による面談を実施
- * 住民活動主体による地域共生社会を進めるために、全職員が組織の理念やビジョンを共有し、法人と職員の絆を深める（=エンゲージメント）ための研修を実施。令和2年度は、介護福祉課職員を対象に開催



■介護福祉課研修会（リモートによる研修）

年月日	場所	内容	参加者
令和3年 3月18日	①福祉の杜 1階・2階 ②デイサービスセンター「ふれあい」 ③大屋支部事務所 ④関宮ふれあいの郷 ※①から④をオンラインでつなぐ	◆講義（介護福祉課長） 社協の“つよみ”をいかした経営戦略 ◆グループワーク ・社協が介護・障害サービス事業を実施する意義 ・指定管理施設統合のメリット・デメリット	59人

■防災と福祉の連携促進による個別支援計画作成促進事業

会議・研修名	年月日	場所	内容	参加者
福祉専門職 防災対応力 向上研修	令和2年 9月16日	但馬長寿 の郷	◆講義(DVD視聴) 別府市での実践事例 ◆個別支援計画作成の演習 ・当事者アセスメント ・地域住民との調整会議の模擬体験 (介護支援専門員、相談支援専門員)	6人
養父市場区 調整会議	令和3年 3月8日	コミセン やぶ	◆災害時要援護者個別支援計画の検討 ◆避難経路確認 (区長、副区長、民生委員・児童委員、 組長、消防団部長、かるべの郷、市役所、社協)	9人

◇職員の構成

令和3年4月1日 現在

身分	男	女	計	平均年齢
正規職員	10人	25人	35人	44歳10月
嘱託職員	1人	3人	4人	50歳09月
常勤臨時	3人	17人	20人	58歳05月
非常勤	10人	46人	56人	64歳02月
登録ヘルパー	0人	19人	19人	63歳03月
合計	24人	110人	134人	57歳09月

◇職員の資格取得状況

資格名	取得者
社会福祉士	12人
精神保健福祉士	4人
介護福祉士	59人
看護師	15人
介護支援専門員	33人
社会福祉主事任用資格	22人
福祉用具専門相談員	4人
障害者相談支援専門員	3人
栄養士	3人
調理師	11人

◇職員の実習指導者資格取得状況

資格名	取得者
社会福祉士実習指導者	4人
介護福祉士実習指導者	10人

強化活動 2 財政（健全財政と効率化）

○経営目標 地域の福祉力向上を支える

安定的な法人経営のための財政基盤の強化

◇法人運営に関わる職員人件費の財政支援

- * 令和2年度は、第3次地域福祉推進計画の円滑な遂行を図るために、養父市から1,400万円の財政支援（市補助金）
- * 法人運営に関わる職員人件費の財政支援の働きかけはできていない

◇地域福祉財源（民間財源）のあり方

【社協会員会費】

■一般会費 年額 1,200円

地域	金額/世帯数
八鹿	3,693,600円 3,078世帯
養父	2,456,400円 2,047世帯
大屋	1,231,200円 1,026世帯
関宮	1,341,600円 1,118世帯
合計	8,722,800円 7,269世帯
R01	8,802,000円 7,335世帯
前年度比較	△79,200円 △66世帯

■賛助会費 一口 1,000円

地域	金額/件数
八鹿	202,000円 39件
養父	138,000円 41件
大屋	416,000円 90件
関宮	321,000円 63件
合計	1,077,000円 233件
R01	1,083,000円 293件
前年度比較	△6,000円 △60件

■特別会費 一口 1,000円

地域	金額/件数
八鹿	43,000円 9件
養父	104,000円 14件
大屋	31,000円 5件
関宮	102,000円 16件
合計	280,000円 44件
R01	475,000円 71件
前年度比較	△195,000円 △27件

【善意銀行】

■金銭預託

内容	件数	預託金額
香典返し	30件	1,170,000円
供養	54件	2,110,000円
忌明志	3件	180,000円
善意の寄附	68件	1,610,650円
善意の日の寄附	7件	60,724円
快気祝い	1件	10,000円
花まつり収益金	1件	5,000円
生前厚意へのお礼	4件	130,000円
福祉機器借用のお礼	2件	15,000円
支援のお礼	1件	50,000円
デイサービス指定預託（亡母供養）	1件	50,000円
医療・介護従事者指定預託	1件	5,706円
歳末たすけあい運動指定預託（歳末愛の志）	1件	21,000円
合計	174件	5,418,080円
R01 合計	142件	3,537,251円
前年度 比較	32件	1,880,829円

■金銭払出

科目	内容	件数	払出金額
事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉月間事業お祝い品 ・歳末たすけあい運動指定預託 ・フードバンク白米配付事業 ・ランドセルカバー 	4件	173,110円
事務費	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「かけはし」QUOカード ・線香 ・老人の日・老人月間ポスター ・物品寄付申込書印刷 	4件	481,920円
助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地区里親会 	1件	12,000円
合計		9件	667,030円

■物品預託

受付窓口	預託件数	預託内容
八鹿支部	122件	福祉用具…車いす、シャワーチェア、歩行器、4点杖ほか 電気器具…布団乾燥機、布団用掃除機、非接触体温計、掃除機 食料品…米、野菜、くだもの、調味料、菓子、パン、卵、乾物、 ジュース、コーヒー、インスタント食品、レトルト食品、 とろみ調整食品ほか 生活・文化用品…マスク、はがき、切手、紙おむつ、食器類、衣類、 毛糸、テレホンカード、マフラー、介護用品、タオル、 洗剤、口腔ケア用品、文具、座布団、玩具、調理器具、 花ほか
養父支部	50件	
大屋支部	75件	
関宮支部	68件	
合計	315件	

※フードバンク事業、生活困窮者世帯、通所介護事業、通所型生活機能向上サービス（いきいきサロン事業）や子ども食堂などに払い出しました

■ 善意の日啓発事業

支部	場所	内容
八鹿	養父市役所本庁舎、福祉の杜ほか	善意の日啓発募金活動
大屋	大屋支部、大屋保健センター周辺	善意の日啓発募金活動、清掃活動
関宮	関宮ふれあいの郷	善意の日啓発募金活動

- 令和3年度新入生入学祝い品「ランドセルカバー」贈呈事業
小学校入学児童 166 人にランドセルカバーを贈呈しました。



【共同募金】

◇ 令和2年度共同募金実績

● 一般募金（地域福祉事業）

- ・ 広域目標額 505,000 円
- ・ 地域目標額 6,605,000 円 目標額合計 7,110,000 円

募金方法内訳	金額	備考
戸別募金	3,187,777 円	6,336 戸
街頭募金	36,524 円	5 回
法人募金	1,371,300 円	341 法人
学校募金	66,214 円	14 校
職域募金	183,905 円	23 件
イベント募金	0 円	0 回
個人募金	2,051,880 円	998 人
その他の募金	83,967 円	28 件
合計	6,981,567 円	達成率 98.2%

※ 令和3年度、地区福祉事業配分金として 6,461,000 円が養父市の福祉活動のために使われます

● 期間拡大募金（テーマ型）

「3密を避けて屋外での集い場応援プロジェクト」をテーマに、募金運動期間を拡大(1月～3月)して、ダイレクトメールで実施し、275,432 円のご寄付をいただきました。

- ・ 目標額 280,000 円

募金方法内訳	金額	備考
法人募金	7,797 円	2 法人
職域募金	13,129 円	3 件
個人募金	187,281 円	62 人
学校募金	813 円	1 人
その他の募金	66,412 円	12 件
合計	275,432 円	達成率 98.4%

※ 令和3年度、期間拡大配分金として、275,432 円（実績額）が配分され、地域のみなさんの声を参考に屋外用ベンチを購入します

◇ 令和2年度共同募金配分事業

令和元年度に実施した、赤い羽根共同募金運動の地区福祉事業配分金を、令和2年度に受配しました。

● 地区福祉事業配分金

令和2年度共同募金受配額		6,693,435 円
内訳	地区福祉事業配分金	6,462,000 円
	期間拡大配分金	231,435 円
	地域歳末地区福祉事業費充当金	0 円

●共同募金配分金充当事業一覧

区分	金額
高齢者支援	784,377 円
給食サービス	429,760 円
ふれあい郵便	194,835 円
ひとり暮らし高齢者のつどい、友愛訪問	39,782 円
老人クラブ連合会の活動支援	120,000 円
障害児・者支援	170,000 円
身体障害者福祉会の活動支援	140,000 円
手をつなぐ育成会の活動支援	30,000 円
児童・青少年支援	225,561 円
福祉教育指定校	160,176 円
子育てまるわかりガイドの更新	35,385 円
子ども会育成連絡協議会の活動支援	30,000 円
課題を抱える人の支援	379,480 円
無料法律相談	247,480 円
くらしの法律相談	132,000 円
地域福祉全般	4,775,614 円
福祉委員活動の支援	1,864,000 円
ボランティアグループの活動支援	809,483 円
広報活動	1,814,720 円
権利擁護セミナー	33,411 円
婦人共励会の活動支援	30,000 円
民生委員・児童委員の活動支援	224,000 円
災害対応・防災	358,403 円
災害用資機材 ホーキ、モップ、ポリッシャーほか	125,620 円
新型コロナウイルス感染症対策 パネル、消毒液容器ほか	216,783 円
災害ボランティア養成講座	16,000 円
合計	6,693,435 円

●歳末たすけあい運動実績報告

= 歳末たすけあい運動募金額 =

区分	金額
戸別募金	2,726,761 円
その他	26,693 円
繰越金	269,826 円
合計	3,023,280 円

= 配分事業 =

1 マスク・消毒液贈呈事業 **新** 307,725 円

地域	実績	
	世帯	人数
八鹿	64 世帯	67 人
養父	38 世帯	47 人
大屋	19 世帯	23 人
関宮	67 世帯	87 人
合計	188 世帯	224 人



2 新しい生活様式の実践事業 424,171 円

項目	金額
レクリエーション用品	159,071 円
スピーカー内蔵マイク	265,100 円
合計	424,171 円

3 市内障害者通所施設訪問 60,000 円

訪問施設数 7施設

- ・多機能型事業所ドリームスペース
- ・地域活動支援センター オンサルデ
- ・かるべの郷ドリームワークス
- ・おおや作業所
- ・琴弾の丘 ボランピアライフ
- ・琴弾の丘 ことびきライフ
- ・たんぼぼワーク

4 ひとり親家庭等ランドセル購入助成事業 40,000 円

地域	申込世帯		増減
	R02	R01	
八鹿	2 世帯	0 世帯	2 世帯
養父	0 世帯	2 世帯	△2 世帯
大屋	0 世帯	1 世帯	△1 世帯
関宮	0 世帯	1 世帯	△1 世帯
合計	2 世帯	4 世帯	△2 世帯

5 子育てサロン事業 48,722 円

実施サロン数 6サロン

- ・NPO 法人 りとるめいと
- ・子育てサロン高柳
- ・子育てサロン伊佐
- ・子育てサロン「そよ風」サポーター
- ・YA brio
- ・E-Park

6 見舞金贈呈事業

606,108 円 (見舞金 605,000 円、のし袋 1,108 円)

地域	R02		R01		増減	
	世帯	人数	世帯	人数	世帯	人数
八鹿	43 世帯	55 人	42 世帯	54 人	1 世帯	1 人
養父	16 世帯	18 人	21 世帯	28 人	△5 世帯	△10 人
大屋	9 世帯	11 人	7 世帯	11 人	2 世帯	0 人
関宮	26 世帯	37 人	18 世帯	30 人	8 世帯	7 人
合計	94 世帯	121 人	88 世帯	123 人	6 世帯	△2 人

7 年未年始地域ふれあい事業

853,680 円（助成金 846,000 円、決定通知郵送料 7,680 円）

地域	R02			R01	増減
	行政区	申請区	申請率	申請区	
八鹿	66 区	11 区	17%	38 区	△27 区
養父	40 区	17 区	43%	26 区	△9 区
大屋	23 区	17 区	74%	19 区	△2 区
関宮	34 区	14 区	41%	22 区	△8 区
合計	163 区	59 区	36%	105 区	△46 区

8 歳末たすけあい運動決算報告

[収入]

単位 円

区分	R02	R01	差異	備考
戸別募金	2,726,761	2,724,001	2,760	6,809 世帯
その他	26,693	44,600	△17,907	指定預託・募金箱
繰越金	269,826	232,925	36,901	前年度繰越金
合計	3,023,280	3,001,526	21,754	

[支出]

単位 円

区分	R02	R01	差異	備考
家事援助サービス	—	74,200	△74,200	
年末灯油配達サービス	—	299,244	△299,244	
マスク・消毒液贈呈事業	307,725	—	307,725	188 世帯 224 人
新しい生活様式の実践事業	424,171	—	424,171	レクリエーション用品 スピーカー内蔵マイク
市内障害者施設訪問	60,000	55,310	4,690	7 施設
ひとり親家庭等ランドセル購入助成事業	40,000	80,000	△40,000	2 世帯
子育てサロン事業	48,722	49,946	△1,224	6 サロン
見舞金贈呈事業	606,108	615,000	△8,892	見舞金(121 人) 605,000 円 のし袋 1,108 円
年未年始地域ふれあい事業	853,680	1,458,000	△604,320	59 区 846,000 円 決定通知郵送料 7,680 円
配分経費(事務)	100,000	100,000	0	事務消耗品、通信運搬費
繰越金	582,874	269,826	313,048	次年度繰越金
地区福祉事業費充当金	0	0	0	
合計	3,023,280	3,001,526	21,754	

◇公費財源の確保に向けた行政との協議を定例化

令和2年度は、「地域福祉・介護サービス事業経営調査研究事業」で、市町社協の介護サービス事業の経営分析（令和元年度事業活動計算書）を行い、経営状況を客観的に把握するため、専門家の指導のもと、検討・協議を重ねました。

●事業活動計算書(R01)からみる県内社協の経営状況

区分	社協数
①介護サービス等の収益で地域福祉活動等の経費を賄っている社協	11 社協
②介護サービス等の収益でも地域福祉活動等の経費を賄えない社協	15 社協
③サービス事業が赤字	3 社協
④いずれの部門も赤字	11 社協

※母数…40 社協（神戸市社協を除く）

※養父市社協…区分②

●令和2年度 養父市からの財政支援

市補助金 25,980,000 円 ※R1 25,980,000 円

市受託金 51,343,547 円 ※R1 50,969,867 円

◇事業収入財源のあり方

社協が介護保険事業・障害福祉サービスを行う意義を明確にし、事業としての採算性の確保と運営を図る必要があります。

令和2年度は、社協の強みを活かした「多職種連携」と制度の狭間にある福祉ニーズへの柔軟な対応とサービスの開発について「管理職会議(経営戦略会議)」の場で、協議・検討を進めました。

また、介護サービス・障害福祉サービスの運営に影響のある「新型コロナウイルス感染症」への対策について「管理職会議(経営戦略会議)」で共通理解を図り、迅速な対応に努めました。

●令和2年度 制度福祉サービス事業収入（サービス活動収益） 単位 円

区分	R02	R01	前年度比
介護保険事業	304,706,152	313,910,917	△9,204,765
訪問介護	86,518,642	91,437,895	△4,919,253
通所介護(大屋)	75,032,224	74,083,362	948,862
通所介護(関宮)	48,047,733	50,641,819	△2,594,086
訪問入浴	1,881,840	1,562,270	319,570
福祉用具貸与	30,436,833	30,854,795	△417,962
居宅介護支援	62,788,880	65,330,776	△2,541,896
障害福祉サービス	17,692,572	13,669,120	4,023,452
居宅介護	7,044,172	5,796,245	1,247,927
移動支援	0	18,800	△18,800
相談支援	10,648,400	9,572,170	1,076,230

※介護保険事業/居宅介護支援 高齢者相談センター委託料 7,129,630 円を含む

※障害福祉サービス/相談支援 障害者相談支援事業委託料 4,400,000 円を含む

強化活動3 事業

○経営目標 第3次地域福祉推進計画の推進と事業評価

◇第3次地域福祉推進計画

地域住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現することを目的として、「第3次地域福祉推進計画(2019年度～2023年度計画)」が、各分野から選出された策定委員19名により協議が重ねられ、平成30年度に策定されました。

引き続き、社会情勢等の変化・動向を踏まえながら、総合的な進捗状況の点検と評価、計画遂行へ向けた提言などを年度ごとに実施するために、「進行管理委員会」を令和2年度に設置する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい生活様式」の実践に向けた事業の見直しや取り組み状況の検証等を行い、令和3年度に計画の進行管理を実施します。

令和2年度 決算報告

監事監査報告

令和2(2020)年度 決算の概要
[社会福祉法人養父市社会福祉協議会]

令和3年3月31日 現在

I. 貸借対照表の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総資産	502,683,715円	499,080,512円	3,603,203円	100.7%
総負債	229,151,798円	227,686,463円	1,465,335円	100.6%
純資産	273,531,917円	271,394,049円	2,137,868円	100.8%

*総資産は前年度末比100.7%(3,603,203円)、総負債は同100.6%(1,465,335円)、純資産(自己資本)は同100.8%(2,137,868円)となっている

[資産の主要科目増減]

*流動資産は5,877,292円の増加。うち現金預金5,290,728円の減少、事業未収金11,020,301円の増加が主な要因

*固定資産は2,274,089円の減少。うち建物は662,598円の増加、車輛運搬具・器具及び備品・リース資産(有形・無形)は7,712,234円の減少、退職給付引当資産(全社協・県社協)4,782,756円の増加が主な要因

[負債の主要科目増減]

*流動負債は2,562,649円の減少。うち事業未払金1,233,944円の増、預り金44,910円の減、職員預り金16,877円の減、1年以内返済予定リース債務2,041,059円の減、賞与引当金1,693,147円の減による流動負債の減少が見られる⇒1年以内返済予定リース債務と賞与引当金は資金残高に影響

*固定負債は4,027,984円の増加。うちリース債務4,359,030円の減、退職給付引当金(全社協・県社協)8,387,014円の増による固定負債の増加が見られる

[純資産の主要科目増減]

*純資産は2,137,868円の増加。うち当期活動増減差額は20,702,575円の増加となっている

◆要約貸借対照表

単位 円

科目	本年度末	総資産比	前年度末	増減	増減率
流動資産	109,248,608	21.7%	103,371,316	5,877,292	105.7%
固定資産	393,435,107	78.3%	395,709,196	△2,274,089	99.4%
資産合計	502,683,715	—	499,080,512	3,603,203	100.7%
流動負債	35,112,157	7.0%	37,674,806	△2,562,649	93.2%
固定負債	194,039,641	38.6%	190,011,657	4,027,984	102.1%
負債合計	229,151,798	—	227,686,463	1,465,335	100.6%
純資産	273,531,917	54.4%	271,394,049	2,137,868	100.8%
負債・純資産合計	502,683,715	—	499,080,512	3,603,203	100.7%

*流動資産-流動負債+賞与引当金(8,612,759円)+1年以内返済予定リース債務(4,359,030円)=当期末支払資金残高 87,108,240円

II. 事業活動計算書の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総収益	432,242,864円	439,584,545円	-7,341,681円	98.3%
総費用	430,104,996円	458,149,252円	-28,044,256円	93.9%
当期活動増減差額	2,137,868円	-18,564,707円	20,702,575円	—

*総収益増減の要因として、寄附金収益(善意銀行寄附金)の増加(1,880,829円)、障害福祉サービス等事業収益の増加(2,305,357円)となった一方、会費収益の減少(△280,200円)、事業収益の減少(△2,125,737円)、介護保険事業収益の減少(△9,785,406円)となっている

*総費用増減の要因として、人件費の減少(△26,534,231円)、事業費の減少(△300,216円)となった一方、事務費の増加(1,327,498円)となっている

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の休止(中止)等で事業費が減少。事務費については、感染症の対策費用として、物品の購入(消毒液、不織布マスク、アクリルパネル等)と事業継続に向けた環境整備(オンライン会議等の実施等)による増加となった。また、長年にわたる小地域福祉活動(地域活動の自費、歳末地域ふれあい事業の中止等)への影響から助成金費用の減少(△888,017円)も見られた

◆要約事業活動計算書

単位 円

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率	
サービス活動増減	収益	431,946,345	439,294,437	△7,348,092	98.3%
	費用	429,913,231	456,354,972	△26,441,741	94.2%
	増減差額	2,033,114	△17,060,535	19,093,649	-11.9%
サービス活動外増減	収益	296,519	290,108	6,411	102.2%
	費用	191,761	261,065	△69,304	73.5%
	増減差額	104,758	29,043	75,715	360.7%
経常増減差額	2,137,872	△17,031,492	19,169,364	-12.6%	
特別増減	収益	0	0	0	—
	費用	4	1,533,215	△1,533,211	0.0%
	増減差額	△4	△1,533,215	1,533,211	0.0%
当期活動増減差額	2,137,868	△18,564,707	20,702,575	-11.5%	
前期繰越活動増減差額	55,994,359	74,560,025	△18,565,666	75.1%	
当期末繰越活動増減差額	58,132,227	55,995,318	2,136,909	103.8%	
積立金取崩額	0	0	0	—	
積立金積立額	961	959	2	—	
次期繰越活動増減差額	58,131,266	55,994,359	2,136,907	103.8%	

III. 資金収支計算書の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総収入	453,389,298円	455,271,631円	-1,882,333円	99.6%
総支出	448,683,563円	462,627,554円	-13,943,991円	97.0%
予備費	0円	0円	0円	—
当期資金収支差額	4,705,735円	-7,355,923円	12,061,658円	—

単位 円

R02補正後予算	執行率
454,781,000	99.7%
455,380,000	98.5%
0	—
-599,000	-785.6%

◆要約資金収支計算書

単位 円

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率	
事業活動収支	収入	432,242,864	439,584,545	△7,341,681	98.3%
	支出	429,779,277	444,792,806	△15,013,529	96.6%
	収支差額	2,463,587	△5,208,261	7,671,848	-47.3%
施設整備等収支	収入	8,170	5,790	2,380	—
	支出	7,788,769	6,218,305	1,570,464	125.3%
	収支差額	△7,780,599	△6,212,515	△1,568,084	125.2%
その他の活動収支	収入	21,138,264	15,681,296	5,456,968	134.8%
	支出	11,115,517	11,616,443	△500,926	95.7%
	収支差額	10,022,747	4,064,853	5,957,894	246.6%
予備費	0	0	0	—	
当期資金収支差額	4,705,735	△7,355,923	12,061,658	-64.0%	
前期末支払資金残高	82,402,505	89,758,428	△7,355,923	91.8%	
当期末支払資金残高	87,108,240	82,402,505	4,705,735	105.7%	

単位 円

R02補正後予算	執行率
446,080,000	96.9%
435,926,000	98.6%
10,154,000	24.3%
0	—
8,318,000	93.6%
△8,318,000	93.5%
8,701,000	242.9%
11,136,000	99.8%
△2,435,000	-411.6%
0	—
△599,000	-785.6%
82,403,000	100.0%
81,804,000	106.5%

資金収支計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	10,796,000	10,079,800	716,200	
	一般会費収入	8,796,000	8,722,800	73,200	7,269世帯×1,200円
	賛助会費収入	2,000,000	1,357,000	643,000	賛助 1,077千円、特別 280千円
	寄附金収入	5,110,000	5,418,080	△308,080	
	一般寄附金収入	10,000	0	10,000	
	善意銀行寄附金収入	5,100,000	5,418,080	△318,080	寄附件数 174件
	経常経費補助金収入	38,932,000	38,489,841	442,159	
	都道府県補助金収入	500,000	340,000	160,000	
	補助金収入	500,000	340,000	160,000	子どもの冒険ひろば補助金
	市区町村補助金収入	25,980,000	25,980,000	0	
	補助金収入	25,980,000	25,980,000	0	移送、福祉活動専門員設置費ほか
	その他の補助金収入	3,150,000	3,136,000	14,000	
	その他の補助金収入	3,150,000	3,136,000	14,000	生活福祉資金体制整備事業ほか
	共同募金配分金収入	9,302,000	9,033,841	268,159	
	一般募金配分金収入	6,462,000	6,693,435	△231,435	R元 配分金
	歳末たすけあい配分金収入	2,840,000	2,340,406	499,594	歳末たすけあい運動
	受託金収入	52,603,000	52,982,941	△379,941	
	市区町村受託金収入	51,112,000	51,343,547	△231,547	
	受託金収入	51,112,000	51,343,547	△231,547	生活支援CO設置業務ほか
	都道府県社協受託金収入	1,491,000	1,639,394	△148,394	
	受託金収入	1,491,000	1,639,394	△148,394	日常生活自立支援事業ほか
	事業収入	11,913,000	8,905,115	3,007,885	
	参加費収入	1,348,000	131,700	1,216,300	介護者の会、プレーパークほか
	利用料収入	7,475,000	6,270,585	1,204,415	
	利用料収入	7,255,000	6,090,585	1,164,415	給食、移送、サロン利用料ほか
	登録料収入	220,000	180,000	40,000	移送登録料
	賃貸料収入	1,020,000	784,700	235,300	保険外福祉用具利用料
	手数料収入	150,000	17,600	132,400	指定ごみ袋販売手数料
	介護用品斡旋収入	1,920,000	1,689,530	230,470	介護用品斡旋
	その他の事業収入	0	11,000	△11,000	貸与物品弁償代
	介護保険事業収入	308,124,000	295,080,201	13,043,799	
	居宅介護料収入	239,211,000	226,790,940	12,420,060	
	(介護報酬収入)	214,922,000	201,145,335	13,776,665	
	介護報酬収入	203,999,000	190,615,709	13,383,291	介護報酬収入
	介護予防報酬収入	10,923,000	10,529,626	393,374	介護予防報酬収入
	(利用者負担金収入)	24,289,000	25,645,605	△1,356,605	
	介護負担金収入(公費)	371,000	125,995	245,005	利用者負担金(生活保護)
	介護負担金収入(一般)	22,635,000	24,320,054	△1,685,054	利用者負担金
	介護予防負担金収入(公費)	81,000	27,827	53,173	介護予防利用者負担金(生活保護)
	介護予防負担金収入(一般)	1,202,000	1,171,729	30,271	介護予防利用者負担金
	居宅介護支援介護料収入	54,500,000	55,065,980	△565,980	
居宅介護支援介護料収入	50,000,000	48,628,110	1,371,890	居宅介護支援介護料収入	
介護予防支援介護料収入	4,500,000	6,437,870	△1,937,870	介護予防支援介護料収入	
利用者等利用料収入	10,035,000	8,845,281	1,189,719		
食費収入(一般)	9,985,000	8,803,900	1,181,100	通所介護事業 給食費	
その他の利用料収入	50,000	41,381	8,619	区域外交通費、キャンセル料	
その他の事業収入	4,378,000	4,378,000	0		
その他の事業収入	4,378,000	4,378,000	0	新型コロナウイルス感染症対策助成	
障害福祉サービス等事業収入	16,287,000	17,692,572	△1,405,572		
自立支援給付費収入	10,018,000	11,494,021	△1,476,021		
介護給付費収入	5,015,000	6,041,471	△1,026,471	居宅介護事業給付金	
計画相談支援給付費収入	5,003,000	5,452,550	△449,550	相談支援事業給付金	
利用者負担金収入	78,000	32,949	45,051	居宅介護事業利用者負担金	
その他の事業収入	6,191,000	6,165,602	25,398		
受託事業収入	4,400,000	4,400,000	0	障害者相談支援、移動支援	
その他の事業収入	1,791,000	1,765,602	25,398	新型コロナウイルス感染症対策助成ほか	
受取利息配当金収入	31,000	21,384	9,616		
その他の収入	2,284,000	3,572,930	△1,288,930		
受入研修費収入	100,000	65,512	34,488	実習委託金ほか	
雑収入	2,184,000	3,507,418	△1,323,418		

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	退職手当積立基金預け金差益	246,000	245,270	730	退職手当預け金差益
	自動販売機売上収入	240,000	199,063	40,937	自動販売機売上金
	雑収入	1,698,000	3,063,085	△1,365,085	費用弁償受入れほか
	事業活動収入計(1)	446,080,000	432,242,864	13,837,136	
支出	人件費支出	316,645,000	320,892,071	△4,247,071	
	役員報酬支出	1,674,000	1,630,000	44,000	役員(理事・監事)報酬
	職員給料支出	168,623,000	160,034,952	8,588,048	常勤職員 給料、諸手当
	職員賞与支出	40,369,000	38,473,062	1,895,938	常勤職員 賞与
	非常勤職員給与支出	58,940,000	63,313,325	△4,373,325	非常勤 給料、諸手当、賞与
	派遣職員費支出	300,000	170,024	129,976	運転業務派遣ほか
	退職給付支出	6,420,000	21,275,415	△14,855,415	全社協、県社協退職給付
	法定福利費支出	40,319,000	35,995,293	4,323,707	社会保険料ほか
	事業費支出	71,236,000	60,884,033	10,351,967	
	諸謝金支出	599,000	302,527	296,473	講師謝金、謝礼ほか
	旅費交通費支出	5,420,000	817,650	4,602,350	配食V活動費、講師旅費ほか
	給食費支出	10,139,000	7,056,521	3,082,479	通所給食材料費ほか
	保健衛生費支出	1,709,000	1,002,918	706,082	福祉用具洗浄消毒料ほか
	医療費支出	0	5,930	△5,930	事故に伴う受診料
	教養娯楽費支出	583,000	141,486	441,514	介護者の会、ひとり暮らし友愛訪問ほか
	水道光熱費支出	9,968,000	10,588,297	△620,297	電気、ガス、水道料金
	燃料費支出	1,043,000	1,295,372	△252,372	灯油代
	消耗器具備品費支出	6,076,000	5,350,881	725,119	事業消耗器具備品費
	保険料支出	214,000	289,950	△75,950	車両任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料支出	21,418,000	21,814,925	△396,925	車両リース、会場使用料ほか
	車両費支出	11,187,000	10,150,860	1,036,140	車両管理費、車両燃料代
	幹旋介護用品購入支出	1,800,000	1,397,716	402,284	介護用品購入費用
	給付金支出	1,080,000	645,000	435,000	歳末たすけあい見舞金ほか
	雑支出	0	24,000	△24,000	歳末たすけあい指定預託払出
	事務費支出	42,214,000	43,052,709	△838,709	
	福利厚生費支出	690,000	632,453	57,547	健康診断、予防接種ほか
	職員被服費支出	538,000	451,180	86,820	職員活動着
	旅費交通費支出	1,688,000	4,930,855	△3,242,855	出張旅費ほか
	研修研究費支出	901,000	125,450	775,550	研修参加費
	事務消耗品費支出	2,134,000	3,235,099	△1,101,099	事務消耗品費
	印刷製本費支出	3,846,000	3,334,461	511,539	資料・封筒等印刷経費
	水道光熱費支出	3,819,000	3,524,999	294,001	電気、ガス、水道料金
	燃料費支出	574,000	591,807	△17,807	A重油ほか
	修繕費支出	1,327,000	1,170,191	156,809	空調設備、雨漏り修理ほか
	通信運搬費支出	6,320,000	5,650,009	669,991	WI-FI環境整備、電話料金、郵送料ほか
	会議費支出	40,000	3,391	36,609	会議用お茶ほか
	広報費支出	2,301,000	2,112,244	188,756	かけはし発行、チラシ折込み
	業務委託費支出	6,495,000	6,231,256	263,744	施設警備、給食サービス業者委託ほか
	手数料支出	502,000	482,028	19,972	口座振替、書類発行手数料
	保険料支出	1,953,000	2,129,520	△176,520	車両任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料支出	1,986,000	1,541,452	444,548	車両、OA機器リースほか
	土地・建物賃借料支出	2,811,000	2,834,324	△23,324	福祉の杜、駐車場賃借料ほか
	租税公課支出	1,957,000	1,960,800	△3,800	福祉用具貸与事業消費税ほか
	保守料支出	1,040,000	930,820	109,180	事務機器保守料
	渉外費支出	58,000	166,330	△108,330	慶弔交際費
	諸会費支出	134,000	134,000	0	県老協、老施協、ヘルパー協ほか
	雑支出	1,100,000	880,040	219,960	受入費用弁償支払ほか
共同募金配分金事業費支出	100,000	0	100,000		
歳末たすけあい配分金事業支出	100,000	0	100,000		
分担金支出	183,000	162,000	21,000		
分担金支出	183,000	162,000	21,000	県社協分担金	
助成金支出	5,373,000	4,415,483	957,517		
助成金支出	5,373,000	4,415,483	957,517		
各種団体助成金支出	5,373,000	4,415,483	957,517	歳末ふれあい事業、V活動助成金ほか	
負担金支出	17,000	17,000	0		
負担金支出	17,000	17,000	0	全社協地域福祉推進委員会	
支払利息支出	0	183,591	△183,591	リース債務支払利息	
その他の支出	158,000	172,390	△14,390		
雑支出	158,000	172,390	△14,390		
退職手当積立金預け金差損	158,000	157,620	380	退職手当預け金差損	
雑支出	0	14,770	△14,770	デジタル自動血圧計弁償	
事業活動支出計(2)	435,926,000	429,779,277	6,146,723		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	10,154,000	2,463,587	7,690,413		

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
施設整備等による収支	収入				
	固定資産売却収入	0	8,170	△8,170	
	その他の固定資産売却収入	0	8,170	△8,170	
	施設整備等収入計(4)	0	8,170	△8,170	
	支出				
	固定資産取得支出	1,788,000	1,388,680	399,320	
	建物取得支出	957,000	957,000	0	通所介護事業 濾過器及び温水配管
	器具及び備品取得支出	831,000	431,680	399,320	スライディングストレッチャー、全自動洗濯機
	ファイナンス・リース債務の返済支出	6,530,000	6,400,089	129,911	ファイナンスリース支払
	施設整備等支出計(5)	8,318,000	7,788,769	529,231	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△8,318,000	△7,780,599	△537,401		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	8,701,000	6,331,800	2,369,200	
	退職給付引当資産取崩収入	6,332,000	6,331,800	200	退職給付引当金取崩
	地域福祉基金積立資産取崩収入	2,369,000	0	2,369,000	
	その他の活動による収入	0	14,806,464	△14,806,464	
	退職給付金収入	0	14,806,464	△14,806,464	全社協、県社協退職手当積立資産
	その他の活動収入計(7)	8,701,000	21,138,264	△12,437,264	
	支出				
	積立資産支出	11,136,000	11,115,517	20,483	
	退職給付引当資産支出	11,115,000	11,114,556	444	退職積立基金掛金
財政調整基金積立資産支出	2,000	0	2,000		
地域福祉基金積立資産支出	19,000	0	19,000		
その他の積立資産支出	0	961	△961	財政調整基金決算利息	
その他の活動支出計(8)	11,136,000	11,115,517	20,483		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,435,000	10,022,747	△12,457,747		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△599,000	4,705,735	△5,304,735		
前期末支払資金残高(12)	82,403,000	82,402,505	495		
当期末支払資金残高(11)+(12)	81,804,000	87,108,240	△5,304,240		

第1号の3様式

資金収支内訳表
(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

勘定科目	法人運営事業拠点	共同基金配分事業拠点	普賢銀行運営拠点	地域福祉活動推進事業拠点	ボランティア・市民活動センター運営事業拠点	介護予防・地域支援事業拠点	介護保険事業拠点	障害福祉サービス拠点	合計
事業活動による収支									
収入									
会費収入	10,079,800								10,079,800
分担金収入									
寄附金収入			5,418,080						5,418,080
経常経費補助金収入	14,000,000	9,033,841		12,950,000	2,506,000				38,489,841
受託金収入				18,048,061		26,543,250	8,391,630		52,982,941
貸付事業収入									
事業収入	2,491,830			3,904,410		2,409,000	99,875		8,905,115
負担金収入									
介護保険事業収入							295,080,201		295,080,201
障害福祉サービス等事業収入								17,692,572	17,692,572
借入金利息補助金収入									
経常経費寄附金収入									
受取利息配当金収入	21,119		265						21,384
その他の収入	1,161,964			1,073,610	16,000	176,350	1,145,006		3,572,930
流動資産評価益等による資金増加額									
事業活動収入計(1)	27,754,713	9,033,841	5,418,345	35,976,081	2,522,000	29,128,600	304,716,712	17,692,572	432,242,864
支出									
人件費支出	35,242,216			33,560,259	2,687,650	26,050,080	210,735,081	12,616,785	320,892,071
事業費支出	1,444,739	1,811,025	173,110	4,721,898	438,732	3,792,670	47,612,602	889,257	60,884,033
事務費支出	5,458,671	2,969,333	211,920	6,707,894	783,385	1,534,238	23,412,998	1,974,270	43,052,709
貸付事業支出									
共同基金配分事業費支出									
分担金支出	132,000			30,000					162,000
助成金支出	150,000	4,253,483	12,000						4,415,483
負担金支出	17,000								17,000
利用者負担軽減額									
支払利息支出	34,400			9,298	2,337		135,219	2,337	183,591
その他の支出				8,170			164,220		172,390
流動資産評価損等による資金減少額									
事業活動支出計(2)	42,479,026	9,033,841	397,030	45,037,519	3,912,104	31,376,988	282,060,120	15,482,649	429,779,277
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△14,724,313		5,021,315	△9,061,438	△1,390,104	△2,248,388	22,656,592	2,209,923	2,463,587
施設整備等による収支									
収入									
施設整備等補助金収入									
施設整備等寄附金収入									
設備資金借入金収入									
固定資産売却収入				8,170					8,170
その他の施設整備等による収入									
施設整備等収入計(4)				8,170					8,170
支出									
設備資金借入金元金償還支出									
固定資産取得支出							1,388,680		1,388,680
固定資産除却・廃棄支出									
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,221,172			235,358	58,839		4,825,881	58,839	6,400,089
その他の施設整備等による支出									
施設整備等支出計(5)	1,221,172			235,358	58,839		6,214,561	58,839	7,788,769
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,221,172			△227,188	△58,839		△6,214,561	△58,839	△7,780,599
その他の活動による収支									
収入									
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入									
長期運営資金借入金収入									
長期貸付金回収収入									
投資有価証券売却収入									
積立資産取崩収入							6,331,800		6,331,800
事業区分間長期借入金収入									
拠点区分間長期借入金収入									
事業区分間長期貸付金回収収入									
拠点区分間長期貸付金回収収入									
事業区分間繰入金収入									
拠点区分間繰入金収入									
その他の活動による収入	2,413,746			1,578,867	171,944	1,704,163	8,345,664	592,080	14,806,464
その他の活動収入計(7)	2,413,746			1,578,867	171,944	1,704,163	14,677,464	592,080	21,138,264
支出									
長期運営資金借入金元金償還支出									
長期貸付金支出									
投資有価証券取得支出									
積立資産支出	1,700,101			1,270,500	194,832	1,293,204	6,082,440	574,440	11,115,517
事業区分間長期貸付金支出									
拠点区分間長期貸付金支出									
事業区分間長期借入金返済支出									
拠点区分間長期借入金返済支出									
事業区分間繰入金支出									
拠点区分間繰入金支出									
その他の活動による支出									
その他の活動支出計(8)	1,700,101			1,270,500	194,832	1,293,204	6,082,440	574,440	11,115,517
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	713,645			308,367	△22,888	410,959	8,595,024	17,640	10,022,747
予備費支出(10)									
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△15,231,840		5,021,315	△8,980,259	△1,471,831	△1,837,429	25,037,055	2,168,724	4,705,735
前期未支払資金残高(12)	△106,181,865	△232,925	39,978,865	△67,234,834	△10,533,129	△8,940,147	225,814,622	9,731,918	82,402,505
当期末支払資金残高(11)+(12)	△121,413,705	△232,925	45,000,180	△76,215,093	△12,004,960	△10,777,576	250,851,677	11,900,642	87,108,240

事業活動計算書

(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				
	会費収益	10,079,800	10,360,000	△280,200	
	一般会費収益	8,722,800	8,802,000	△79,200	7,269世帯×1,200円
	賛助会費収益	1,357,000	1,558,000	△201,000	賛助 1077千円、特別 280千円
	寄附金収益	5,418,080	3,537,251	1,880,829	
	善意銀行寄附金収益	5,418,080	3,537,251	1,880,829	寄附件数 174件
	経常経費補助金収益	38,489,841	39,271,123	△781,282	
	都道府県補助金収益	340,000	520,000	△180,000	
	補助金収益	340,000	520,000	△180,000	子どもの冒険ひろば補助金
	市区町村補助金収益	25,980,000	25,980,000	0	
	補助金収益	25,980,000	25,980,000	0	移送、福祉活動専門員設置費ほか
	その他の補助金収益	3,136,000	3,180,000	△44,000	
	補助金収益	3,136,000	3,180,000	△44,000	生活福祉資金体制整備事業ほか
	共同募金配分金収益	9,033,841	9,591,123	△557,282	
	一般募金配分金収益	6,693,435	6,959,423	△265,988	H30 配分金
	歳末たすけあい配分金収益	2,340,406	2,631,700	△291,294	歳末たすけあい運動
	受託金収益	52,982,941	52,263,200	719,741	
	市区町村受託金収益	51,343,547	50,969,867	373,680	
	受託金収益	51,343,547	50,969,867	373,680	生活支援C〇設置業務ほか
	都道府県社協受託金収益	1,639,394	1,293,333	346,061	
	受託金収益	1,639,394	1,293,333	346,061	日常生活自立支援事業ほか
	事業収益	8,905,115	11,030,852	△2,125,737	
	参加費収益	131,700	1,044,960	△913,260	介護者の会、プレーパーク参加費
	利用料収益	6,270,585	7,168,642	△898,057	
	利用料収益	6,090,585	6,948,642	△858,057	給食、移送、サロン利用料ほか
	登録料収益	180,000	220,000	△40,000	移送登録料
	賃貸料収益	784,700	968,000	△183,300	保険外福祉用具利用料
	手数料収益	17,600	13,600	4,000	指定ごみ袋販売手数料
	介護用品斡旋収益	1,689,530	1,817,650	△128,120	介護用品斡旋
	その他の事業収益	11,000	18,000	△7,000	貸出物品弁償代
	介護保険事業収益	295,080,201	304,865,607	△9,785,406	
	居宅介護料収益	226,790,940	237,486,060	△10,695,120	
	(介護報酬収益)	201,145,335	211,473,973	△10,328,638	
	介護報酬収益	190,615,709	201,207,971	△10,592,262	介護報酬収入
	介護予防報酬収益	10,529,626	10,266,002	263,624	介護予防報酬収入
	(利用者負担金収益)	25,645,605	26,012,087	△366,482	
	介護負担金収益(公費)	125,995	416,523	△290,528	利用者負担金(生活保護)
	介護負担金収益(一般)	24,320,054	24,419,914	△99,860	利用者負担金
	介護予防負担金収益(公費)	27,827	28,600	△773	介護予防利用者負担金(生活保護)
	介護予防負担金収益(一般)	1,171,729	1,147,050	24,679	介護予防利用者負担金
	居宅介護支援介護料収益	55,065,980	58,020,760	△2,954,780	
	居宅介護支援介護料収益	48,628,110	52,142,000	△3,513,890	居宅介護支援介護料収入
	介護予防支援介護料収益	6,437,870	5,878,760	559,110	介護予防支援介護料収入
	利用者等利用料収益	8,845,281	9,353,287	△508,006	
	食費収益(一般)	8,803,900	9,292,500	△488,600	通所介護事業 給食費
	その他の利用料収益	41,381	60,787	△19,406	区域外交通費、キャンセル料
	その他の事業収益	4,378,000	5,500	4,372,500	
その他の事業収益	4,378,000	5,500	4,372,500	コロナウイルス感染症対策助成	
障害福祉サービス等事業収益	17,692,572	15,387,215	2,305,357		
自立支援給付費収益	11,494,021	10,904,252	589,769		
介護給付費収益	6,041,471	5,698,172	343,299	居宅介護事業給付金	
計画相談支援給付費収益	5,452,550	5,206,080	246,470	相談支援事業給付金	
利用者負担金収益	32,949	99,248	△66,299	居宅介護事業利用者負担金	
その他の事業収益	6,165,602	4,383,715	1,781,887		
受託事業収益	4,400,000	4,378,800	21,200	障害者相談支援、移動支援	
その他の事業収益	1,765,602	4,915	1,760,687	コロナウイルス感染症対策助成ほか	
その他の収益	3,297,795	2,579,189	718,606		
その他の収益	3,297,795	2,579,189	718,606		
退職手当積立基金預け金差益	245,270	0	245,270	退職手当預け金差益	
その他の収益	3,052,525	2,579,189	473,336	費用弁償受入れほか	
サービス活動収益計(1)	431,946,345	439,294,437	△7,348,092		

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
費用	人件費	312,779,474	339,313,705	△26,534,231	
	役員報酬	1,630,000	1,669,164	△39,164	役員(理事・監事)報酬
	職員給料	160,034,952	173,189,469	△13,154,517	常勤職員 給料、諸手当
	職員賞与	28,216,657	35,720,639	△7,503,982	常勤職員 賞与
	非常勤職員給与	63,313,325	64,251,880	△938,555	非常勤 給料、諸手当、賞与
	派遣職員費	170,024	401,427	△231,403	運転業務派遣ほか
	退職給付費用	14,806,464	14,019,776	786,688	全社協退職手当積立資産
	法定福利費	35,995,293	39,755,444	△3,760,151	社会保険料ほか
	賞与引当金繰入費用	8,612,759	10,305,906	△1,693,147	賞与引当金
	事業費	60,884,033	61,184,249	△300,216	
	諸謝金	302,527	380,527	△78,000	講師謝金、謝礼ほか
	旅費交通費	817,650	946,790	△129,140	配食V活動費、講師旅費ほか
	給食費	7,056,521	8,014,945	△958,424	通所給食材料費ほか
	保健衛生費	1,002,918	941,978	60,940	福祉用具洗浄消毒料ほか
	医療費	5,930	9,880	△3,950	利用者事故に伴う受診料
	被服費	0	111,230	△111,230	
	教養娯楽費	141,486	556,702	△415,216	介護者の会、ひとり暮らしのつどいほか
	水道光熱費	10,588,297	10,086,198	502,099	電気、ガス、水道料金
	燃料費	1,295,372	1,431,717	△136,345	灯油代
	消耗器具備品費	5,350,881	3,633,749	1,717,132	事業消耗器具備品費
	保険料	289,950	290,380	△430	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料	21,814,925	20,595,065	1,219,860	車輛リース、会場使用料ほか
	車輛費	10,150,860	11,286,802	△1,135,942	車輛管理費、車輛燃料代
	斡旋介護用品購入費	1,397,716	1,638,962	△241,246	介護用品購入費用
	給付費	645,000	1,198,444	△553,444	歳末たすけあい見舞金ほか
	雑費	24,000	60,880	△36,880	歳末たすけあい指定預託払出
	事務費	43,052,709	41,725,211	1,327,498	
	福利厚生費	632,453	662,274	△29,821	健康診断、予防接種ほか
	職員被服費	451,180	264,630	186,550	職員活動着
	旅費交通費	4,930,855	5,592,720	△661,865	出張旅費ほか
	研修研究費	125,450	407,064	△281,614	研修参加費
	事務消耗品費	3,235,099	1,869,352	1,365,747	事務消耗品費
	印刷製本費	3,334,461	3,488,083	△153,622	資料・封筒等印刷経費
	水道光熱費	3,524,999	3,894,123	△369,124	電気、ガス、水道料金
	燃料費	591,807	626,891	△35,084	A重油ほか
	修繕費	1,170,191	538,415	631,776	通所介護事業 空調設備ほか
	通信運搬費	5,650,009	4,131,773	1,518,236	電話料金、郵送料ほか
	会議費	3,391	11,010	△7,619	会議用お茶ほか
	広報費	2,112,244	2,526,527	△414,283	かけはし発行、チラシ折込み
	業務委託費	6,231,256	6,230,676	580	施設警備、給食サービス業者委託ほか
	手数料	482,028	537,718	△55,690	口座振替、書類発行手数料
	保険料	2,129,520	2,034,980	94,540	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料	1,541,452	2,357,193	△815,741	車輛、OA機器リースほか
	土地・建物賃借料	2,834,324	2,800,038	34,286	福祉の杜、駐車場賃借料ほか
	租税公課	1,960,800	1,569,500	391,300	福祉用具貸与事業消費税ほか
	保守料	930,820	1,026,512	△95,692	事務機器保守料
	渉外費	166,330	53,792	112,538	慶弔交際費
諸会費	134,000	134,000	0	県老協、老施協、ヘルパー協ほか	
雑費	880,040	967,940	△87,900	受入費用弁償支払ほか	
分担金費用	162,000	183,000	△21,000		
分担金費用	162,000	183,000	△21,000	県社協分担金	
助成金費用	4,415,483	5,303,500	△888,017		
助成金費用	4,415,483	5,303,500	△888,017		
各種団体助成金費用	4,415,483	5,303,500	△888,017	歳末ふれあい事業、V活動助成金ほか	
負担金費用	17,000	17,000	0		
負担金費用	17,000	17,000	0	全社協地域福祉推進委員会	
減価償却費	8,438,312	8,864,042	△425,730	建物、車輛運搬具、器具及び什器費ほか	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△371,665	371,665	車輛運搬具	
その他の費用	164,220	135,930	28,290		
その他の費用	164,220	135,930	28,290		
退職手当積立基金預け金差損	157,620	135,930	21,690	退職手当預け金差損	
その他の費用	6,600	0	6,600	デジタル自動血圧計弁償	
サービス活動費用計(2)	429,913,231	456,354,972	△26,441,741		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,033,114	△17,060,535	19,093,649		

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	21,384	21,717	△333	預金利息
	その他のサービス活動外収益	275,135	268,391	6,744	
	受入研修費収益	65,512	47,808	17,704	
	雑収益	209,623	220,583	△10,960	
	自動販売機売上金収益	199,063	220,583	△21,520	自動販売機売上金
	雑収益	10,560	0	10,560	
	サービス活動外収益計(4)	296,519	290,108	6,411	
	費用				
	支払利息	183,591	255,275	△71,684	リース債務支払利息
その他のサービス活動外費用	8,170	5,790	2,380		
雑損失	8,170	5,790	2,380	廃車に伴うリサイクル料	
サービス活動外費用計(5)	191,761	261,065	△69,304		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	104,758	29,043	75,715		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,137,872	△17,031,492	19,169,364		
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益	0	0	0	
	その他の特別収益	0	0	0	
	特別収益計(8)	0	0	0	
	費用				
	固定資産売却損・処分損	4	1,533,215	△1,533,211	
	建物売却損・処分損	0	1,533,211	△1,533,211	
	車輛運搬具売却損・処分損	1	1	0	廃車処分損
	器具及び備品売却損・処分損	3	3	0	器具及び備品(ﾊﾞｯﾀｰ) 廃棄処分損
	拠点区分間繰入金費用	0	1,842,407	△1,842,407	
拠点区分間固定資産移管費用	148,308	0	148,308	有形リース(印刷機)移管	
特別費用計(9)	4	1,533,215	△1,384,903		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4	△1,533,215	1,533,211		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,137,868	△18,564,707	20,702,575		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	55,994,359	74,560,025	△18,565,666	
	当期活動増減差額(13)=(11)+(12)	58,132,227	55,995,318	2,136,909	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	財政調整基金積立金取崩額	0	0	0	
	地域福祉基金積立金取崩額	0	0	0	
	その他の積立金取崩額	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	961	959	2	
	財政調整基金積立金積立額	961	959	2	
	地域福祉基金積立金積立額	0	0	0	
その他の積立金積立額	0	0	0		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	58,131,266	55,994,359	2,136,907		

第2号の3様式

事業活動内訳表
(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

勘定科目	法人運営事業 拠点	共同基金配分金事 業拠点	善意銀行運営拠点	地域福祉活動推進 事業拠点	ボランティア・市民活動 センター運営事業拠点	介護予防・地域支 援事業拠点	介護保険事業拠点	障害福祉 サービス拠点	合計
サービス活動増減の部	収益								
	会費収益	10,079,800							10,079,800
	分担金収益								
	寄附金収益			5,418,080					5,418,080
	経常経費補助金収益	14,000,000	9,033,841		12,950,000	2,506,000			38,489,841
	受託金収益				18,048,061		26,543,250	8,391,630	52,982,941
	貸付事業収益								
	事業収益	2,491,830			3,904,410		2,409,000	99,875	8,905,115
	負担金収益								
	介護保険事業収益							295,080,201	295,080,201
	障害福祉サービス等事業収益								17,692,572
	経常経費寄附金収益								
	その他の収益	897,389			1,073,610	16,000	176,350	1,134,446	3,297,795
	サービス活動収益計(1)	27,469,019	9,033,841	5,418,080	35,976,081	2,522,000	29,128,600	304,706,152	431,946,345
費用	人件費	35,171,390			33,377,597	2,721,825	26,035,495	202,775,993	312,779,474
	事業費	1,444,739	1,811,025	173,110	4,721,898	438,732	3,792,670	47,612,602	60,884,033
	事務費	5,458,671	2,969,333	211,920	6,707,894	783,385	1,534,238	23,412,998	43,052,709
	利用者負担軽減額								
	共同基金配分金事業費								
	分担金費用	132,000			30,000				162,000
	助成金費用	150,000	4,253,483	12,000					4,415,483
	負担金費用	17,000							17,000
	減価償却費	1,178,405	63,766		564,747	525,533	219,466	5,837,597	8,438,312
	国庫補助金等特別積立金取崩額								
	徴収不能額								
	徴収不能引当金繰入								
	その他の費用							164,220	164,220
	サービス活動費用計(2)	43,552,205	9,097,607	397,030	45,402,136	4,469,475	31,581,869	279,803,410	429,913,231
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△16,083,186	△63,766	5,021,050	△9,426,055	△1,947,475	△2,453,269	24,902,742	2,033,114	
サービス活動外増減の部	収益								
	借入金利息補助金収益								
	受取利息配当金収益	21,119		265					21,384
	有価証券評価益								
	有価証券売却益								
	投資有価証券評価益								
	投資有価証券売却益								
	その他のサービス活動外収益	264,575						10,560	275,135
	サービス活動外収益計(4)	285,694		265				10,560	296,519
	費用								
	支払利息	34,400			9,298	2,337		135,219	181,254
	有価証券評価損								
	有価証券売却損								
	投資有価証券評価損								
投資有価証券売却損									
その他のサービス活動外費用				8,170				8,170	
サービス活動外費用計(5)	34,400			17,468	2,337		135,219	191,761	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	251,294		265	△17,468	△2,337		△124,659	104,758	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△15,831,892	△63,766	5,021,315	△9,443,523	△1,949,812	△2,453,269	24,778,083	2,137,872	
特別増減の部	収益								
	施設整備等補助金収益								
	施設整備等寄附金収益								
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益								
	固定資産受贈額								
	固定資産売却益								
	車両運搬具売却益								
	器具及び備品売却益								
	その他の固定資産売却益								
	拠点区分間繰入金収益								
	拠点区分間固定資産移管収益							111,239	
	その他の特別収益								
	特別収益計(8)								
	費用								
基本金組入額									
資産評価損									
固定資産売却損・処分損				1			3	4	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)									
国庫補助金等特別積立金積立額									
災害損失									
拠点区分間繰入金費用									
拠点区分間固定資産移管費用							74,175	74,133	
その他の特別損失									
特別費用計(9)				1			3	4	
特別増減差額(10)=(8)-(9)				△1			△3	△4	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△15,831,892	△63,766	5,021,315	△9,443,524	△1,949,812	△2,453,269	24,778,080	2,137,868	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△107,490,509	126,611	39,978,870	△77,571,482	△11,211,276	△6,756,194	210,023,072	55,994,359
	当期活動増減差額(13)=(11)+(12)	△123,322,401	62,845	45,000,185	△87,015,006	△13,161,088	△9,209,463	234,801,152	58,132,227
	基本金取崩額(14)								
	その他の積立金取崩額(15)								
	その他の積立金積立額(16)	961							961
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△123,323,362	62,845	45,000,185	△87,015,006	△13,161,088	△9,209,463	234,801,152	58,131,266	

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	R3.3月末	R2.3月末	増減		R3.3月末	R2.3月末	増減
流動資産	109,248,608	103,371,316	5,877,292	流動負債	35,112,157	37,674,806	△ 2,562,649
現金預金	35,794,192	41,084,920	△ 5,290,728	短期運営資金借入金	0	0	0
現金	143,998	130,327	13,671	事業未払金	21,148,828	19,915,484	1,233,344
預金	35,650,194	40,954,593	△ 5,304,399	その他の未払金	0	0	0
有価証券	0	0	0	支払手形	0	0	0
事業未収金	71,706,926	60,686,625	11,020,301	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
未収金	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	4,359,030	6,400,089	△ 2,041,059
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定事業区分間長期借入金	0	0	0
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定拠点区分間長期借入金	0	0	0
貯蔵品	149,000	46,600	102,400	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
医薬品	0	0	0	未払費用	0	0	0
給食用材料	0	0	0	預り金	362,490	407,400	△ 44,910
商品・製品	0	0	0	職員預り金	629,050	645,927	△ 16,877
立替金	821,062	734,061	87,001	前受金	0	0	0
前払金	725,428	757,110	△ 31,682	前受収益	0	0	0
前払費用	0	0	0	事業区分間借入金	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0
1年以内回収予定事業区分間長期貸付金	0	0	0	仮受金	0	0	0
1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金	0	0	0	賞与引当金	8,612,759	10,305,906	△ 1,693,147
短期貸付金	52,000	62,000	△ 10,000	その他の流動負債	0	0	0
事業区分間貸付金	0	0	0				
拠点区分間貸付金	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
固定資産	393,435,107	395,709,196	△ 2,274,089	固定負債	194,039,641	190,011,657	4,027,984
基本財産	4,000,000	4,000,000	0	設備資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物	0	0	0	リース債務	4,579,437	8,938,467	△ 4,359,030
定期預金	4,000,000	4,000,000	0	事業区分間長期借入金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	拠点区分間長期借入金	0	0	0
その他の固定資産	389,435,107	391,709,196	△ 2,274,089	全社協退職給付引当金	187,690,220	179,931,610	7,758,610
土地	5,253	5,253	0	県社協退職給付引当金	1,769,984	1,141,580	628,404
建物	5,591,867	4,929,269	662,598	長期未払金	0	0	0
構築物	0	0	0	長期預り金	0	0	0
機械及び装置	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
車輛運搬具	1,802,898	3,308,379	△ 1,505,481				
器具及び備品	3,578,811	3,929,120	△ 350,309				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	9,600,834	13,545,697	△ 3,944,863	負債の部合計	229,151,798	227,686,463	1,465,335
権利	0	0	0	純 資 産 の 部			
ソフトウェア	0	0	0	基本金	4,000,000	4,000,000	0
無形リース資産	477,907	2,389,488	△ 1,911,581	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
投資有価証券	11,200	11,200	0	その他の積立金	211,400,651	211,399,690	961
長期貸付金	0	0	0	財政調整基金積立金	9,594,465	9,593,504	961
事業区分間長期貸付金	0	0	0	地域福祉基金積立金	201,806,186	201,806,186	0
拠点区分間長期貸付金	0	0	0	その他の積立金	0	0	0
全社協退職給付引当資産	154,437,560	150,022,400	4,415,160	次期繰越活動増減差額	58,131,266	55,994,359	2,136,907
県社協退職給付引当資産	2,123,416	1,755,820	367,596	(うち当期活動増減差額)	2,137,868	△ 18,564,707	20,702,575
財政調整基金積立資産	9,594,465	9,593,504	961				
地域福祉基金積立資産	201,806,186	201,806,186	0				
その他の積立資産	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	404,710	412,880	△ 8,170	純資産の部合計	273,531,917	271,394,049	2,137,868
資産の部合計	502,683,715	499,080,512	3,603,203	負債及び純資産の部合計	502,683,715	499,080,512	3,603,203

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	法人運営事業 拠点	共同募金配分 金事業拠点	善意銀行運営 事業拠点	地域福祉活動 推進事業拠点	ホランテア・市民活動 センター運営事業拠点	介護予防・地域 支援事業拠点	介護保険事業 拠点	障害福祉 サービス拠点	事業区分計
流動資産	△ 119,363,517	478,923	45,000,180	△ 73,550,431	△ 11,669,170	△ 8,992,131	264,332,174	13,012,580	109,248,608
現金預金	△ 124,898,359	466,923	44,948,180	△ 85,057,678	△ 12,419,170	△ 15,645,179	219,622,205	8,777,270	35,794,192
現金	160,000			△ 10,082	△ 2,520	△ 1,520	△ 1,880		143,998
預金	△ 125,058,359	466,923	44,948,180	△ 85,047,596	△ 12,416,650	△ 15,643,659	219,624,085	8,777,270	35,650,194
有価証券									
事業未収金	4,376,598	12,000		11,492,206	750,000	6,590,250	44,250,562	4,235,310	71,706,926
未収金									
未収補助金									
未収収益									
受取手形									
貯蔵品	149,000								149,000
医薬品									
給食用材料									
商品・製品									
立替金	821,062								821,062
前払金	188,182			15,041		62,798	459,407		725,428
前払費用									
1年以内回収予定長期貸付金									
1年以内回収予定事業区分間長期貸付金									
1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金									
短期貸付金			52,000						52,000
事業区分間貸付金									
拠点区分間貸付金									
仮払金									
その他の流動資産									
徴収不能引当金									
固定資産	220,724,896	295,770	5	44,228,478	8,139,683	13,780,404	98,356,385	7,909,486	393,435,107
基本財産	4,000,000								4,000,000
土地									
建物									
定期預金	4,000,000								4,000,000
投資有価証券									
その他の固定資産	216,724,896	295,770	5	44,228,478	8,139,683	13,780,404	98,356,385	7,909,486	389,435,107
土地	5,253								5,253
建物	95,534					4,191,564	1,304,769		5,591,867
構築物									
機械及び装置									
車輛運搬具	8			722,396	426,875		653,618		1,802,898
器具及び備品	183,763	295,770	5	71,673			3,027,599		3,578,811
建設仮勘定									
有形リース資産	1,784,137			446,285	126,246		7,108,138	136,028	9,600,834
権利									
ソフトウェア									
無形リース資産	95,582						382,325		477,907
投資有価証券	11,200								11,200
長期貸付金									
事業区分間長期貸付金									
拠点区分間長期貸付金									
全社協退職給付引当資産	5,801,779			39,681,558	7,133,305	12,267,996	81,579,984	7,972,938	154,437,560
県社協退職給付引当資産	△ 2,747,251			3,240,896	453,257	△ 2,688,478	4,076,662	△ 211,670	2,123,416
財政調整基金積立資産	9,594,465								9,594,465
地域福祉基金積立資産	201,806,186								201,806,186
その他の積立資産									
長期前払費用									
その他の固定資産	94,240			65,670		9,320	223,290	12,190	404,710
資産の部合計	101,361,379	774,693	45,000,185	△ 29,321,953	△ 3,529,487	4,788,273	362,688,559	20,922,066	502,683,715
流動負債	4,131,513	711,848		3,870,817	567,475	2,742,123	21,354,268	1,734,113	35,112,157
短期運営資金借入金									
事業未払金	1,418,348	711,848		2,483,462	157,290	1,785,445	13,480,497	1,111,938	21,148,828
その他の未払金									
支払手形									
1年以内返済予定設備資金借入金									
1年以内返済予定長期運営資金借入金									
1年以内返済予定リース債務	812,081			238,995	59,749		3,188,456	59,749	4,359,030
1年以内返済予定事業区分間長期借入金									
1年以内返済予定拠点区分間長期借入金									
1年以内支払予定長期未払金									
未払費用									
預り金	2,790			181,200	178,500				362,490
職員預り金	629,050								629,050
前受金									
前受収益									
事業区分間借入金									
拠点区分間借入金									
仮受金									
賞与引当金	1,269,244			967,160	171,936	956,678	4,685,315	562,426	8,612,759
その他の流動負債									
固定負債	5,115,508			53,822,236	9,064,126	11,255,613	106,496,075	8,286,083	194,039,641
設備資金借入金									
長期運営資金借入金									
リース債務	855,217			242,681	60,672		3,360,195	60,672	4,579,437
事業区分間長期借入金									
拠点区分間長期借入金									
全社協退職給付引当金	7,060,296			48,780,565	8,150,304	15,321,267	99,873,055	8,504,733	187,690,220
県社協退職給付引当金	△ 2,800,005			4,798,990	853,150	△ 4,065,654	3,262,825	△ 279,322	1,769,984
長期未払金									
その他の固定負債									
負債の部合計	9,247,021	711,848		57,693,053	9,631,601	13,997,736	127,850,343	10,020,196	229,151,798
基本金	4,000,000								4,000,000
国庫補助金等特別積立金									
その他の積立金	211,400,651								211,400,651
財政調整基金積立金	9,594,465								9,594,465
地域福祉基金積立金	201,806,186								201,806,186
その他の積立金									
次期繰越活動増減差額	△ 123,286,293	62,845	45,000,185	△ 87,015,006	△ 13,161,088	△ 9,209,463	234,838,216	10,901,870	58,131,266
(うち当期活動増減差額)	△ 15,794,823	△ 63,766	5,021,315	△ 9,443,524	△ 1,949,812	△ 2,453,269	24,815,144	2,006,603	2,137,868
純資産の部合計	92,114,358	62,845	45,000,185	△ 87,015,006	△ 13,161,088	△ 9,209,463	234,838,216	10,901,870	273,531,917
負債及び純資産の部合計	101,361,379	774,693	45,000,185	△ 29,321,953	△ 3,529,487	4,788,273	362,688,559	20,922,066	502,683,715

財務諸表に対する注記（法人全体用）
法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

1. 継続の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）によっている。
- ②上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっている。
- ②無形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっている。
- ③リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

当法人で採用する退職給付制度は、以下のとおりとなっている。

- (1) 全国社会福祉団体職員退職手当積立基金
- (2) 兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人が作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

- (1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
- (2) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
- (3) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ①法人運営事業
 - ・法人運営事業
 - ②共同募金配分金事業
 - ・共同募金配分
 - ・歳末たすけあい募金配分

- ③善意銀行運営事業
 - ・善意銀行
 - ・社会福祉援護資金
- ④地域福祉活動推進事業
 - ・地域福祉（本部）
 - ・地域福祉（養父）
 - ・地域福祉（大屋）
 - ・地域福祉（関宮）
 - ・給食サービス
 - ・移送サービス
 - ・子育て支援
 - ・生活福祉資金
 - ・福祉サービス利用援助
 - ・総合相談
- ⑤ボランティア・市民活動センター運営事業
 - ・ボランティア・市民活動センター(本部)
 - ・ボランティアステーション(養父)
 - ・ボランティアステーション(大屋)
 - ・ボランティアステーション(関宮)
- ⑥介護予防・地域支援事業
 - ・いきいきサロン八鹿
 - ・いきいきサロン「そよ風」
 - ・いきいきサロン大屋
 - ・いきいきサロン関宮
 - ・地域住民グループ支援
- ⑦介護保険事業
 - ・訪問介護
 - ・通所介護（大屋）
 - ・通所介護（関宮）
 - ・訪問入浴介護
 - ・福祉用具貸与
 - ・居宅介護支援
- ⑧障害福祉サービス
 - ・居宅介護
 - ・相談支援
 - ・移動支援

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容は以下のとおりとなっている。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	4,000,000	0	0	4,000,000

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し
 該当なし

8. 担保に供している資産
該当なし

9. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりとなっている。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
土地	5,253	0	5,253
建物	9,898,231	4,306,364	5,591,867
車輛運搬具	70,846,975	69,044,077	1,802,898
器具及び備品	33,927,676	30,348,865	3,578,811
有形リース資産	22,308,909	12,708,075	9,600,834
無形リース資産	9,557,921	9,080,014	477,907
合計	146,544,965	125,487,395	21,057,570

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象
該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするための必要事項
該当なし

基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

資産の種類及び名称	期首帳簿価額(A)		当期増加額(B)		当期減価償却額(C)		当期減少額(D)		期末帳簿価額(E=A+B-C-D)		減価償却累計額(F)		期末取得原価(G=E+F)		摘要
	うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		
基本財産(有形固定資産)															
定期預金	4,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000	0	
基本財産合計	4,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000	0	
その他の固定資産(有形固定資産)															
土地	5,253	0	0	0	0	0	0	0	5,253	0	0	0	5,253	0	
建物	4,929,269	0	957,000	0	294,402	0	0	0	5,591,867	0	4,306,364	0	9,898,231	0	
車両運搬具	3,308,379	0	0	0	1,505,480	0	0	0	1,802,899	0	70,482,436	4,950,000	72,285,335	4,950,000	
器具及び備品	3,929,120	0	431,680	0	781,986	0	3	0	3,578,811	0	30,348,865	0	33,927,676	0	
有形リース資産	13,545,697	0	2,113,475	0	3,944,863	0	2,113,475	0	9,600,834	0	12,708,075	0	22,308,909	0	
その他の固定資産(有形固定資産)計	25,717,718	0	3,502,155	0	6,526,731	0	2,113,478	0	20,579,664	0	117,845,740	4,950,000	138,425,404	4,950,000	
その他の固定資産(無形固定資産)															
無形リース資産	2,389,488	0	0	0	1,911,581	0	0	0	477,907	0	9,080,014	0	9,557,921	0	
その他の固定資産(無形固定資産)計	2,389,488	0	0	0	1,911,581	0	0	0	477,907	0	9,080,014	0	9,557,921	0	
その他の固定資産計	28,107,206	0	3,502,155	0	8,438,312	0	2,113,478	0	21,057,571	0	126,925,754	4,950,000	147,983,325	4,950,000	
基本財産及びその他の固定資産計	32,107,206	0	3,502,155	0	8,438,312	0	2,113,478	0	25,057,571	0	126,925,754	4,950,000	151,983,325	4,950,000	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差引	32,107,206	0	3,502,155	0	8,438,312	0	2,113,478	0	25,057,571	0	126,925,754	4,950,000	151,983,325	4,950,000	

(注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、設備資金元金償還補助金がある場合には、償還補助総額を記載した上で、国庫補助金取崩計算を行うものとする。
 ただし、「将来入金予定の償還補助金の額」欄では、「期首帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」はマイナス表示し、実際に補助金を受けた場合に「当期増加額」の「うち国庫補助金等の額」をプラス表示することにより、「差引」欄の「期末帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金残高と一致することが確認できる。
 2. 「当期増加額」には減価償却控除前の増加額、「当期減少額」には当期減価償却額を控除した減少額を記載する。

寄附金収益明細書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金組入額	寄附金額の拠点区分ごとの内訳	
					法人運営事業	善意銀行運営事業
その他	経常	174	5,418,080	0	0	5,418,080
区分小計		174	5,418,080	0	0	5,418,080
合計		174	5,418,080	0	0	5,418,080

(単位：円)

(注) 1. 寄附者の属性の内容は、法人役員、利用者本人、利用者の家族、取引業者、その他とする。

2. 「寄附金額」欄には、寄附物品を含めるものとする。「区分欄」には、経常経費寄附金収益の場合は「経常」、長期運営資金借入金元金償還寄附金収益の場合は「運営」、「施設整備等寄附金収益の場合は「施設」、設備資金借入金元金償還寄附金収益の場合は「償還」、固定資産受贈額の場合は「固定」と、寄附金の種類がわかるように記入すること。

3. 「寄附金額」の「区分小計」欄は、拠点区分事業活動計算書の勘定科目の金額と原則として一致するものとする。また、「寄附金額の拠点区分ごとの内訳」の「区分小計」欄は、拠点区分事業活動計算書の勘定科目の金額と原則として一致するものとする。

補助金事業等収益明細書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業に係る利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金積立額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳			
						法人運営事業	共同募金配分金事業	地域福祉活動推進事業	ボランティア・市民活動センター運営事業
法人運営事業	市	14,000,000	0	14,000,000	0	14,000,000	0	0	0
区分小計		14,000,000	0	14,000,000	0	14,000,000	0	0	0
兵庫県/子どもの冒険ひろば事業	県	340,000	300	340,300	0	0	340,300	0	0
区分小計		340,000	300	340,300	0	0	340,300	0	0
養父市/子どもの冒険ひろば事業	市	400,000	0	400,000	0	0	400,000	0	0
養父市/地域福祉活動専門員設置費		4,500,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000	0	0
養父市/福祉有償運送事業		5,000,000	1,358,500	6,358,500	0	0	6,358,500	0	0
養父市/結婚相談事業		580,000		580,000	0	0	580,000	0	0
養父市/ボランティアセンター運営事業		1,500,000	0	1,500,000	0	0	1,500,000	1,500,000	0
区分小計		11,980,000	1,358,500	13,338,500	0	0	11,838,500	1,500,000	0
県社協/生活福祉資金貸付事業	県社協	2,130,000	0	2,130,000	0	0	2,130,000	0	0
県社協/災害ボランティア活動サポート事業		1,006,000	0	1,006,000	0	0	0	1,006,000	0
区分小計		3,136,000	0	3,136,000	0	0	2,130,000	1,006,000	0
県共募/一般募金配分金	県共募 募金	6,693,435	0	6,693,435	0	0	6,693,435	0	0
県共募/歳末たすけあい運動配分金		2,340,406	0	2,340,406	0	0	2,340,406	0	0
区分小計		9,033,841	0	9,033,841	0	0	9,033,841	0	0
合計		38,489,841	1,358,800	39,848,641	0	14,000,000	9,033,841	14,308,800	2,506,000

基本金明細書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

区分並びに組入れ及び取崩し事由	合計	各拠点区分ごとの内訳	
		法人運営事業	
前年度末残高			
第一号基本金	4,000,000		4,000,000
当期組入金	0		0
当期取崩額	0		0
当期末残高			
第一号基本金	4,000,000		4,000,000

(注) 1. 「区分並びに組入れ及び取崩しの事由」の欄に該当する事項がない場合には、記載を省略する。

2. ①第一号基本金とは、注解(注2) (1)に規定する基本金をいう。
- ②第二号基本金とは、注解(注2) (2)に規定する基本金をいう。
- ③第二号基本金とは、注解(注2) (3)に規定する基本金をいう。

3. 従前及び今回の改正において特例により第一号基本金・第二号基本金の内訳を示していない法人では、合計額のみ記載するものとする。

積立金・積立資産明細書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

区 分	前期末残高	当期増減額	当期減少額	期末残高	摘 要
財政調整基金積立金	9,593,504	961	0	9,594,465	
地域福祉基金積立金	201,806,186	0	0	201,806,186	
計	211,399,690	961	0	211,400,651	

区 分	前期末残高	当期増減額	当期減少額	期末残高	摘 要
財政調整基金積立資産	9,593,504	961	0	9,594,465	
地域福祉基金積立資産	201,806,186	0	0	201,806,186	
計	211,399,690	961	0	211,400,651	

引当金明細書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	10,305,906	8,612,759	10,305,906	0	8,612,759	
全社協 退職給付引当金	179,931,610	14,178,060	6,419,450	0	187,690,220	
県社協 退職給付引当金	1,141,580	628,404	0	0	1,769,984	
計	191,379,096	23,419,223	16,725,356	0	198,072,963	

(注)

1. 引当金明細書には、引当金の種類ごとに、期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高の明細を記載する。
2. 目的使用以外の要因による減少額については、その内容及び金額を注記する。
3. 都道府県共済会または法人独自の退職給付制度において、職員の転職または拠点間の異動により、退職給付の支払を伴わない退職給付引当金の増加または減少が発生した場合は、当期増加額又は当期減少額（その他）の欄に括弧書きでその金額を内数として記載するものとする。

財 産 目 録
(令和3年3月31日現在)

別紙 4

(単位 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						35,794,192
現金						143,998
預金						35,650,194
普通預金						35,650,194
但馬銀行	—		運転資金として	—	—	18,766,221
但馬信用金庫	—		運転資金として	—	—	11,684,434
たじま農業協同組合	—		運転資金として	—	—	4,546,773
みなと銀行	—		運転資金として	—	—	37,960
ゆうちょ銀行	—		運転資金として	—	—	614,806
定期預金						0
たじま農業協同組合	—		運転資金として	—	—	0
事業未収金		—	介護報酬収入、利用料ほか	—	—	71,706,926
貯蔵品		—	ごみ袋	—	—	149,000
立替金		—	雇用保険料ほか	—	—	821,062
前払金		—	ひょうご福祉サービス総合補償	—	—	725,428
短期貸付金		—	社会福祉援護資金貸付金	—	—	52,000
流 動 資 産 合 計						109,248,608
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	但馬銀行	—	基本財産として指定されているもの	—	—	4,000,000
基 本 財 産 合 計						4,000,000
(2) その他の固定資産						
土地	山林	2017年度	故関本勢以子氏遺贈	5,253	0	5,253
建物				9,898,231	4,306,364	5,591,867
	プレハブ物置	1998年度	法人(社協)の運営に使用	540,960	540,959	1
	事務所玄関上文字看板	2009年度		283,185	187,653	95,532
	物置	2012年度		230,000	229,999	1
	八鹿サロン改修	2011年度	第2種社会福祉事業である	1,163,820	534,345	629,475
	ふれあいの郷改修	2012年度	いきいきサロン事業に使用	5,000,000	1,437,911	3,562,089
	洗面カウンター	2002年度	第2種社会福祉事業である	430,500	430,499	1
	物置	2006年度	通所介護事業に使用	730,000	729,999	1
	ガス給湯器一式	2014年度		368,766	150,300	218,466
	ガス給湯器一式	2017年度		194,000	43,326	150,674
	浴用場濾過機一式	2020年度		957,000	21,373	935,627
車輛運搬具	トヨタ シエンタ 他40台	—	利用者送迎用ほか活動車輛	70,846,975	69,044,077	1,802,898
器具及び備品	介護用ベッド他	—	社会福祉法人の事業等で使用	33,927,676	30,348,865	3,578,811
有形リース資産	ほのぼのNEXT サーバー、印刷機	—	第2種社会福祉事業である	22,308,909	12,708,075	9,600,834
無形リース資産	ほのぼのNEXT ソフトウェア	—	訪問介護事業等に使用	9,557,921	9,080,014	477,907
投資有価証券		—	車輛任意保険加入に伴う出資金ほか	—	—	11,200
全社協退職給付引当資産		—	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金預け金	—	—	154,437,560
県社協退職給付引当資産		—	兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済預け金	—	—	2,123,416
財政調整基金						9,594,465
	但馬銀行	—	将来にわたり財政の健全な運営と不時	—	—	0
	但馬信用金庫	—	の支出に備えるため積み立てたもの	—	—	9,594,465
地域福祉基金						201,806,186
	但馬銀行	—	増大する住民の福祉需要に	—	—	10,000,000
	但馬信用金庫	—	対応し、地域福祉事業の安	—	—	20,000,000
	ゆうちょ銀行	—	定的な発展を図るため積立	—	—	10,000,000
	みなと銀行	—	てたもの	—	—	10,000,000
	近畿労金金庫	—		—	—	10,000,000
	但陽信用金庫	—		—	—	10,000,000
	たじま農業協同組合	—		—	—	21,806,186
	たじま農業協同組合	—	寄附者の遺志により地域福祉事業に供するために積立てたもの	—	—	110,000,000
その他の固定資産		—	公用車 リサイクル料	—	—	404,710
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計						389,435,107
固 定 資 産 合 計						393,435,107
資 産 合 計						502,683,715

財 産 目 録
(令和3年3月31日現在)

別紙 4

(単位 円)

II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	退職共済預け金ほか	—	/	—	—	21,148,828
1年以内返済予定リース債務	介護保険システムほか	—		—	—	4,359,030
預り金	利用料預り金	—		—	—	362,490
職員預り金	雇用保険料ほか	—		—	—	629,050
賞与引当金		—		—	—	8,612,759
流 動 負 債 合 計						35,112,157
2 固定負債						
リース債務	介護保険システムほか	—	/	—	—	4,579,437
退職給与引当金						189,460,204
	全社協退職給付 引当金	—		—	—	187,690,220
	県社協退職給付 引当金	—		—	—	1,769,984
固 定 負 債 合 計						194,039,641
負 債 合 計						229,151,798
差 引 純 資 産						273,531,917

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目については控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載は要しない
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具には、会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和3年5月21日

社会福祉法人養父市社会福祉協議会
会長 小林哲夫様

監事 西村 豊治 
監事 土江 敦之 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

令和3年5月21日

養父市共同募金委員会
会長 広瀬 栄 様

養父市共同募金委員会

監事 西村禮治 

監事 土江敦之 

社会福祉法人兵庫県共同募金会養父市共同募金委員会規程第12条第3項の規定により、令和2年度の養父市共同募金委員会に関する関係諸帳簿及び証拠書類を詳細に調査し照合を行った結果、正当かつ適正であったことを認め報告いたします。

監 査 報 告 書

社会福祉法人 養父市社会福祉協議会
会長 小林 哲夫 様

令和2年度決算について監査を実施したので結果を次のとおり報告します。

1 監査の実施日

令和3年5月21日（金）

2 監査の種別

決算監査

3 監査を実施した監事名

西村禮治 土江敦之

4 監査内容

(1) 会計監査（監査資料）

松田公認会計士事務所による独立監査人の監査報告書、財務諸表に対する注記、令和3年3月月次残高確認書、令和3年3月31日現在貸借対照表、令和2年4月1日～令和3年3月31日事業活動計算書、同期資金収支計算書、財産目録、小口現金出納帳、事業未収金明細表、貯蔵品明細表、立替金明細表、前払金明細表、貸付金台帳、事業未払金明細表、1年以内返済予定リース債務明細表、預り金明細表、職員預り金明細表、リース債務明細表、雑損失明細表、固定資産増減明細表、社会福祉充実財産の算定〔令和2年度決算〕、総勘定元帳

(2) 業務監査（監査資料）

令和2年度社協事業の実施状況 データ集、養父市社会福祉協議会職員体制

5 監査意見

【会計監査】

(1) 会計事務は適正に処理されている。

(2) 貸借対照表に基づき計算した金額と、資金収支計算書期末支払資金残高との一致を確認した。

(3) 預金残高が35,650千円で対前年比5,304千円減少、事業規模や日常の収支からみて経理上厳しい状況がうかがえる。

(4) 社協運営費補助金収益 25,980 千円のうち 4,200 千円は事業未収金に計上されている。

(5) 拠点区分事業収益が減少している。

単位 円

勘定科目	前々年度決算	前年度決算	当年度決算	うちコロナ
介護保険	312,947,422	304,865,607	295,080,201	4,378,000
障害福祉サービス	13,669,120	15,387,215	17,692,572	1,762,000
その他	6,652,608	2,579,189	3,297,795	0
合計	333,269,150	322,832,011	316,070,568	6,140,000

通所介護事業において、大屋は収益増加・人件費減少により 4,628 千円の利益を計上したが、関宮は収益減少ながら事業費用を圧縮できず 3,322 千円の赤字となっている。理事会においては抜本的な経営戦略を発議し、競合先関係・マーケティング・立地の合理化策等を分析して 50,000 千円以上の累積赤字を問題視する必要がある。

(6) 人件費の圧縮は職員の継続再雇用による非常勤職員への職域身分変更によるものである。ただし非常勤職員の平均年齢 64 歳 2 か月、職員全体でも 57 歳 9 か月となっている。

単位 円

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
職員給料	160,034,952	173,189,469	▲ 13,154,517
職員賞与	28,216,657	35,720,639	▲ 7,503,982
非常勤職員給与	63,313,325	64,251,880	▲ 938,555
派遣職員費	170,024	401,427	▲ 231,403
合計	251,734,958	273,563,415	▲ 21,828,457

(7) 令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金について

単位 円

申請事業	交付決定	慰労金事業	支援・助成事業
介護福祉事業	9,033,000	4,655,000	4,378,000
総合支援事業	1,401,000	1,401,000	0
障害福祉事業	1,962,000	200,000	1,762,000
合計	12,396,000	6,256,000	6,140,000

支援・助成事業 6,140 千円の入金を確認した。慰労金事業については社協が職員個人より受任後一括受領し、配布を完了した事を総勘定元帳により確認した。

(8) 生活福祉資金貸付事業（新型コロナウイルス特例貸付）について

単位 円

資金名	相談件数	新規貸付件数	新規貸付金額
緊急小口資金	66	33 (50.0%)	5,060,000
総合支援資金	18	7 (38.8%)	4,600,000
合計	84	40 (47.6%)	9,660,000

相談件数に対して新規貸付件数が47.6%と低調な理由は、貸付条件等の問い合わせも「相談」として計上しているものであるが、中には資金がひっ迫している場合も懸念される。申込受付は3月末日から6月末日に延期されている。

【業務監査】

1 コロナ禍の中の社協活動

コロナ禍のなかで、要介護者の暮らしを支えるヘルパーをはじめ全職員に感染のリスクがあり、恐怖感を抱えながらも務めを果たしてきた1年だった。この状況はその後も続く様相である。

要介護者及び介護家族とヘルパーの接触度を常に把握し、介護福祉業務に携わる全スタッフが、相互に把握し合う体制を構築したことは特筆される。

この取り組みを広報紙『かけはし』で広く市民に伝えるとともに、市民に社協の地域福祉活動への理解を深めたい。併せて「ほっとかへんネット」により市内すべての社会福祉法人が共有し、補完し合う体制づくりを進めたい。

2 理事会の役割について

関宮支部の介護サービス事業の利用者減について理事会に報告されてから2年になる。高齢化・過疎化による背景はあるが、他の3支部でも起きうることである。

利用者減の対応策にも取り組んできたが、同様の課題は他市町社協でも発生し、1年後に再生したケースについて外部監査人からの報告もあった。理事会で共有して改善するべきところであるが、その協議にやや不足を感じざるを得ない。

平成以後の社協活動は新制度の取り組みを行い、兵庫県下では福祉サービスの開拓と進捗にめざましいものがあったが、理事会機能はそれを補えるに至らなかった。社会福祉法改正（平成28年3月31日）後その機能は高まってきたが、今一度事業決定の執行機関としての機能を発揮されたい。

3 役職員の研修と情報収集について

自治体の行財政改革は社会福祉法人にもおよび、その後の研修機会は但馬管内や県域開催に狭まっている。県下の社協活動は、平成以後他府県社協からも一目置かれる存在であり、養父市社会福祉協議会もその一翼を担ってきたが、狭い範囲での研修では緊張感が薄れ、その成果に大きな期待はできない。

全国で1,724の市区町村社協（都道府県を除く）が地域福祉活動を推進しているが、その地形や気候・風土に違いがあり、事業内容は同じであってもその推進内容・方法は異なる。県域を越えた研修機会を増やし、交流の輪の広がりから得るものは計り知れず、今後検討する必要がある。

4 新施設の建設計画について

養父市社協では、発足後初めての新施設設置構想が動き出した。養父市に限らず建設行政の欠陥は“建てること”のみに陥っているケースが多く、財政力の乏しい中山間地域にその傾向が強い。専門的組織を設置し、執行機関との協議で予算や設置場所が優先されがちだが、新施設の必要性など設置目的を検討し、先進例があれば現地に赴くことが求められる。さらに、当該設置者からの事業説明や施設案内以上に、利用者とその家族、地域との関係を精査した上での計画立案に取り組んでいきたい。

5 人材確保について

社会福祉法人の現場には全国的に人材不足がある。東南アジアなどからの介護人材を活用して成果をあげている社協もある。養父市社協で採用を考える場合、受け入れ態勢を十分整えていけるかにより成果は異なってくる。

合併前の養父町で、一時期職業訓練生を受け入れた企業もあった。また国際交流協会が存続し、合併後は日本語教室も開かれている。これらの活動と現在市内で働く外国人労働者を糧として検討されたい。

6 養父市との関係

(1) 法人指導と監査する自治体職員の実態

すべての社会福祉法人は市町村行政と大きく関係し、法人指導や監査を受ける立場にある。

◇社協には収益を伴う事業と非営利事業が混在するため、財政上の経営判断は難しくなる。収益事業として実施している介護保険事業及び障害福祉事業は、仕組み的に収益を上げる性格でないため馴染まない。

◇そのため、『社会福祉法人会計基準』を読み解いて監査する自治体職員が少ない、という指摘が県下社協に共通している。

◇介護保険事業の導入で、社協の自主財源の増強がうたわれてきたが、介護保険事業がカバーした時代は過去のものとなった。

(2) 社協は自治体の下請機関ではない

国や地方自治体の責任で行われるべき社会福祉事業を委託し、担ってきたのが社会福祉法人である。

業務の異なる商工会、シルバー人材センター、JAや森林組合などが行政を補完し、かつて活発な活動があった婦人会や老人会、いずみ会も同様だった。

本来自治体が行うべき業務を委託するにあたり、合併前から行政の「下請け団体」として扱ってきた風潮は今も残るように思われる。

- (3) 養父市は行財政改革の中で平成 18 年から 2 年にわたり、補助金審査会ですべて見直しを行い、当時の財政危機から脱却した。すべての団体を公平に判断したが市民の痛みも伴った。市民や団体にもあった甘えの構造から脱皮する意図もあったが、社会福祉協議会への人件費の全額がカットされたまま現在に至っている。

昭和 26 年、全国すべての市町村で社会福祉協議会が設置され、役所の一角で業務を開始して職員が業務を行ってきた。平成になって社協役職員は民間人の登用が進んだが人件費は行政負担としてきた。地方分権一括法の制定やその後の平成の大合併など、地方自治体にも大きな変化はあっても、兵庫県下では養父市社協を除くすべての社協で、人件費の行政負担が変わることはない。

すべての社会福祉事業は、本来国や地方自治体の責任において直接行うべきものであり、それを委託され中心的な役割を担ってきたのが社会福祉法人である。福祉を受けられない人や制度の狭間にあって福祉の手が行き届かない人に、社会福祉法人はその民間性、開拓性を発揮して事業開発を拡大してきた。社会福祉法人の自主性や主体性を尊重し、行政は条件を整備して制度化すべきである。

コロナ禍が終息する見通しが立たない中で、児童虐待や介護離職、家庭内暴力、障がい者雇用差別など格差と貧困が拡大する中で福祉的要求は複雑かつ高度化している。これらに積極的に取り組んできたのが社会福祉協議会である。自助・共助を強調して公助を後回しにするのでは市民理解は得られない。

「福祉は権利である」ことを位置づける上で、社会福祉協議会に限らず、社会福祉法人が行政の「便利屋的委託先」としてその先頭に立つなら、商工会やシルバー人材センターなど特定集団組織との違いを、自治体が持たない限り『日本一福祉が充実したまち』への理想にはたどり着けないのである。

以上

令和 3 年 5 月 2 1 日

監 事

西 村 禮 治



監 事

土 江 敦 之



独立監査人の監査報告書

令和3年5月21日

社会福祉法人 養父市社会福祉協議会
会長 小林 哲夫 殿

松田公認会計士事務所
公認会計士 松田 理明



私は、社会福祉法人養父市社会福祉協議会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2会計年度の財務諸表、すなわち、資金収支計算書（資金収支内訳表書を含む。）、事業活動計算書（事業活動内訳表を含む。）、貸借対照表及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書並びに財産目録（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

令和3年5月21日

令和2年度決算について

松田公認会計士事務所

公認会計士 松田 理明

みなさんの経営努力の成果が出て経営は2,137千円と収支トントンまで大幅に改善されました。

収入は減少したものの人件費をはじめ諸経費の削減が進みました。

介護保険事業全体でも収入は9,204千円減少しましたが人件費が21,707千円と大きく減少して経常増減差額は8,729千円増加しました。

内容を分析すると各事業ともに概ね収入の減少、人件費の減少、経営収支差額の増加となりましたが、特筆すべきは通所介護の大屋は収入の増加、人件費の減少、経常収支差額4,628千円の増加となる一方、関宮は収入の減少にも拘わらず人件費の減少がなかなか進まず経常収支差額は赤字が3,322千円増加してしまいました。

この2箇所の通所介護の事業を比較検討し、原因をさらに細かく追及され今後の経営戦略を立てて事業計画に反映されますことをお勧めします。

以上

監査報告について

令和2年4月1日から令和3年3月31日の帳簿の監査結果を下記の通り報告いたします。

記

I 残高試算表(貸借対照表、事業活動・資金収支計算書)の各勘定科目の残高について証明書類と照合した結果、合致いたしました。

A 流動資産

- 現金・・・現金については実残は確認しておりませんが、各支部の小口現金出納簿と小口現金受取書にて補給額を確認し、現金残高金種表と照合、合致いたしました。
- 預貯金・・・金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- 事業未収金・立替金・前払金・短期貸付金・・・各明細書と照合した結果、合致いたしました。
- 貯蔵品・・・明細書と照合した結果、合致いたしました。また評価についても最終仕入原価法により処理されていきました。

B 固定資産

- 基本財産定期預金・・・金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- 減価償却資産・・・固定資産管理台帳と照合した結果、期末簿価と合致いたしました。
- 全社協退職給付引当資産・・・全社協の加入職員明細表の掛金累計額と照合した結果、合致いたしました。
- 県社協退職給付引当資産・・・内訳書の事業主掛金累計額と照合した結果、合致いたしました。
- 財政調整基金積立資産・・・金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。

- 地域福祉基金積立資産 金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- その他の固定資産 自動車リサイクル料について個別に管理されており明細書と照合し、合致いたしました。
- 投資有価証券 固定資産に表示されておりました。

※但馬信用金庫の出資証券等について5月17日に証券原本を確認させていただきました。

C 流動負債

- 事業未払金 明細書と照合した結果、合致いたしました。
- 預り金、職員預り金 貸金台帳及び明細書と照合した結果、合致いたしました。 諸謝金等の源泉についても正しく処理されておりました。
- 1年以内返済予定リース債務 明細表と照合した結果、合致いたしました。
- 賞与引当金 賞与引当金一覧表と照合した結果、合致いたしました。

D 固定負債

- リース債務 明細表と照合した結果、合致いたしました。
- 全社協退職給付引当金 令和3年3月末全社協資料の要支給額と照合した結果、合致いたしました。
- 県社協退職給付引当金 令和3年3月末県社協資料の要支給額と照合した結果、合致いたしました。

E 純資産

- その他の積立金 固定資産に同額が預金されていることを確認いたしました。

F 寄付金収益

- 善意銀行寄付金収益 各支部の台帳と照合した結果、合致いたしました。

G 人件費支出

- 役員報酬・職員給料・職員賞与・非常勤職員給与 一部旅費交通費・雑費で処理されている金額は、貸金台帳と照合した結果、合致いたしました。
未払分の計上も正しく処理されていました。

H 減価償却費

- 減価償却費 固定資産管理台帳と照合、当期経費分が正しく計上されていました。

I その他のサービス活動外費用

- 雑損失 明細表と照合した結果、合致いたしました。

II 財務諸表間の相互関係

貸借対照表と資金収支計算書

貸借対照表

流動資産		109,248,608
流動負債	－	35,112,157
賞与引当金	＋	8,612,759
1年以内返済予定リース債務	＋	4,359,030
A 差引		87,108,240

資金収支計算書

B 当期末支払資金残高	87,108,240
A - B =	0

貸借対照表と事業活動計算書

貸借対照表

A 次期繰越活動増減差額	58,131,266
--------------	------------

事業活動計算書

B 次期繰越活動増減差額	58,131,266
A - B =	0

※資金収支内訳表にて当期末支払資金残高がマイナス表示となっている区分がありますが、経理区分毎の三表間に影響はありません。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人養父市社会福祉協議会

令和3年度 事業計画

事業方針

急速に進む少子高齢・人口減少社会において、地域社会の支え合いの機能が弱まるなか、ひとり暮らし世帯や認知症高齢者の増加に加え、引きこもりや支援拒否など、自ら社会との関わりを避け、孤立する人も増えています。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、経済的困窮や社会的孤立を悪化させ、生活福祉課題を複雑化・深刻化させています。

令和2年に社会福祉法の改正があり、地域住民の複合化・複雑化した課題に対応する包括的な支援体制を整備するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が創設されました。

本会では、福祉連絡会を中心として、地域の絆の大切さと地域コミュニティを重視する意識を高め、日常から顔の見える関係づくりを活発に展開しています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、コロナ禍においても、新しい生活様式をふまえ、福祉制度によるサービスに加え、住民が暮らす地域での人と人のつながりを切らない、だれもが生きがいをもって豊かに暮らせる地域づくりをすすめることが、さらに求められます。

通所介護施設の老朽化がすすんでいることから、新しく、地域の多様なニーズに対応し、住民や関係機関、事業所の連携を強化するための多機能型の施設が必要となります。

今年度は「第3次地域福祉推進計画」(2019年度～2023年度)の3年目となり、計画進行管理委員会を開催して、計画の進捗状況の点検と評価、社会情勢の変化に合わせた計画の変更など、評価や改善を行います。また、養父市の「第4次地域福祉計画」(2020年度～2024年度)と連携し、総合的な支援体制の構築をめざして取り組みます。

以下、重点事業を次のように定め、全市的重点目標、基本活動に基づき、住民をはじめボランティア、行政、関係機関、企業などと連携しながら活動に取り組みます。

令和3年度 重点事業

- 1 新しい生活様式を実践し、平時だけでなく災害時にも地域づくりをすすめる福祉連絡会の活動支援
- 2 コロナ禍で複合化・複雑化した生活福祉課題に対応する包括的な支援体制の整備
- 3 計画の進捗状況の点検と検証をし、見直しや改善を行う第3次地域福祉推進計画進行管理委員会の開催

事業計画

福祉目標

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり
～オール養父市で未来へ～

全市的重点目標

身近な地域での、声かけあい、見守りあい、たすけあいの輪を
ひろげよう

養父市で誰もが自分らしく共に生きる社会を築いていくためには、市民一人ひとりが、身近な地域での、声かけあい、見守りあい、たすけあいの輪を広げていくことが必要です。新しい生活様式の実践をふまえ、コロナ禍で直面する課題や新たな取り組みを共有しながら、福祉目標の実現に向けて“オール養父市”での「地域共生社会」づくりをすすめます。

活動項目		主な内容
1	福祉連絡会の活動強化	<ul style="list-style-type: none">● 各区福祉連絡会の活動支援● 福祉委員活動助成金の交付● 福祉連絡会研修会の開催（全3会場）● 福祉連絡会と社協をつなぐ情報誌「ねっとわ～く」の発行による啓発や情報提供

2	誰もが気軽に集い、語り合える居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規レクリエーション用品や屋外でも使用できる用品の整備と貸出を行い、つどい場開催を支援 ● ボランティア講師の登録強化によるつどい場の支援 ● 新しい生活様式実践に向けて、屋外でのつどい場を開催するために、屋外ベンチの設置をすすめる 新
3	声かけ運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 区福祉連絡会やくらし安心サポーターによる地域で気になる人、孤立しがちな人への声かけ、見守り支援
4	福祉連絡会の設置が困難な地域への支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 出前講座（まちづくりワークショップ）による活動支援 ● 近隣の区や自治協議会と連携した活動支援
5	お互いさまのたすけあいの地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2層生活支援コーディネーター配置による（4人）身近な地域での支え合い活動の支援

基本活動1 学び、気づき、行動する福祉学習をすべての世代ですすめよう

誰もが大切にされ共に生きる地域づくりをすすめるため、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地域や福祉に対する関心、理解を深める福祉学習の取り組みをすすめます。

活動項目		主な内容
1	無関心に関心へ。 福祉・人権意識を高め合う福祉学習の推進（全世代への福祉学習）	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉学習ボランティア養成講座の開催 ● 福祉学習ボランティア修了生の学校等での活動支援
2	地域への愛着と、自分も周りも大切に作る心を育む福祉学習の推進（子どもたちへの福祉学習）	<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中・高等学校の担当教員や学校関係者、社協職員が情報交換を行う「福祉学習担当者連絡会」の開催と社会福祉施設職員への呼びかけ

3	未来を担う福祉人材育成の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● トライやるウィークや社会福祉士・介護福祉士養成等、実習生の受け入れ
---	----------------	---

基本活動2 権利擁護・総合相談支援の体制をととのえよう

認知症の人や単身世帯などの増加により今後ニーズの拡大が予測される、成年後見制度の利用支援や法人後見への検討も含めた、「権利擁護デスク」の設置や権利擁護支援のネットワークづくりを行政と連携して取り組みます。

また、生活困窮者への支援として、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業を一体的に進めていくほか、コープこうべと連携した「フードバンク事業」を継続して実施します。

活動項目		主な内容
1	関係機関、多職種が連携した総合相談体制（包括的支援体制）の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉担当職員、訪問介護員、介護支援専門員、障害者相談支援専門員、ふれあい訪問員など、多職種が連携し情報を共有する連絡会を開催する（毎月開催） ● 福祉総合相談所（心配ごと相談・結婚相談）の開設（毎週金曜日）と相談員情報交換会の開催
2	アウトリーチ（出張訪問相談）による相談支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい訪問員による訪問活動（アウトリーチ）を実施し、生活困窮者をはじめ、ひとり暮らし・高齢者世帯、ひきこもり世帯などの見守りと生活課題の把握 ● 福祉事務所、地域包括支援センターとふれあい訪問員連絡会の開催（2か月に1回開催）
3	権利擁護デスクの設置と法人後見事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 権利擁護支援の地域連携ネットワークおよび中核機関設置の働きかけ ● 行政と連携した「権利擁護デスク」の設置 ● 「権利擁護セミナー」の開催
4	生活困窮者支援の取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 「生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」（ふれあい訪問員事業）による生活困窮者世帯等の見守りと生活課題の把握 ● コープこうべと連携した「フードバンク事業」

		<p>の促進と有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉事務所や地域住民、関係機関などと連携した伴走型支援
5	日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業の実施体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業の連携強化 ● 日常生活自立支援事業生活支援員研修会の開催
6	結婚相談事業の推進と婚活実施団体のネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 養父市結婚相談所連絡会の開催（毎月） ● 全但結婚相談連絡協議会への参加 ● ウエルシア薬局のフリースペース「ウエルカフェ」を活用した結婚相談所の開催（月2回）

基本活動3 ボランティア・市民活動を活性化しよう

子どもから高齢者、当事者など、あらゆる人がまちづくりの主体者として社会参加できるように、ボランティア・市民活動の支援をすすめます。

また、地域の多様なニーズに対応するため、ボランティア活動者を養成するとともに、相談・調整等のボランティア・市民活動センター運営機能を強化し、住民にとって身近な地域福祉の拠点となるよう活動の充実を図ります。

活動項目		主な内容
1	ボランティア・市民活動センターの運営機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 ● しあわせフェスタ（ボランティアのつどい）の開催
2	多様なボランティア養成講座の開催等、新たな担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉学習ボランティア養成講座の開催 ● 精神保健ボランティア養成講座の開催
3	ボランティア情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙、facebook、ホームページ、ブログ、ケーブルテレビ等による情報発信の強化 ● ボランティアグループの活動を映像化し情報発信
4	ボランティア講師の登録推進	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア講師の登録強化

5	暮らしをささえるボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> ● 「くらし安心サポーター養成講座」や「くらし安心サポーターフォローアップ研修」の開催 ● くらし安心サポーターと福祉連絡会との連携による地域人材のマッチング
---	-------------------	--

基本活動4 当事者が自分らしく活躍する社会をつくろう

認知症の人と家族やひきこもり、障がいを持つ方、外国出身者などの当事者が抱える生きづらさ、社会的孤立の問題に対して、地域や関係機関と連携して「居場所づくり」「つながりづくり」を行います。生きづらさを抱えている当事者のもつ力を引き出し、活躍できる場づくりを支援します。

活動項目		主な内容
1	認知症カフェの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症カフェの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェここあん（毎月第2木曜日） ・ 出会いカフェ（毎月第4水曜日） ● 市内認知症カフェの支援 ● 認知症啓発映画会の開催支援
2	当事者同士のつながりと活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅介護者のつどい（家庭介護教室）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 養父市全体 1回（11月11日） ・ 八鹿：和みの会（年5回） ・ 養父：ひまわりの会（年5回） ・ 大屋：野ぎくの会（年8回） ・ 関宮：たんぽぽの会（年11回） ● ひとり暮らし高齢者のつどいの開催 ● ダウン症家族会「テクテク」、視覚障がい者のつどい「ありんこの会」との連携
3	ひきこもりや外国出身者などへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい訪問員活動（アウトリーチ）による孤立しがちな人の把握と支援

基本活動5 安心して暮らし続けられるサービスを推進しよう

新型コロナウイルス感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要な各種サービスが安定的・継続的に提供できるよう「業務継続計画（BCP）」を策定します。

また、障がいを持つ方が地域の中でその人らしく生活できるよう、関係機関と連携をとりながら、より良い支援につなげます。

活動項目		主な内容
1	地域に密着した介護保険事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務継続に向けた計画の策定（BCP） 新 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に安定的・継続的にサービスを提供できる体制整備 ● ICT を活用した業務の効率化・負担軽減の推進 ● 訪問介護事業・居宅介護事業（障害） <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護計画に沿った統一した質の高いサービスの提供 ● 訪問入浴サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 養父市に一つしかない貴重な在宅サービスとして実施 ● 通所介護事業（大屋・関宮） <ul style="list-style-type: none"> ・ 多機能型施設に向けた調査・研究をすすめる 新 ● 福祉用具貸与事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民に信頼される良質なサービスの提供 ● 居宅介護支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のつながり（インフォーマル）を意識した、質の高いケアマネジメントの推進 ・ 大屋、関宮高齢者相談センターの受託 ● 介護福祉課職員が地域と積極的にかかわる体制づくり
2	自立を支える介護予防・生活機能向上サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 通所型生活機能向上サービスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいきサロン八鹿といきいきサロン「そよ風」を統合し、八鹿と養父地域を一体的に進める効率的な運営（毎週火・木曜日）

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいの家いきいきサロン（毎週水曜日） ・いきいきサロン関宮（毎週金曜日） ● 訪問型生活機能向上サービスの実施
3	共生社会を広げる、障害者相談支援事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関とつながりのある「社協の強み」を生かした相談支援の実施 ● 一般相談支援事業（受託） <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の日常生活全般にわたる幅広い相談の受付 ● 養父市自立支援協議会に参加し、障がい者の望む地域生活を支援
4	ニーズに合わせた給食サービス、移送サービス事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 給食サービスの実施（毎週水・金曜日） ● 給食サービス実施日増の検討 ● 移送サービス事業の実施 ● 夕食サービス事業の実施（関宮地域）月1回
5	自治協議会、企業、行政、関係団体等との連携による生活支援サービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治協議会と連携した「買い物支援モデル事業」の実施

基本活動6 養父市の「宝」子どもたちの育ちを地域で支えよう

少子化・核家族化の進行、ひとり親世帯や外国出身者世帯の増加、児童虐待や生活困窮の問題など、子どもや育児を取り巻く環境が大きく変化しています。そのようななか、地域に住む誰もが孤立することなく安心して子育てができるよう、地域全体で子どもや子育て世帯を見守り、ともに育てていく活動を支援します。

活動項目		主な内容
1	子育てサロン、子育て支援グループへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 「子育てサロン」の運営支援 多胎児サークル「ピーナッツ」の開催（毎月第2金曜日） 子育て支援情報誌「まるわかりガイド」冊子

		版の発行とスマートフォンから閲覧可能なWEB版の有効活用
2	子育て支援ネットワークの運営機能強化	● 市教育委員会と連携による「子育て支援ネットワーク会議」の開催（年2回）
3	子育てに関する学習の場づくり	● 市教育委員会と連携による「どならない子育て練習講座」を開催 ・実践編（4回）、フォロー講座（1回） ・2歳児編（2回）
4	子どもの冒険ひろば（放課後プレーパーク）の推進	● 「放課後プレーパーク」の実施 ・大屋放課後プレーパーク（月2回） 兵庫県「子どもの冒険ひろば」事業 ・関宮放課後プレーパーク（月2回） 市教育委員会「放課後子ども教室」事業 ● 出前プレーパークの開催 ・夏休みプレーパーク（8月） ・春休みプレーパーク（3月） ・八鹿文化祭（11月）
5	子育て支援についての情報発信	● 子育て支援情報誌「まるわかりガイド」冊子版の発行とスマートフォンから閲覧可能なWEB版の配信

基本活動7 災害への備えをしっかりとすすめよう

防災意識の向上とともに、地域での普段からの見守りあい、たすけあいの意識をさらに高めていきます。

また、兵庫県の「防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業」を、行政と連携して取り組みます。

活動項目		主な内容
1	福祉防災マップの推進	● 福祉連絡会や消防団、市防災安全課などと連携した福祉防災マップづくりや、コロナ禍での避難場所、避難所運営の検討

		<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉防災マップが作成・更新できていない区への働きかけ ● 障害者（身体・知的・精神）のささえあい・要援護者登録申請書兼カードの登録促進
2	災害時支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害ボランティアリーダー養成講座の開催 ● 「防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業」の実施
3	避難所運営支援の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政との連携による「養父市ほっとかへんネット」（社会福祉法人連絡協議会）での協議・検討

基本活動 8 **さまざまな人や団体がスクラムを組んで地域づくりをすすめよう**

企業の得意分野を活かした支援や“農福連携”による支援など新たな地域支援のあり方も見出されているなか、今後は既存の福祉分野だけでなく、市内の企業や団体、組織の持つ強みを活かした地域課題解決をすすめていきます。

また、社会福祉法人の職種を越えたネットワーク「養父市ほっとかへんネット」（社会福祉法人連絡協議会）の立ち上げを働きかけます。

活動項目		主な内容
1	しあわせフェスタ・地域づくりフォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍に配慮した、しあわせフェスタの開催
2	自治協議会との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治協議会、市役所、社協役職員、但馬長寿の郷等で組織される「安心地区推進協議会」の開催（関宮地域） ● 自治協議会と連携した「買い物支援モデル事業」の実施 再掲 ● 市と協働でオンラインの環境整備をすすめ、コロナ禍でも住民が参画できるしくみづくり
3	赤い羽根共同募金運動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業や事業所と連携した「募金百貨店プロジェクト」の実施 ● テーマ型募金（期間拡大）の実施

4	養父市ほっとかへんネット (社会福祉法人連絡協議会) 設立の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政や社会福祉法人と連携し、養父市ほっとかへんネットの設立
5	安心見守りネットワーク事業の協力団体の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心見守りネットワーク会議への参加
6	他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが書いたハガキを郵便局員が手渡し、安否確認を行う「ふれあい郵便」事業の実施 ● 南但消防本部や関西電力、民生委員・児童委員と連携し、ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯を対象に火の元の点検を行う「防火訪問」を実施（春・秋 年2回）
7	第3次地域福祉推進計画進行管理委員会の開催による計画の点検・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3次地域福祉推進計画進行管理委員会の立ち上げ ● 計画の進捗状況の点検と評価、検証 ● 改善点および次年度計画への反映事項を提言 ● 社会情勢の変化や地域の動向にあわせ、必要に応じた計画の変更 ● 養父市第4次地域福祉計画との連携

令和3年度 予算

◇予算の概要

◇資金収支予算書（第1号の1様式）

◇資金収支予算内訳表（第1号の3様式）

令和3(2021)年度 予算の概要

I 資金収支予算科目別内訳

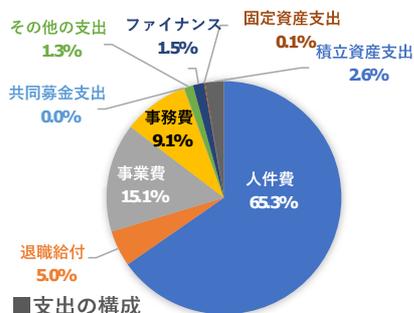
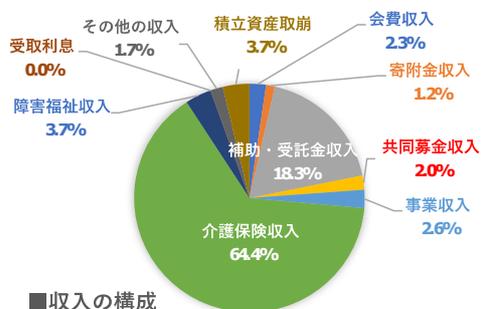
勘定科目	令和3年度		令和2年度		差引増減	対比	備考
	当初予算額	構成率	予算額	構成率			
[収入]							
会費収入	10,260	2.3%	10,796	2.4%	△ 536	95.0%	一般 1200円×7300世帯=8,760千円、賛助 1,500千円
寄附金収入	5,510	1.2%	5,110	1.1%	400	107.8%	善意銀行寄附金
経常経費補助金収入	29,560	6.6%	29,630	6.5%	△ 70	99.8%	県・市・県社協補助金
共同募金配分金収入(経常経費補助金収入)	9,073	2.0%	9,302	2.0%	△ 229	97.5%	共同募金配分金
受託金収入	52,009	11.7%	52,603	11.6%	△ 594	98.9%	市・県社協受託金
事業収入	11,415	2.6%	11,913	2.6%	△ 498	95.8%	参加費・利用料・賃貸料・介護用品あっせん ほか
介護保険事業収入	287,112	64.4%	308,124	67.8%	△ 21,012	93.2%	介護報酬収入
障害福祉サービス等事業収入	16,526	3.7%	16,287	3.6%	239	101.5%	自立支援給付費収入、市受託金 4,400千円
受取利息配当金収入	31	0.0%	31	0.0%	0	100.0%	預金利息
その他の収入	7,703	1.7%	2,284	0.5%	5,419	337.3%	受入研修費、自販機売上、雑収入、退職手当預け金差益
施設整備等補助金収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
積立資産取崩収入	16,636	3.7%	8,701	1.9%	7,935	191.2%	退職給付引当資産取崩収入、地域福祉基金積立資産取崩収入
拠点区分間繰入金収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
収入合計	445,835	100.0%	454,781	100.0%	△ 8,946	98.0%	

単位 千円

[支出]							
人件費支出	283,430	65.3%	310,225	68.1%	△ 26,795	91.4%	役員報酬、職員給与、非常勤職員給与、法定福利費
退職給付支出(人件費支出)	21,634	5.0%	6,420	1.4%	15,214	337.0%	退職給付支出[正規:定年退職 2人、自己都合 2人]
事業費支出	65,594	15.1%	71,236	15.6%	△ 5,642	92.1%	地域福祉・介護保険・障害福祉 直接経費
事務費支出	39,394	9.1%	42,214	9.3%	△ 2,820	93.3%	法人運営経費、地域福祉・介護保険・障害福祉 間接経費
共同募金配分金支出	100	0.0%	100	0.0%	0	100.0%	歳末たすけあい運動 事務費
分担金支出	183	0.0%	183	0.0%	0	100.0%	県社協会費、全但結婚相談
助成金支出	5,273	1.2%	5,373	1.2%	△ 100	98.1%	福祉連絡会、ボランティア、団体助成 ほか
負担金支出	17	0.0%	17	0.0%	0	100.0%	全社協地域福祉推進委員会
その他の支出	0	0.0%	158	0.0%	△ 158	0.0%	雑支出
固定資産取得支出	522	0.1%	1,788	0.4%	△ 1,266	0.0%	通所介護事業 器具及び備品取得支出
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,599	1.5%	6,530	1.4%	69	101.1%	財務・介護保険システム、サーバー、電話機リース資産
積立資産支出	11,244	2.6%	11,136	2.4%	108	101.0%	退職給付引当資産支出、基金積立資産支出
拠点区分間繰入金支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
支出合計	433,990	100.0%	455,380	100.0%	△ 21,390	95.3%	

単位 千円

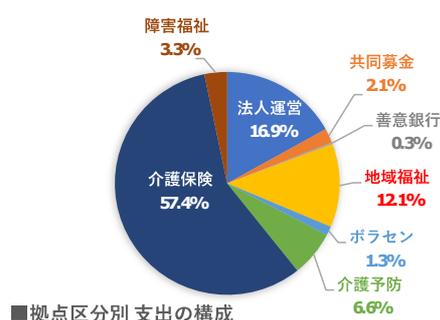
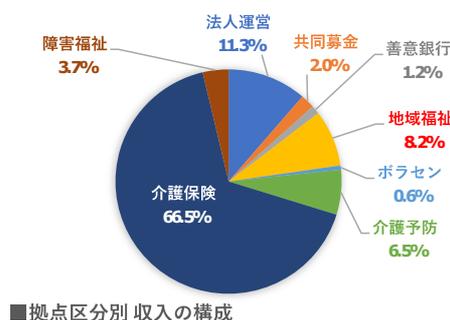
予備費支出	3,000	—	0	—	3,000	—	
当期資金収支差額合計	8,845	—	△ 599	—	9,444	—	



II 資金収支予算内訳表の状況

単位 千円

科目	法人運営事業	共同募金配分金事業	善意銀行運営事業	地域福祉活動推進事業	V・市民活動センター運営事業	介護予防・地域支援事業	介護保険事業	障害福祉サービス	合計
総収入	50,368	9,073	5,500	36,408	2,545	28,853	296,562	16,526	445,835
総支出	73,453	9,073	1,099	52,515	5,838	28,578	249,155	14,279	433,990
予備費支出							3,000		3,000
当期資金収支差額	△ 23,085	0	4,401	△ 16,107	△ 3,293	275	44,407	2,247	8,845



令和3年度 社会福祉法人養父市社会福祉協会 資金収支予算書
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 千円)

勘定科目		本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考	
事業活動による収支	収入	会費収入	10,260	10,796	△ 536	一般 8,760千円 賛助 1,500千円
		寄附金収入	5,510	5,110	400	善意銀行寄附金
		経常経費補助金収入	38,633	38,932	△ 299	県補助金、市補助金、県社協補助金、共募配分金
		受託金収入	52,009	52,603	△ 594	市受託事業、県社協受託事業
		事業収入	11,415	11,913	△ 498	参加費、利用料等
		介護保険事業収入	287,112	308,124	△ 21,012	介護報酬ほか
		障害福祉サービス等事業収入	16,526	16,287	239	自立支援給付費ほか
		受取利息配当金収入	31	31	0	預金利息
		その他の収入	7,703	2,284	5,419	介護等体験ほか実習費ほか
		事業活動収入計(1)	429,199	446,080	482,899	
	支出	人件費支出	305,064	316,645	△ 11,581	職員給与、退職給付ほか
		事業費支出	65,594	71,236	△ 5,642	給食費、車輛管理費ほか 事業経費
		事務費支出	39,394	42,214	△ 2,820	事務機器管理等 事務経費
		共同募金配分金支出	100	100	0	歳末たすけあい運動返還金
分担金支出		183	183	0	県社協、全但結婚相談ほか	
助成金支出		5,273	5,373	△ 100	福祉連絡会、ボランティア支援、福祉団体ほか	
負担金支出		17	17	0	全社協地域福祉推進委員会	
その他の支出		0	158	△ 158	退職手当預け金差損	
事業活動支出計(2)	415,625	435,926	△ 31,882			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	13,574	10,154	514,781			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	
		施設整備等寄附金収入	0	0	0	
		設備資金借入金収入	0	0	0	
		固定資産売却収入	0	0	0	
		その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0		
	支出	固定資産取得支出	522	1,788	△ 1,266	洗濯機・乾燥機、エアコン
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	6,599	6,530	69	システム・サーバーリースほか
		その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)		7,121	8,318	△ 2,463		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 7,121	△ 8,318	2,463			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	16,636	8,701	7,935	退職給付引当
		事業区分間繰入金収入	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
		サービス区分間繰入金収入	0	0	0	
		その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	16,636	8,701	7,935		
	支出	積立資産支出	11,244	11,136	108	退職給付引当資産ほか
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
		サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出		0	0	0		
その他の活動支出計(8)	11,244	11,136	108			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,392	△ 2,435	7,827			
予備費支出(10)	3,000	0	3,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,845	△ 599	9,444			
前期末支払資金残高(12)	81,804	82,403	△ 599			
当期末支払資金残高(11)+(12)	90,649	81,804	8,845			

令和3年度 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 資金収支予算内訳表

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		法人運営事業 拠点	共同募金配分金 事業拠点	善意銀行運営 事業拠点	地域福祉活動 推進事業拠点	ボランティア・市民活動 センター運営事業拠点	介護予防・ 地域支援拠点	介護保険 事業拠点	障害福祉 サービス拠点	合計	
事業活動による収支	収入										
	会費収入	10,260	0	0	0	0	0	0	0	10,260	
	分担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄附金収入	10	0	5,500	0	0	0	0	0	5,510	
	経常経費補助金収入	14,000	9,073	0	13,060	2,500	0	0	0	38,633	
	受託金収入	0	0	0	17,939	0	25,740	8,330	0	52,009	
	貸付事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業収入	2,950	0	0	5,394	45	2,926	100	0	11,415	
	負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護保険事業収入	0	0	0	0	0	0	287,112	0	287,112	
	障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	16,526	16,526	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	受取利息配当金収入	31	0	0	0	0	0	0	0	31	
	その他の収入	6,481	0	0	15	0	187	1,020	0	7,703	
	流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業活動収入計(1)	33,732	9,073	5,500	36,408	2,545	28,853	296,562	16,526	429,199		
支出											
人件費支出	53,432	0	0	38,425	4,598	22,540	173,646	12,423	305,064		
事業費支出	1,532	2,105	140	5,637	254	4,535	51,144	247	65,594		
事務費支出	5,689	1,792	912	7,806	924	1,503	19,221	1,547	39,394		
貸付事業等支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共同募金配分金支出	0	100	0	0	0	0	0	0	100		
分担金支出	133	0	0	50	0	0	0	0	183		
助成金支出	150	5,076	47	0	0	0	0	0	5,273		
負担金支出	17	0	0	0	0	0	0	0	17		
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支払利息支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業活動支出計(2)	60,953	9,073	1,099	51,918	5,776	28,578	244,011	14,217	415,625		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 27,221	0	4,401	△ 15,510	△ 3,231	275	52,551	2,309	13,574		
施設整備等による収支	収入										
	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出										
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	0	0	350	0	0	172	0	522	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,256	0	0	247	62	0	4,972	62	6,599		
その他の施設整備等による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	1,256	0	0	597	62	0	5,144	62	7,121		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,256	0	0	△ 597	△ 62	0	△ 5,144	△ 62	△ 7,121		
その他の活動による収支	収入										
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	積立資産取崩収入	16,636	0	0	0	0	0	0	0	16,636	
	事業区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	16,636	0	0	0	0	0	0	0	16,636	
	支出										
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積立資産支出	11,244	0	0	0	0	0	0	0	11,244		
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	11,244	0	0	0	0	0	0	0	11,244		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,392	0	0	0	0	0	0	0	5,392		
予備費(10)	0	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 23,085	0	4,401	△ 16,107	△ 3,293	275	44,407	2,247	8,845		
前期末支払資金残高(12)	△ 132,976	△ 233	44,368	△ 77,476	△ 12,212	△ 8,820	258,657	10,496	81,804		
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 156,061	△ 233	48,769	△ 93,583	△ 15,505	△ 8,545	303,064	12,743	90,649		



広報かけはし創刊200号（令和3年2月15日発行）

社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

◆本部・八鹿支部

〒667-0022 養父市八鹿町下網場 320
 地域交流センター「福祉の杜」
 電 話：(079) 662-0160
 F A X：(079) 662-0161
 メール：info@yabu-shakyo.jp
 U R L：http://www.yabu-shakyo.jp

◆養父支部

〒667-0101 養父市広谷 251-1
 電 話：(079) 664-1142
 F A X：(079) 664-2181
 メール：yabu@yabu-shakyo.jp

◆大屋支部

〒667-0315 養父市大屋町加保 678-1
 大屋保健センター内
 電 話：(079) 669-1598
 F A X：(079) 669-0093
 メール：ooya@yabu-shakyo.jp

◆関宮支部

〒667-1105 養父市関宮 193
 関宮ふれあいの郷内
 電 話：(079) 667-3248
 F A X：(079) 667-3351
 メール：sekinomiya@yabu-shakyo.jp